京城日報五千號

京城日報は今回其の第五千號を發行す。而して歲を經ること十六なり。長き歲月には非ざれども爾來半島に於ける變化進歩は大なりと云ふべく、又全世界の變遷に就て、最近の大戰役は其の有形無形の計算の基礎標準さへも未だ見出し得ず、如何に落ち着くべきや誰にも分らず、人心個々の裡に日を送りつゝありて、後世歴史家より之を見れば、或は長き戰役の第一幕を演じ了りたる程の事ならやも未だ知る可からず。斯る心持を以て觀ずれば、京城日報の事の如きは、一瞥にも値せず。第五千號、創立十六年、ソレが何か。成程其間には盛衰あり。又其の天地相應の動亂もありしならんが、少しく活眼を開いて之を見れば、盆水の暴風激浪のみ。盆其物を蹴飛ばしたりとて、鶴頭山の松月は依然として清朗、漢江の水は去つて悠々たるべし。こゝ冷かさるれば夫迄なれども、從事者の爲には中々の大事件なり。こゝ迄漕ぎ着け而も興隆の勢ひを認め得たるは喜びに堪へず。歲の改まる每に相賀し、還暦、㐂の字、米の賀筵を張ると同じ事にして自ら理なきに非ず。

吾人も議論を蛇蝎視するに非ず盆水內の激浪云々も一分の道理あり。達觀も可なり。活眼も開くべし。迷夢を破るを視て、陋なり、俗なりと誚り、己を視ること頗る高く始末に困る人物となる。利の爲に奔走して席暖まるに遑なきは、中道を得たる行ひにはあらざれども、世人の名數が正義、人道、眞理の爲め食を忘れ、老ひの將に至らんとするを知らざる迄に熱心に活動するに至る迄は、名の爲め利の爲の活動を抑貶するにも、大に加減せざる可からず。今日迄見る如き達觀者の世となりては、世の中は沈滯すべし。沈滯久しければ腐敗か萎縮の一を免れず。生物は成長發展するが天の法則にして、之に從ふ者は榮ゑ、之に背く者は衰亡す。故に達觀者の說て以て俗とする所の者は、此の新陳代謝に必要なる(今の處)分子にして、卽ち腐敗を防ぐの要具なり。吾人の達觀は此の如し。是歴史的觀察に基くものにして、議論を弄するに非ず。

總て事業は世間相手なれば、世間の同情に依らずしては立ち行かず。新聞紙特に然り。新聞紙は數なり。數は新聞紙の生命にして且目的なり。京城日報が今日迄持續せられ前述の如く上向きの勢ひたるは多數讀者の賜なり。茲に深厚の謝意を表す。

但し天下は泰平なり。垂拱して治まるべしと安心し居る可きに非ざるのみならず、理想の域に達せんには一層の努力と活動とを要す、是を實現せんには、短日月の能くする所にあらず。今の處特に讀者に不滿足なる點多かるべし。暫らくの我慢を乞ひ、且つ大なる事、小なる事に付き示教を吝まれざらんことを切望す。

創立以來の京城日報の明かなる功勞者には勿論、無名の功勞者に向つて、此機に於て深厚の謝意を表せんと欲す。隱れざる功勞者は存外に多きものなり。時には反對の評を與へたる者さへもあるべし。吾人は皆之等を一束して無名の功勞者と稱せんと欲す。抑も現在は過去を父母とし、現在は將來の父母なり。これ原因結果關係の理なり。過去を知つて始めて現在の計畫を誤らざるを得。恥を思はば現在を愼むべし。知恩は原因結果研究の事に屬し、單に道德の命する所にあらざるなり。

發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
京城日報社

新聞の使命

政務總監　水野錬太郎

京城日報は十六年前[illegible]政を宣傳し、朝鮮の開[illegible]した有力なる新聞であ[illegible]號を重ぬる事五千に達[illegible]社運健實の域に進まん[illegible]及び、其間朝鮮に於て[illegible]經濟、產業並に教育其[illegible]に幾多の變遷を經たの[illegible]京城日報は常に健實な[illegible]穩健なる思想との上に[illegible]諸施政の宣傳と民衆の[illegible]多大の貢獻を爲したこ[illegible]吾々當局者としても深[illegible]多とし、感謝の意を表[illegible]である。

新聞は國家社會の指[illegible]あつて極めて重要な[illegible]る、其の言論の如き[illegible]の利害禍福に關係す[illegible]界に在る者は最も深[illegible]致し、此貴重なる使[illegible]るは勿論、殊に朝鮮[illegible]文化の未だ充分に普[illegible]方に於ては、常に世[illegible]反に意を致す事は極[illegible]る事柄である。元來[illegible]に對し正確なる事實[illegible]し、其の土地に適應[illegible]又一面に於ては民衆[illegible]を圖り、更に其國の[illegible]し以て國家の進運を[illegible]すべき使命を有す[illegible]言論の如何が社會に[illegible]の深甚なる點に留意[illegible]がある。即ち輿論[illegible]民の思想を善導し、國家の進運を促し、之に反し過激なる思想を挑發し、社會の福利を害するに至る事は爭ふべからざる事實である。故に予は最も新聞の言論を尊重し、其の公正なる意見に聽き、之をして其の重大なる使命を完からしめん事を常に希望するものである。

今日朝鮮の實狀を觀察するに日鮮併合以來物質界及精神界に幾多の進步を爲し、帝國の統治に依り朝鮮に在る內鮮人は其福利を增進し得たるは疑ひなき所である。而して其の茲に至つた[illegible]協同の努力に依りたるは勿論、同時に併合の主旨方針を鼓吹し、內外に向つて其の宣傳宜しきを得たる新聞の功績も亦與つて大なる力のあつた事を信ずるものである。今後に於ける朝鮮各般の問題は多種多樣であつて、一層の努力を爲さなければならぬ。或は教育に或は產[illegible]に宗教其他思想上の問題[illegible]幾多の施設改善を圖らなければならぬ。此の意味に於て、[illegible]時に內鮮人も茲に意を[illegible]努力を要する事は[illegible]朝鮮の開發に共同努力[illegible]以て東洋の平和を維持し、併せて世界文明の恩澤に浴する事を心掛けねばならぬ。之實に我が帝國の重大なる使命であつて之を完うすると否とは內鮮人の共に願念し努力を拂はなければならぬ義務がある。

此主旨に基き、言論機關として重大なる使命を有する新聞紙は、共に倶に此の政策を宣傳し、國民をして其の義務を完うし、國家をして益安泰と隆昌の位地に進めん事を願はねばならぬ。京城日報は過去十五年間に於て幾多の迂餘曲折があつたとは云へ、常に一貫せる主義方針に依て終始し來りたるを多とし、今後尚一層の奮勵努力を以て事に當り、有終の美を濟さん事を希望して已まぬ。之を要するに新聞の本旨たる、事實の報道を確實にし　健實敬正なる筆に依つて一般民衆を指導し、國民をして善く我が帝國の使命を了得理解せしめ、誤りたる思想觀念に陥らしむる事なきを期せられたいと思ふのである。現時世界の大勢は平和を趨し、如何にして國民の福利を増進せんかに向ひつつある。併しながら時に依つてか種々の流言蜚語の行はれ、之よりして幾多の誤れる觀念を生ぜしむる事なきを保し難い。之等の陰翳を排除し、眞實の光明を與ふべき報道は最も今日に於て必要とする點である。冀くは京城日報は從來の主旨方針に依つて、一層の努力を致さん事を。今や十有六年の經驗を重ね、五千號を數ふるに當つて、其の重視に從事せらるゝ過去及現在の社員諸氏に對し、深厚なる敬意を表すると共に今後益社運の隆昌ならん事を祈る。

一例を擧ぐれば所謂黄色新聞の如きもので、之は獨り亞米利加に於てのみならず動もすれば各國に於て此種新聞の増加せん傾向を認むるのである。政治經濟は共に多數民衆の力によりて進展しつゝあること即ち政治經濟の民衆化は歴史の示す所である。此の多數の民衆を善導し又誘惑するも亦新聞紙の力に待つ所多いのである。故に新聞紙の社會的地位は重且大なるものである。所で朝鮮の如きは所謂過渡時代で、總ての秩序が固定して居らず、社會的改善の半途にあり、從つて民衆の思想も不定である。此の現象は過渡時代に於ける當然の現象で敢て怪しむにも足らない。內地に於ても代議政治施行以前に於ける議會の變遷、思想問題の推移は何れも當然の過程を經み來りたるかの觀がある。況んや朝鮮の如き思想界の安定を俄に期待し難いのも亦當然であらう。此點を以て朝鮮に於ける新聞は大に思ひを茲に致し、常に注意して着眼を高處に置き、社會に一歩先んじて善處する所がなければならぬ。

京城日報は號を重ぬる五千號に達し、創立以來十有餘年を經過し、其間には幾多の困難に遭逢したが、常に巧に之を切り拔け、政府と言はず、民衆と言は[illegible]民の意志ある所を充分に[illegible]を宣傳し、或は之を批評[illegible]最も公平なる見地より[illegible]鮮千七百萬の民衆並に在[illegible]人を誘導啓發し、且つ併[illegible]今後は政府が如何なる施政方針を執るかを世界に報道宣明することに終始一貫努力せることは其の功蹟に尠からざるものがある。斯る地位にある京城日報は一方に地方新聞であると同時に世界的新聞と謂ふべきである。朝鮮は併合後日尚淺くして從來社會的秩序の保持を主とし、文化增進の施設、殊に產業開發の點は他の急務に制せられ幾分閑却せられて居たが、最早其の時期も殆んど經過し、愈々產業施設の時代に入つたのである。故に前言の如き世界的地位を占むる京城日報としては殊に此點に思ひを致されん事を新聞當事者に切望せざるを得ない。京城日報五千號記念發刊に際し敢て蕪辭を呈する次第である。

ある事は敢て余の言を待つ迄もない其の報道は正確機敏、議論は絕えず社會を指導するの覺悟あるべきは誰彼の別無く民衆が新聞紙に對する要求であり希望であらう。翻つて朝鮮に於ける新聞は此要目以上に重大任務のある事を覺悟せねばならない、即ち內地と對照して先づ第一に讀者の性質を異にし加ふるに過去に於ては新聞の歴史なく世上の悲喜劇は口から口に傳へると云ふ傾を存し然も新聞に對しては一の偏見を持つて讀む關係上宜い影響よりも惡い影響が多[illegible]

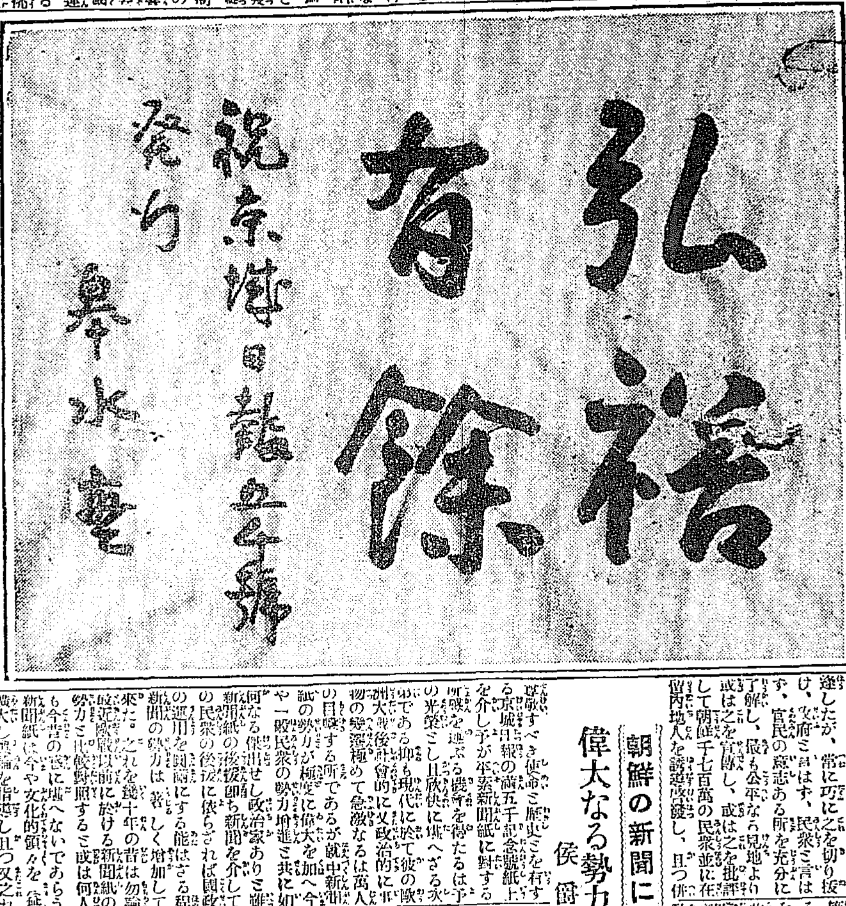
地と違つて特殊のものなるを知つて物の表裏は喝破し美しき反撃を得ると云ふ事を主眼とする必要がある余の希望は操觚者の一言一句は社會上大なる影響ある事を自覺し些たる記事も如何に波及するかを思ひ自重して世人の云ふ所謂新聞記者たる事無き樣あつて欲しい、近來の新聞紙に依つて社會の得る處多きは非常に喜ばしい現象である。朝鮮の新聞は朝鮮の民衆をして先づ新政の下に於ける新時代の精神を了解せしめ其の自覺に訴へて國家の根底を密むる上に重大[illegible]

[illegible]ざるべからざる場合もあると考へる。それは報道の機敏を專念とする結果は往々にし事實の眞相を誤り傳へて、平地に波瀾を惹起したる例は從來と雖も少くないからである。現在の新聞紙を大別するに政治・社會・經濟の各部面に亘りて綜合的に編輯されるものと、以上各部面を分立的に編輯されるものとがある。其の編輯方法の可否は暫らく措くとするも。吾々實業家としては特に經濟記事の精確と報道の機敏なることを望まざるを得ない。朝鮮に於ては獨り經濟關係のみならず政治と云はず、思想界と云はず、過渡期に屬するを以て、新聞記事の報道する所は一般民衆の信じ易くして冷靜判斷の餘裕に乏しき觀あるを以て朝鮮に於ける新聞紙の責任亦頗る大なる者あるを思ふ。京城日報がよく此間に處して多年朝鮮の各方面に貢獻する所少からざるは吾人の平素敬羨して措しかざる所である。

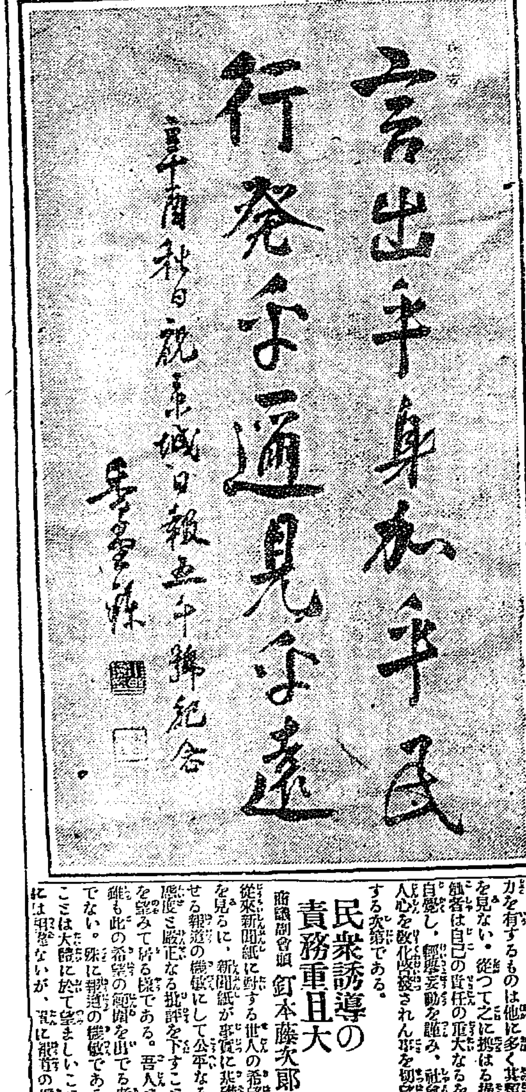
朝鮮產業開發と新聞紙の責務

朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉

新聞紙は印刷の發達と共に益々發達せる十九世紀後の文明機關として、年を重ぬるに從つて有力なるものとなつた。而して新聞紙は社會事象の報道機關たるに止まらず、政治に經濟に殊に精神的方面にも[illegible]紙業の發達、印刷術の改良、教育の普及の三者と相俟つて益其の偉力を示すに至つた。茲に於いて社會凡百の事一として新聞紙を無視して進み能はざる有様となつた。從つて社會上に於ける新聞紙の地位の向上と共に、責任は益重大を加ふるのである。之を善用すれば社會に貢獻する所勘からず、之を惡用すれば社會を毒する所亦尠くない。惡用の[illegible]



齋藤總督筆



水野總監筆

朝鮮の新聞に對する希望
偉大なる勢力と其責任

侯爵　李完用

予が平素新聞紙に對する[illegible]べき使命と歴史とを有す[illegible]日報の滿五千記念號紙上[illegible]述ぶる機會を得たるは予[illegible]とし且欣快に堪へざる次[illegible]る抑も現代に於て彼の[illegible]後社會的に又政治的に[illegible]遂極めて急激なるは萬人の目擊する所であるが就中新聞紙の勢力が極度に偉大を加へ今や一般民衆の勢力増進と共に如何なる傑出せし政治家ありと雖も新聞紙の後援即ち新聞を介しての民衆の後援に依らざれば國政の運用を圓滑にする能はざる程新聞の勢力は著しく增加して來た。之れを幾十年の昔は勿論最近歐戰以前に於ける新聞紙の勢力と比較對照すること或は何人も今昔の感に堪へないであらう。新聞紙は今や文化的領々を益擴大し輿論を指導し且つ又之れを代表する迄に勢力を加へて來たのである去り乍ら新聞紙の勢力增進と共に考慮せざるべからざることは其の正比例に任務の重きを加へたことである其の偉大なる勢力に伴ふ責任を忘却せんか新聞紙は啻に吾人の期待に反する計りでなく却て社會國家に害毒を流し世間より呪咀の的と爲らざるを得ぬ故に筆政に當るもの其々も輕率を戒め愼重に考慮を廻らさなければならぬ轉じて我が朝鮮は諸般の事物未だ草創に屬し所謂過渡時代で產業に教育に風俗に道德に或は改良を加へ或は建設を爲すべき事項甚だ多い此時健全なる輿論を喚起し堅實なる文化の向上を計るために京城日報の如き半島言論界の權威が五千號發行と共に是れを一轉機として益偉大なる勢力を發揮し叙上諸般を刷新改良に對し之を指導し之を代表して文章報國の天職を盡せられんことを衷心より祈り且つ期待する次第である

民衆の爲め善良なる友

總督府警務局事務官　丸山鶴吉

社會は間斷なく進步して來る、國民の智識も亦之れに伴つて發達するのは自然の趨勢である、茲に於て社會の報道機關であり木鐸である新聞紙は此の活社會に率先するの重大責務を帶びて[illegible]なる責任を負ふものといふべく從つて編輯には大なる注意を拂ひ一般內地に於ける新聞以上に責務把質を感じ記事の選擇は最も重要視するの必要はある要するに操觚者は朝鮮の讀者は內[illegible]而して又大に民意の暢達を期すべき時代にあつて民衆のための善良なる友人として全力を發揮せられんことを望む

祝電

內閣總理大臣　原敬

京城日報社創刊五千號此の間內鮮融和の機關として常に公正なる言論を以て內鮮人の思想を善導啓發し大陸日本の爲に貢獻せるの功績少からざるものあり冀くは內外多事の際其の責任の重大なるものあるに鑑み益々自任自重せられん事を茲に貴紙の發展を祝すると共に前途の隆昌を祈る

最も貴重なる智識の糧

京城府尹　吉松憲郎

一管の筆、以て天下を風靡し一片の論說、以て世界の思潮を指導する。實に新聞は社會の木鐸にして、之を善用すれば國家社會を光明界に誘導すれども、若し之を惡用せんか民衆を闇黑なる奈落の底に陷れ、終に救ふべからざるに至らしめる。かるが故に操觚者の責任は重且つ大なりといはねばならぬ。僞の感情に依つて筆先を左右にすべきものでない事は言ふまでもない。新聞記者は常に冷靜なる心を持つて社會の事物に對し公平無私にして正鵠なる批判を下し、是と信ずる者に向つては逡巡する事なく勇往邁進し、非と知らば飽迄之を排斥する。此際苟くも感情に走り徒らに批評のための批評に陷つてはならぬ。內地新聞界には政黨の機關紙が同一都市に對立し、各自黨のための論を吐いて爭鬪せるを屢見る。斯の如くして同一都市の新聞紙が各常に反對意見を揭げて相爭ふ事は、純朴なる讀者を誤り惑はすもので、實に寒心に堪へぬ次第である。朝鮮の新聞界は政黨政派に何等の關係を有せず否、それを超越して政黨上の爭ひはないが、小さい利害關係から動もすると感情に走る事がある。新聞の使命の上から實に唾棄すべき事である。新聞は『智識の米の飯』である。社會教化のテキストブックである。社會に之程偉大なる勢力を有するものは他に多く其類を見ない。從つて之に携はる操觚者は自己の責任の重大なるを[illegible]し、輕擧妄動を誡み、社會を敎化啓發されん事を切望する次第である。

民衆誘導の責務重且大

[illegible]會議所副會頭　釘本藤次郎

新聞紙に對する世人の希望を見るに、新聞紙が事實に基礎して報道の機關にして公平なると嚴正なる批評を下すことを鑑みて居る樣である。吾人とて此の希望の範圍を出でる者ではない。殊に報道の機關であることは大體に於て望ましいことに間然ないが、單に報道の機[illegible]

產業、教育の進步と新聞

西鮮殖鐵常務　賀田直治

朝鮮に於ける新聞紙に對する希望としては、產業と教育の進步發達に最も力を致す事である。產業と云ふも交通、殖產、工業、金融、貿易等の廣い意味のものである。生活の安定は產業に在り。思想の安定は生活の安定に在る。內鮮提携は產業の進步發達、即ち經濟的提携に根底を置かなければならぬ。故に產業を重要視するの必要があると同時に、一方に於ては今日の產業は教育の振興に待つ所多い。朝鮮の產業開發に就ては科學物質の方面の進步のみでなく、道德精神方面の進步と併進する必要がある。即ち所謂物心一如であらしめたい。要するに產業教育は朝鮮の開發文化に對しては重大なる關係あるを以て、朝鮮に於ける新聞は產業と教育と云ふものを能く理解し、精通して、適當なる報道又は適當なる指導の任を盡されたい事を切望する次第である。貴社創刊以來穩健なる主張と熾なる報道とに依りて、半島開發に多大の貢獻を爲し今日五千號記念版を發刊せらるゝに當り、聊か所感を述べて祝意を表し、貴社が將來益健全に發展せられん事を祈る次第である。

○秋　五句　　北溟

秋雨の飛行機仰ぐ群集かな
色變へし松ふく〳〵と島見ゆる
一鉢の菊[illegible]に蕉る破家かな
あき祭八束穗の田路[illegible]立つ
秋時雨月は南山の上に在り

○同　三句　　靜雨

雁鳴くや湖上をさつと一時雨
打揚ぐ[illegible]秋天に冴ひけり
國賓を迎ねて菊の馨哉

○同　三句　　涼[illegible]

物乞ひの何を叫ぶ宵の月
[illegible]紅葉南大門の夕陽哉
[illegible]すゝきが家の[illegible]哉

華府會議々題 更に愼重に審議

重に太平洋問題を提議か

【東京電報】華府會議の議題に關しては米國政府の提案に基き[illegible]府に通牒すべしとのことなり[illegible]米國政府の提議に[illegible]國の提議[illegible]

支那全權發表

【北京六日發電】六日大總統令を以て左の通り任命發表ありたり

任命 太平洋會議支那全權代表 施肇基 △顧維鈞 △王寵惠 △伍朝樞

委任統治交涉進捗

【華府四日發電】[illegible]委任統治問題に關し[illegible]太平洋上の[illegible]委任統治の交渉は滿足なる進捗をなしつゝあり[illegible]

海底電線一時日本管理

【倫敦四日發電】ヤップグァムの海底電線は[illegible]一時日本の管理に[illegible]

列國陸軍力比較

【東京電報】[illegible]列國陸軍の兵力を調査せる所左の如し

	現役	豫備
米	百三十七萬	[illegible]
伊	二百三十四萬	ナシ
英	七十四萬	ナシ
佛	三十萬	[illegible]
日本	二十七萬八千	十六萬二千
獨國	十四萬九千	二十九萬八千
支那	百二十五萬	[illegible]

支那回答文魂膽

日本提議中止希望か

【北京六日發電】[illegible]

支那の慣用手段

回答餘地保留か

[illegible]

英全權發表か

【倫敦四日發電】[illegible]

支那蒙古通商

十月より開始

【北京五日發電】ウンゲルン軍跳梁以來支那政府は蒙古貿易を禁止しが十月一日以來通商[illegible]當日米國商人アンダーソン、メーヤー會社は駱駝三百[illegible]物を滿載して之を庫倫に[illegible]めたり

宮内制改正

七日諸般規程公布

(宮内省發表)

【東京電報】宮内省官制[illegible]於て官制其他諸規定の其後諸般調査終りたる[illegible]等俸給令宮内官任用令[illegible]公布さるべきが改正の要[illegible]

(一)[illegible]を廢止し新に内匠寮出張所[illegible]宗秩寮内匠寮の事務[illegible]及び庶務課とす

[illegible]

房に主馬寮内匠寮は皇[illegible]課を新設し自動車課に關[illegible]林野管理局は京都に於る支局出張所の外特に本局[illegible]に併合す

[illegible]任官を通じて其[illegible]及び判任官の外は自由任用[illegible]の外は自由任用より普通任用に移し帝室[illegible]は恐く文官特別任用[illegible]

[illegible]制を設けることゝす

[illegible]局[illegible]省制より削除し特別[illegible]に移し

[illegible]學習院女子學習院御料[illegible]を廢止して其出入を一般[illegible]少の法律に必要なる修正[illegible]

[illegible]主事補は之を事務官及[illegible]習院の主事は現行の官名[illegible]

[illegible]の職員を整理して歳出入[illegible]嘱託は廢す[illegible]等を廢して之を雇員[illegible]とす而して之れに對して[illegible]

宮内官異動

【東京電報】七日附を以て左の如く任命ありたり

任侍從 日根野要吉郎

式武官 吉田要作

任宮中顧問官(各通)

南洋廳豫算

大部國庫補助

【東京電報】明年度新設さるべき南洋廳豫算は拓殖局にて編成を了し手塚民政署長と打合審議中の所此程之を了し整理の上一兩日前大藏省に廻附せるが總額五百萬圓にして現在は二百四十萬圓を要し居るも之を百五六十萬圓程度に切り詰め殘る三百五十萬圓は一般行政費として使用すべく收入は人頭税及び輸入税に依るもの、外大部分國庫の補助に待つ事とすべしと

關東廳競馬法

【東京電報】關東廳は馬匹改良及び賞出しの爲め競馬令法を制[illegible]せん云々

朝鮮より北京まで

朝鮮に於ける第一印象

全國中學校長團統裁者 弘瀨時治氏談

奉天會議列席の途次六日夜校長團と共に入城せる團長弘瀨時治氏を水原に出迎ふ其談に曰く

滿鮮視察が主な目的

一行は之を縣別にして釜山より便宜上二團に分ち、一班より七班迄を前團とし八班より十五班迄を後團としました、今宵入城する吾々は前團卽ち四十七名の一行で他は七日朝入城の豫定になつてゐます何しろ全國中學校長會議と云ふのですからドンな大會議が初まるのだらうかと一般の視聽を引いてゐるやうであるますが内容は左うした大袈裟のものでなく滿鮮殊に滿洲を視察しやうと云ふのが其主要なる目的になつてゐます、從つて顯目の會議たるや僅に半日間行はれるのみで、山河幾百里を距つ滿洲の野に

全國の校長 が集まると云ふことは恐らく空前の事實と云ふに過ぎないのでありますならが故に一寸顏合せをやらうそして會議の議案などは京城滯在中に起草する豫定で果して公表されるや否やは未だ言明する限りでありません、遂て貫紙上に報道された通り一行は京城仁川等觀察の上九月夜十一時發列車にて奉天に向ふ豫定で、之より大連、旅順等を訪問し更に引きかへして吉林等を視察する豫定になつてゐますそれからは全然隨意行動に移るのですが折角奉天迄足を入れて支那の首府たる北京を見ないとあつては腹の蟲が承知しない譯でありますから大多數は北京をも訪れる豫定であり次いで再び

朝鮮を經由 し内地に還する筈でありますが中には又青島、南京などを視察し或は漢口地方一巡して引揚げる大きいあるやうです、云ふ迄もなく支那は本邦にとり唇齒輔車の關係を有する大陸であり苟くも彼を閑却して我大和民族の運命を開拓する事のできない有要な地でありますから尠くとも教育の局に當つて將來帝國の使命を雙肩に擔ふべき有爲なる青少年を指導教育する者の一度は必ず見ておかねばならぬ所であると信ずるのであります、勿論今回の企ても

實に此意味 に於て行はるゝものであつて文部省はじめ各府縣當路者が各中學校長の參加方を奬勵力說せられたのも決して故なき事ではないのです

釜山より京城までの所感

であります

山に上陸しました時私の第一に感じた事は埠頭が立派に完成してゐること、そして海陸の連絡が一點の間然するものなき程度に都合よく出來あがつてゐた事であります、恐らく此點に至つては橫濱、神戶より以上のもので又其位置の優勢なる而して又港内面積の宏大なる共に本邦の誠なりと云つても決して過褒ならずと信じて疑ひません、次に街區の整然としてゐること、之れを私の居住地たる廣島の夫れと比見するに殆ど問題にならぬ程立派なものであると思ひます何しろ内地人が多數を占めて居

最近に開拓 された港であますから充分此等の點を考慮して作られた結果と思ひますが更に都市計畫なご行はるゝに於ては一層面目を新めることでせう釜山に上陸して異國の感じがするのは見なれない白衣の鮮人が大道を去來してゐる爲のみで他は内地の都會と異る所なく從つて何人がやつて來ても落ち着いて永住地と定むる事も容易にできるだらうと思つたのであります、それから龍頭山及龍尾山に登つた時兩山共神殿の建設されてあつたのに尠からず印象づけられたのであります。内地人の到る所には必ず神樣が祀られて居りますは又佛寺が完成されて居りますが此れは日本人が精神的に或るものを持つてゐる爲めであつて蓋し特筆大書の價値あるものである考へて居ります。次に東萊溫泉を訪れた時鮮人に對する

私の觀察は 聊か悲觀したと斷言して憚りません第一家屋の狹隘なこと……それは朝鮮人の趣味性に乏しきを立證するものであつて、深く立ち入つて批評することは此際なるべく避けたいのでありますが、能ふらくは經濟力を彼等に與ひ富の完成と相俟つて今少し物質的に家屋を改造すること此以外に方法は無いだらうと考へます、寧ろ酷評に近いかも知れませんが私共の見た彼等の生活は殆ど

原始的だな と思つた位であります、そして斯の如く文明に遲れてゐるだのではテンから問題にならないから何ごかしてかへれば助けて伸ばしたいと云ひ、て助長し進步せしめたいと云ふ感じを痛切に感ぜずには居れなかつたのであります……それから朝鮮に於ける教育問題、これは折角のお訪ねでありますが斯くの如き大なる問題に至つては吾々一小人の邪や角云ふべき

未だ悲觀の要を見ず

米作買收の結果にて對策講究

山本農相談

[illegible]

全國米作[illegible]と想像せられ米價は連日[illegible]表されるや否や[illegible]限りではありません[illegible]

[illegible]

白米商へ鐵槌

【東京電報】東京府にては市内白米商同業組合の不正につき取調中なりしが愈實證を擧げたるを以て農商務省と步調を揃へ近く大鐵槌を下すべく準備中なり

一驚を喫す

諸般の設備に

議員團上陸 小田切氏語る

【釜山電話】渡支議員團一行は七日朝上陸直に釜山港内及び府内各所を視察し十一時二十分發列車にて北行せるが發車前往訪の記者に對して小田切磐太郎氏は語る『只今朝鮮の咽喉たる釜山府市街を一覽しましたが統監府時代の朝鮮と現在とを比較すれば諸般の設備に於て一驚を喫しました私等一行の今回の視察は各自共別に任務を負はない各派知識と興味とを持つて視察をすりませんので朝鮮をパスするのでも甚だ殘念に堪へません』云々

全道耕地

四百卅二萬町

最近總督府の調査に係る朝鮮の耕地は畓百五十四萬三千七百町九段田二百七十七萬八千三百三十三町二段合計四百三十二萬二千三十五町一段にして內自作による畓五十五萬八百五十三町一段田百五十七萬六千三十七町一段小作による畓九十九萬二千八百四十八町八反田百二十萬二千二百九十六町一段なり此の外土地臺帳未登錄耕地見積面積畓四千百二町二段田四萬一千二百七十七町一段火田十二萬八千六十四町三段存在せり

水力電氣事業

洛東江利用

[illegible]鮮水力電氣株式會社[illegible]人佐谷瀧太郎外十六人の出願に係る水力電氣事業經營は九月三十日附を以て認可されたるが右水力電氣事業の計畫は洛東江の水力を利用して電氣を發生し慶南蔚山・梁山、金海、昌原各郡の一部及び東萊郡龜浦面に電力を供給し該地方に於ける製造工業用及農業灌漑用動力に充てんとするもので[illegible]にして發電設備は水力發電所四外に豫備として龜浦に一千キロの火力發電所を設置し總發電力最少一千九百八十キロワット最大二千八百三十キロワットなるが斯く完成を見るに至らば南鮮地方に於ける産業開發上益する所尠からざるべしと

咸南病牛終熄

江原道伊川郡方丈面に九月三十日牛疫發生したるを以て六日咸南防疫令を實施せられたるが咸南遂安郡及德原郡內には去月十三日以降新病牛發生せず全く終熄したる模樣にて六日附交通遮斷解禁せられたり

水産物品評會

十一月三日より

江原道主催沿海六郡及朝鮮水産組合の水産物品評會は來る十一月三日より七日迄五日間長箭港に於て開催すべく京管局にては來會者の便宜を計り溫井里ホテル及び自動車の運轉期間を同月十日迄延ばすべしと

實業校長會議

來十二月開催

總督府に於ては本年十二月五日より同八日に至る四日間公私立實業學校長及實業專修學校長(簡易を除く)を總督府に召集し學校の現狀及び將來の計畫、地方農民に及ぼしたる敎化の狀況、實業敎育振興に對する意見、[illegible]

畜産主任會議

來る十一月

總督府に於ては來る十一月十七日より五日間の豫定にて畜産に關する事務に付各道畜産技術官主任を召集の上聽取打合會を開催する由

全鮮及滿鮮商議追加案

來る十二日より平壤に於て開催せらる、全鮮及び滿鮮商議聯合會議に對し其後に於て提出されたる追加議案左の如し

鮮滿商業會議所聯合會追加議案 奉天商業會議所

一、第二回滿鮮商議聯合會に於て當所に要請したる滿洲視察團の急速實現を政府に要望する件

二、滿鮮に於ける豫定各鐵道の速成を政府當局に要望する件

三、釜山奉天間特別急行列車運轉開始を朝鮮總督府及滿鐵に要望するの件

元山商議役員

【元山特電】六日元山商業會議所役員選擧の結果會頭に芦澤忠太郎氏副會頭に杉野多市氏當選せり

本田博士記念事業

元勸業模範場長博士本田幸介氏の朝鮮に於ける功績を永遠に傳ふる爲全鮮農業關係有志者並官邊高官相謀り記念事業を興すの計畫を以て六月末廣く内鮮各地に亘り同博士の人格を敬慕する人士より資金の寄附を仰ぎつゝありしが九月末日調査に於ては應募人員一千二百人其金額二萬餘圓に上り申込殺到し其の範圍は同博士を知ると知らざるに拘らず喜んで出金に應ぜる狀況なる由、尙記念事業は記念圖書館の建設記念圖書の刊行、記念碑に代ふるに銅像を以てし朝鮮に於る銅像の嚆矢として水原勸業模範場内に之を建設せん計畫なりと此際出金希望の人士は京城黃金町一丁目七番地同博士記念事務所宛申込まれば喜んで受くべしと

大島陸軍大將

十日夜來城

前關東都督大島大將は鮮滿視察の爲め來る十日釜山着卽日來城一泊十一日京城滯在十二日南大門發平壤へ向ふべしと

中學校長團入城

總員九十三名

來る十一日を以て南滿洲奉天府に開催せらるべき全國中學校長會議列席者一行九十三名は之を府縣別に分つて十五班とし東京府立第一中學校長川田正徵氏其團長として一行を統率する豫定なりし所氏は來鮮の途次京都に於て突如病の爲め引返すの已むなきに至れるを以て廣島市縣立中學校長弘瀨時治氏之に代り八班以下十五班迄を前團とし一班以下七班迄後團として六日夜及び七日朝何れも入城せり各班氏名左の如し、『但し京城、平壤、奉天、大連、旅順並に青島の各中學校長は便宜上途中より參加す』

參天會議參加者氏名

第一班(北海道) 札幌 能與作 函館 小田四十一 旭川 川村文平 釧路 阿部與作

第二班(宮城、福島、栃木) 仙台一 小平高明 仙台二 河合祐吉 盤城 滑川一郎 東北 五十嵐要吉 佐野 和田紫太郎

第三班(千葉、埼玉、茨城) 熊谷 古賀毅 佐原 萱島榮 川越 野山忠幹 浦和 小林隆助 水戸 塚原末吉 土浦 臼井弘 下妻 飯田節 千葉 西村虎太郎

第四班(東京) 府立第二中 西保人 花原 田中平太郎 第五 伊藤長七 第三 廣瀨雄 攻玉社 高山兼吉 東京 上野清 成蹊 兒玉九十 大成 杉浦剛太郎 高師附 齋藤要章

第五班(新潟) 新潟 八木貫卷 相田良平 小千谷 友木饒 尾賀 精谷宗賀

第六班(長野) 長野 江口俊博 松本 羽石重雄 飯山 瀨戶爾之助 上田 山本義一

第七班(神奈川、山梨、靜岡) 橫濱一 木村繁四郎 橫濱二 湯淺又市 厚木 大屋八十八郎 濱松 佐藤禮云 沼津 砂崎德三 甲府 田村喜作

第八班(愛知、岐阜) 明倫 土屋貝安 愛知四 山崎新太郎 愛知七 鈴木周作 岐阜 寶山良雄 東濃 八木繁四郎 木巢 利根川與作 尾張 一柳知成 海津 磯崎敬治

(以上七日朝入城)

第九班(京都、兵庫、鳥取、奈良、和歌山、大阪) 太立 元久五郎 文武 浦武助 平安 渡邊隆勝 郡岡 小林吉人 神戶三 近藤英也 中南 小森慶助 和歌山 戶村定輔 島取 林重浩 上宮 定惠 海草 妹尾盛視

第十班(岡山、香川、德島) 矢掛 曾木勘 岡山一 柳井道民 德島 根井久晉 大川 生井鉦太郎 鵬町 津山 杉山敦磨 金光 佐藤金治 關西 佐藤富三 (以下[illegible])

第十一班(廣島、山口) 廣島 弘瀨時治 附屬中 長谷川乙彥 宇部 小松重造

第十二班(佐賀、長崎、福岡、大分) 飯谷 西崎忠英 豐國 西田幸太郎 田川 田中常雄 明善 川口孫次郎 大分 池上庄次郎

第十三班(鹿兒島、宮崎、沖繩) 川邊 山崎平代矩 鹿兒島二 江崎誠 志布志 新田啓二 沖繩一 元田魚住 延岡 波功 沖繩二 信佐淳吉

第十四班(朝鮮) 京城 津田信 釜山 井上庄次 大田 關本幸太郎 龍山 福島亦八 大邱 和田英正 平壤 島飼生駒

第十五班(滿洲、青島、臺灣) 一高普 加藤常次郎 二高普 平山正 奉天 內堀維文 大連 服部精四郎 旅順 小山忠雄 青島 熊谷政直 臺南 廣江萬次郎

(以上六日夜入城)

校長團宿所

六日夜及七日朝入城せる全國中學校長團一行は七八の兩日間市内各所を視察すべきは昨紙所報の如くなるが京城滯在中の旅館及び視察者は左の如し

旅館	班別	案內指任學校
巴城館	四、五	京城中學校
原金	八、十三	京城公立高女校
浦尾	九	京城第一高普校
山本	六、七、十一	龍山中學校
天眞樓	一、二、三	京城師範校
朝鮮ホテル	十二	龍山鐵道學校
淸光館	十四、十、十五	京城女子高普校

千葉部長後任

京畿道警察部長千葉了氏は歐米視察の爲め七日午前十時南大門發列車にて出發せるが後任は七日左の如く任命されたり

道事務官 千葉了

任總督府事務官叙高等官三等 警務局勤務を命ず

道事務官 佐藤七五郎

京畿道警察部長事務取扱を命ず

醫師試驗合格者

大正十年十月施行の總督府醫師試驗第三部合格者は七日午後發表せらるべし

蒸汽煖房使用

來る十五日より朝鮮線中京仁線京元線湖南線列車の一部蒸汽煖房器の使用を開始すべしと

支那國祭日

本月十日は支那共和國の國祭日に相當するが在京城同國總領事館に於ては都合に依り當日祝賀を受けざる由

愛婦支部午餐會

愛國婦人會京城支部にては本部總會を機として五日午前十一時より京城ホテルに於て各府郡委員及び職員並有功者全部を招待し午餐會を催したるが參會者は總計百三十名にして一同着席するや工藤知事夫人は支部長として一場の挨拶をなし次で來賓總代として深川仁川府尹夫人の答辭あり頗る盛會を極めて午後一時散會せり

內鮮法曹懇話

北京に於て開催せる國際辯護士協會大會參列の歸途來る十四日入京の筈なる東京其他の內地辯護士代表者歡迎の爲め在京辯護士團は木尾高橋三氏總代となり同日午後四時より朝鮮ホテルに於て內鮮法曹懇話會を開催すべしと

上林次官着期

新任李王職次官上林敬次郎氏は七日夜着任の筈なりしが都合に依り九日午前九時五十分南大門著列車にて着任の豫定なりと

千葉了氏出發

千葉京畿道警察部長は豫定の通り七日午前十時南大門發釜山行特急列車[illegible]

人事消息

▲大內要氏(京管經理課長) 七日夜歸任

▲淨法寺第二十師團長 は吉村參謀、吉澤副官を隨へ秋季演習地實査の爲め平南地方へ出張中の處七日歸任せり

▲川村拓殖局長官一行四名七日朝特急にて歸東

▲原田金之祐氏(朝郵取締役會長) 七日朝歸東

▲弓削總督府鐵道部長 は九日頃出發大阪、三重、靜岡の各地を經て東京に於ける鐵道創設五十年祝典に參列の爲め内地へ出張の豫定なるが往復三週間を要すと

▲立花正樹氏(新任黃海道知事) 江原道伊氏の後任として近く赴任の筈

▲横田法務局長 約二週間の豫定にて八日午前十時南大門發列車にて上京すべし

▲全國中學校長團 七日朝入城天眞樓、巴城館へ分宿

▲警務局長 事務取扱を命ぜられたる佐藤京畿道內務部長は今朝十時出勤し各課長並に挨拶をなせり

▲山尻常雄氏(長崎高等商業學校長) 七日商況視察の爲め下仁八日京城の歸省途上に[illegible]海州に出發の筈

『千葉氏外遊』記事訂正 七日の本紙二面掲載の千葉君の外遊と題する記事中末段右より六行目以下は植民文あるに付下の通訂正す『歐米目下の都市は全部に亘つて居る殊に氏が米國へ到着する頃には丁度例の太平洋會議が華盛頓で開かれるので あるから此一事でも既に十分意義あるものである況や視察區域が廣いのであるから氏の炯眼必ず新しい材料を摑んで來るであらう―が無事に此意義ある任務を完ふして歸る樣にと一同祈つて居る』云々

●松尾茂吉氏百日忌法要 前大陸通信社長故松尾茂吉氏宅に於ては今七日午後二時故人百日忌の法要を營みたり

●[illegible]に多數の紳士淑女に見送られ家族同伴にて晴れの歐米視察の途に就きたり見送り人は警察部並に工藤知事以下道廳各部課長及總督府高等官外官民知名の士敎習生五十餘名の一隊を始めとして[illegible]府內各警察署部課以上並に數百名なりき

祝電

祝京城日報社創刊五千號併せて貴社の隆昌を祈る　內務大臣 床次竹次郎

祝京城日報社創刊五千號　海軍大臣男爵 加藤友三郎

祝京城日報社創刊五千號　遞信大臣 野田卯太郎

祝京城日報社創刊五千號　司法大臣伯爵 大木遠吉

祝京城日報社五千號　文部大臣 中橋德五郎

祝京城日報社五千號記念　外務大臣伯爵 內田康哉

祝京城日報社五千號記念　鐵道大臣 元田肇

祝京城日報社創刊五千號　農商務大臣男爵 山本達雄

祝京城日報社創刊五千號　大藏大臣子爵 高橋是清

祝京城日報社創刊五千號　陸軍大臣 山梨半造

祝京城日報社創刊五千號記念併せて貴社の隆昌を祈る　衆議院議長 奧繁三郎

…本日二十頁…

物價騰貴率程度

[illegible]

糖粉界の大革命

滿洲の玉蜀黍を利用して砂糖澱粉の製造を始める 南滿工業會社の計畫

南滿洲工業會社の事は本紙が屢々報道した處であるから今更贅辯を加ふる必要は認めない、然し同社は目下株式公募中であるから今一應如何に同社の事業が有望なものであり將來に多望であるかを述べて見るのも強ち無用の事ではあるまい

歐洲に於ける過般の大戰は世界的の各國共に食糧問題に一大覺醒を與へた、我が帝國も一旦事ある場合はと云ふ事に就いて上下を擧げて注意を拂ふ樣になつた、其の結果は滿洲に於ける農業並に食料品供給と云ふ事が特に識者の注目を拂ふ所となつた、滿洲に於ける食料品と云へば多くの者が豆を思ふ、而して又一面に近來朝鮮人問題が提稱され滿洲水田の有望なる事が宣傳される結果米作と云ふ事が興味をひく樣である、勿論滿洲大豆は有名なものであり量に於ても飛產界の大宗であるが米作なるものは極めて初步に屬し且つ元來の在住者たる支那人が其事に慣れず又匪賊の關係上遥かに水田の大開發等は到底思ひも及ばぬ所で序に其發展を希望する外はない

此時に當り多くを知れて居ない玉蜀黍を原料とし加工して有用なる食料品となすの事業は從來大連に於て久保通猷氏が大正米とか何とか云ふて利用方法を研究して居る外には今回計畫された南滿洲工業の澱粉製造に先づ指を屈せねばなるまい而して同社が玉蜀黍を原料として如何なる製品を市場に送らんとしてるかと云ふと、第一が澱粉第二が砂糖其他營養國需食糧並に工業品等である、而して此の製品は第一日本に於ける糖界に一大革命を賦すと同時に澱粉需用國たる支那其物及び歐米に此の豐富なる低廉なる特產物を利用して販出し以て彼我共同の利益を增進せんと云ふのである、

現在の日本としては玉蜀黍澱粉なるものは未だ大なる需用を見ぬが歐米に於ては極めて重要なる食糧品として消費格は莫大なるものであると同時に工業用品として屈指のものとされて居る、而して其の製造の本場としては米國であつて同國では該事業は國として一大工業で其の投資格は數億圓の多きを算し而も好く二割乃至三割の利廻を示してるのである

斯へて今回計畫されてる南滿洲工業會社は從來日本で計畫され經營されて多くは失敗の歷史を有する小規模なる該工業の諸缺點諸難點を鑑みて一大改良を施し獨特の技術と嶄新なる計畫の下に大量製產なる經濟的根據を以て優良なる澱粉並に砂糖を低廉に製出販賣せんとするのである

其の計劃を現在の米國に於けると比較對照するに米國の百封生產費九、七五錢に對し奉天では三、九五錢餘で是に向そ諸掛費を法外多額に見積り三、〇二錢餘を加ふるも僅に六、九八錢で米國品に比し四割弱の安値となり從て本社の計劃たる資本金三百萬圓內七十五萬圓拂込に對し年間八萬五千石の原料を消費するとしても優に三割以上の利益配分をなし得るは左程の難事ではない筈である、是に加ふるに砂糖の製造をなし又澱粉に麥粉界を蠶食し得るは是れ又容易に首肯し得らるゝ處である、兎も角に本事業が邦人の手によりて計畫實施を見るは大に慶賀すべき處であると同時に反面には既設の製粉界製糖界に一大脅威を與ふるもので正は斯界に一大革命を與へるものではあるまいか、而して斯くの如き事業の經營は決して然かく容易なものではない、が資本家と[illegible]貨物件の上から見れば[illegible]もので且つ極めて有意[illegible]のと云はねばなるまい

山田軍醫總監

【大田】山田軍醫總監は[illegible]共に十月四日午前十一時二十五分大田驛著の列車にて[illegible]より直に大田衛戍病院[illegible]檢查を行ひたる上午後[illegible]發列車にて大邱に向け[illegible]

有川少將來る 歡迎會開催

【新義州】陸軍飛行學校長有川少將は五日午前十一時[illegible]にて新義州に來り日滿連[illegible]新陸其他を視察し同夜[illegible]民主催にかゝる公會堂[illegible]に臨みたり

忠南知事巡視

【天安】忠南金知事は[illegible]視察のため道參與官[illegible]午洪城より溫泉里に向[illegible]投宿七日天安郡內を巡[illegible]二時自動車により歸[illegible]

大田面擴張問題

【大田】大田面擴張問題に就ては既に道廳より金本技手出張岸川大田郡係員と其他と共に測量に着手し本年中は是非共之を完了せんとなしつゝあるも擴張せらるべき地區は外南、柳川の二ヶ面の一部を編入すべき計畫にありて柳川面は承諾の意を表したるも外南面は將來有望の地を割讓せらるべきより從つて面の消長に重大なる關係を有するを以て面協議會に於ては之れに反對すべき事を申出でたり依つて郡廳は面擴張の認可申請書の提出期遅延し居れば關係三ヶ面中二ヶ面賛成の理由を附し申達したる後面民全部の反對なるやを調査したる上何とか善後策を講ずる筈

釜山市街計畫 調査委員決定

【釜山】豫て釜山市街計畫調査委員につき本田釜山府尹の手許にて銓衡中の處五日愈左記の氏名を決定囑託する事となれり

村直二郎、松井房次郎、加々尾[illegible]郞、齋藤孝平、山本倫、丸山忠作、池忠助、香椎源太郎、迫間房太郎、原源三郎、坂田文吉、戶島巳之助、[illegible]野廣、山本純一、宋台觀、吉岡重[illegible]、伊藤祐義、佐谷涌太郎、萩本阿[illegible]美、武久捨吉、鄕鎮斗、田端正平、[illegible]川正、金容瑞、岡村武經、川島[illegible]、山野秀一、李鈞雨、林詢生、小原[illegible]

小野理財局長

【釜山】大藏省理財局長小野義一氏は產業調査終了後滿鮮各地視察中の處六日午前五時五十分著釜直に松井稅關長濱田殖銀支店長と共に東萊溫泉に赴き靜養の後同夜八時半博愛丸にて歸東の途に就きたり

北京航空參事

【安東縣】國境通過日本飛行機檢查官として久しく安東ホテルに滯在中なりし北京航空所參事徐祖善氏は五日其の任務を果したるを以て今日午後九時半發の列車にて奉天を經て北京へ向け出發したり

大田選擧戰 候補定數を超えん

【大田】明日の切迫せる大田學校組合會議員總選擧は其後各區共夫れ〳〵候補者の物色中なるが十月五日迄に決定せるは本間野間義夫原孝一永野廣次郎鹿太郎田原芳助の六氏にして其他瀨安次郎安宅兵太本司義則井松式能浦雁次郎南部京平伊[illegible]の諸氏呼び聲高きを以て一兩日中には夫々候補者の決定を見るならんが或は定數以上の候補ありて白熱戰を演ずるも計られずと觀測せらる

管轄區域變更

【釜山】東萊郡龜浦面、西面、沙上面、沙下面の四面は從來東萊警察署の管轄區域たりしも五日付官報にて釜山警察署に編入されたり元來該四面は何れも釜山の隣接地でもあり且交通の便利よりするも當然釜山署內の管轄に屬するを以て至當す尙犯罪上[illegible]

小作料品評會 千歲農場で開催

【公州】忠淸南道燕岐郡錦南面大平里なる合資會社千歲農場に於ては大正元年御大典記念として小作料品評會なるものを組織し農事及貯蓄心の獎勵を目的として毎年開催し來りしが大正八九の兩年は四圍の狀況を鑑み開催を見合せしも目下民心安定したるを以て九月二日を以て第四回御大典記念小作料品評會を開催したり來賓者の主なるものは藤本道技師燕岐郡守代理野口技手新聞記者警察官等にして會する者無慮五百姝に當日は恰も市日なりしを以て觀覽者亦場の內外に溢れ殆ど人の山を築くの盛況なりき

獻穀修祓式 全州神社執行

【全州】全羅北道の神嘗祭獻穀修祓式は五日午前九時より全州神社にて執行されたるが總督府より特に渡邊彥氏を齋主に杉田全州神社々掌を祓主として莊嚴に式を擧げ亥角知事片岡內務部長石川警察部長朴參與官其他官廳側代表者として松大友判事新聞社代表者として全北日報社長一般民代表として[illegible]を捧げ獻穀田所在地の東山(全州より三里)より

耕作者

桂木市太郎氏獻穀を捧持して全州に來り藤谷全州郡守附添ひ護衛として三浦巡查部長外に矢野東拓支店長以下東拓社員移民代表者東山小學校生徒百餘名同普通學校生徒

參列者

官民の重なる者百數十名共に來全して式場に參列したり外に多數なり斯くて正午式を終り午後一時道廳知事室にて受納式を終り獻穀は八尋監督技師江藤會計課長捧持し佐々木警部補護衛して六日午前十一時全州發本町に向ひたり

秋期野球リーグ戰

仁川體育協會主催 九日(第二日曜)より擧行する

【仁川】仁川體育協會秋季野球リーグ戰は來る九日第二日曜より擧行の事に四日夜代表者會に於て決議せり野球後援會主催リーグ戰の終了の後を受けて引續き開催の事とて餘焰まだ去らざる球界は再び

熱狂的氣分

を以て迎へられ前回の復讐戰とも做して奮戰爲鬪を期するチームの意氣亦凄まじきものあり協會に於ては旣に十月十六日より開始し二十三日を以て優勝戰に入るべく豫め計畫されたるも廿三日は小學校聯合運動會開催の日取りとなれるやにて之を繰り上げ九日第一回戰十六日第二回戰而して十七日の旗日第三及優勝決戰を行ふ事に變更決定せり今回は例年の通り

我社仁川支店

寄贈の優勝旗爭奪戰なるを以て各チームの意氣は益揚り榮冠何れの手に歸すべきか勿論過に逆睹すべからざるものあり全市のファンはさながらに湧く如き熱狂を以て爭覇戰に期待を緊けり參加チームは漢勇エベト、仁商、仁中、米信、ミカド、實業、同志、ミナト、銀行、起蜂の十一チームを算し九日午前七時三十分旭屋旅館廣場に集合したる上

百五十名の選手

がユニホーム姿凛然と隊伍を組み春季爭覇に覇權を握れる銀行團の優勝旗を先頭に球場に入場すべく蓋し稀有の偉觀たるべし、午前八時二十分迄に入場式を終へ、試合開始は八時卅分、第一戰は抽籤の結果漢勇エベトの命戰と決し以下左の如く決定せり

漢勇對エベト
仁商對仁中
米信對ミカド
不戰一勝者 實業、同志、ミナト、銀行、起蜂

而して第一日に於て三組の試合を行ふも時間に餘裕あるべきを以て更に不戰者より抽籤して同志社賞獎の二勝戰を一組第一回戰終了後に試合する事に協定し其他は一回戰の結果に依つて更に抽籤以下十六日第三日曜に試合の事となれり

殉職警官の遺族へ共濟金 警察協會より贈る

【義州】本年四月以來平北管內に於ける警察官吏の殉職及び在職中病死者の遺族に對し今回朝鮮警察協會長より左の通り共濟金を增與せり

九月六日附在職中病死者には左の如し

金五拾圓也 重戶ユキ
金四拾圓也 河村きさゑ
金參拾五圓也 李錫均

九月二十八日附殉職者に對しては左の如し

金百八拾圓也 篠塚正作
金九拾八圓也 高田清太郎
金百八拾圓也 萩非かよ
金百參拾貳圓也 船田みさ
金百九拾六圓也 高田尙貞
以上

北鮮夜話

名物の露=拔け目がない 佛商人=寂しい航海

【一】

◆ボー〳〵と汽船が汽笛を鳴らして沖を通る、北鮮沿岸一帶は名物の霧が深く立罩めて海上は日中でも咫尺を辨ぜぬ事がある、北鮮の霧は春から初夏の間が一番濃厚な期節で霧は航海者の大敵と呼ばれてる位だ、汽船の座礁や衝突は霧の深い時に多い、◆併し秋は概して霧が尠く海上は快晴の日が多いのだが今年は何うした風の吹き廻しか陸も海も霧が立罩めて日の目の見られぬ日が幾日も續いてる霧の深い時の航海は一刻も油斷が出來ない、五分毎にボー〳〵と汽笛を鳴らし乍ら危險を避けて行く北鮮沿岸で從來屢汽船の座礁したのは多くは霧の爲であつた◆霧のお蔭がこの頃元山港には汽船の假泊が多い、船員は退屈さうな顏で市中を徘徊してゐる外國商船を時々見舞つて來るが多くは佛國船で中には露國人の乘つてるのもある、佛商人は中々拔け目が無い、假泊してる間に洋服地の羅紗やセルを擔いて步くが何時でも好成績を擧げるらしい、◆外國船が入港しても元山の商品は一向賣れ無い、羅紗類を割安に買付けて行くだけで金を拂はぬのは何遍來ても同じ事、毛色が變つてるだけ中々盤が高いと市中では笑ひ話の種となつてる、之に反し內地人や鮮人の船員には上陸を待兼ねて酒の香に溺れるものが何うも多いらしい、元山の如き娛樂機關の尠い土地に來て海上の苦を忘れるには矢張り酒に限るものと見える、◆或老船長の話に北鮮の沿岸航海は冬季が辛い、それは日本海から吹き寄せる雪風よりも船を木の葉の如く弄ぶ白浪よりも寄港地に船員の眼を慰め苦を忘れしむべき完全な娛樂機關が無いのが一番辛いと、之は至極道理な話である、橫斷航路に從事してる船員などは十數日目毎に波荒い日本海を乘り切つて敦賀、七尾、伏木などの懷しい暖かみのある山の姿に接する度に熱淚が我れ知らず頬を傳ふと云つてる、是から寂しいのは北鮮沿岸の航海であらうと(元山支局記者)

敵の背後に進出 實戰なら大混戰

大同江畔の攻防演習 第二信 夜を徹して彼我戰ふ

特派員發

十月五日夜半 於統監部幕舍

『今回の演習は稍堅固な陣地に對し步工兵の協同動作に依り數次の攻擊陣地を構成し

障碍物を排除し突擊路開設し

陣地占領後堡復攻擊に對する處置等の基礎的動作を演練するのが目的である、攻擊軍は攻擊陣地を推進し突擊陣地を構成しやうとし防禦軍はさはさせじと極力抵抗妨害し或は機を見て攻勢に轉ずるかも知れない、併し六日の拂曉には壯烈なる突擊が演ぜられるであらうから、本統の演習の面白味は明夜にある、何しろ

闇夜を利用して互に敵前で作業

する事であるから、從つて膽もすわり眼も闇に慣らされる、今回の機動演習には是が好い經驗になつて好成績を示すであらう』と谷村統監は斯く語りつゝ自分と相並んで防禦司令官の壕の中にとゆく。深さ等身の壕を降りて進むと段々深くなつて掩堡の中には村井少佐が頻々として來る電話の情報に依り、敵情を判斷し夫れに對する決心處置を案じては命令を下してる宛ら實戰のやう、壕は深く堀られて掩蓋も至つて堅牢に作られてある茲を辭して更に攻擊軍の情況を視察すべく、交通壕を拔け

鐵條網を潜つて 闇を辿る事十米

忽如として前面に彼我の戰鬪が開始された。防禦軍の熊本中尉が部下小隊を率ゐて敵の背後に迂回し、敵の油斷を見すまし、今し襲つたのである、是が實戰なら一大混戰を演じ彼我の死屍累々たる修羅の慘狀を呈するのであるが、そこは演習の有難さ、審判官の適宜の處置に依り兩軍東西に別れて行く。攻擊軍司令官藤川少佐は敵情に基づき本夜攻擊を遂行し第二攻擊陣地の中間に第三攻擊陣地を構成すべく命令を下したので、大隊は敵を警戒しつゝ作業に熱中してゐる防禦軍は是を妨害すべく

ラカロックの照明火を盛んに輝

かしては射擊する。照明火が消ゆると士卒を擔いで進む者、器具を抱いて地を這ふもの、掩堡から飛起して馳走で進むもの、其の度每に劍鞘や圓匙や鶴嘴が摺れ合ふ音が淋しく凄く銃聲に交んで夜寒むの空に鳴き渡る攻擊軍は敵前に近迫して畑に機關銃座を構成してゐる。掩護の兵も出さないで頗る大膽なもの、何れも丸腰の襦袢一枚で工事を急いでゐる、敵の斥候が是を察知したならば是に向つて射擊を加へたなら忽ち全滅の憂目を見るであらうが何分漆黑の闇とてお互に知らぬのが却て興味を深からしめる直前には防禦軍斥候が出沒してゐるのに齒搔い事である。自分は彼我の陣地を視察し

所謂乃木將軍の 演習と雖も實戰

の如く將卒一同が緊張してゐる志氣の旺盛なのを見て密かに意を強くした。夜が更くるに從つて銃聲は盛んに各所で起り、機關銃の物凄しい音も漸次加はつてゆく。(終)

落成した 敷島遊廓の大門

盛んな祝賀會

【仁川】俗に黑門と稱して矢張り仁川の一名物である敷島遊廓の大門は建設既に二十年漸く腐朽に傾いて之が改築の必要を認むると云ふので組合では過般來建築中であつた宏壯なる新しい

大門の

建築中であつたが五日午前十時其の落成上棟式を擧げ見上ぐる許りの大門の上に祭壇を設けて神官の祈禱があり組合代表者一同參詞して餅撒の儀式を終り午後一時から大門內に設けられた大宴會場で來賓數百の祝盃を擧ぐる、茲は廓內各樓の娼妓は今日許りは晴れて

宴席に

歡待を盡しエプロン姿で模擬店式の活動もやれば赤前埀に銚子を握ると云ふ趣向設宴中ばに石野組合長は起つて明快な挨拶な試み茲に二十年祝賀さ大門落成の目祝を兼ねて今日の設宴ある所以を述べ樋口米吾氏來賓を代表して謝辭を述べ併せて二十年前創設以來今日に及ぶ盛衰の經過を顧りみて感想を披瀝した來賓十分の歡を盡して宴を閉づる頃に

廓內に

設けた芝居の開幕全員揃つての大車輪に多大の興趣を呼び紅燈輝く夕暮頃からは更に觀衆殺到の盛況斯くて目出度盛大に祝ひを終つた、

仁川驛客月成績

【仁川】九月中仁川驛運輸成績は總收入五萬九千九百十五圓客車收入九千九百六十六圓貨車收入四萬九千九百四十九圓にして前年同期に比すれば客車出入一千八百二圓貨車收入一萬一千三百四十一圓何れも減少せり乘車人員五千四百五十八人降車七千六百三十二人入場者四百六十人手小荷物發送斤數八萬一千八百八十二斤到着十萬二千五百七十四斤貨物發送一萬四千二百廿一噸到着八千六百五十四噸を算す

群山商議評議員會

【群山】群山商業會議所にては本月中旬平壤に開催さるゝ滿鮮商業會議所聯合會及朝鮮商業會議所聯合會に出席せしむべき代表委員の選定と幷に役員會に於て決定せる聯合會提案內容報告の爲め十月六日午前十時より會議所會議室に於て臨時評議員總會を開催したり

牙山金融組合總會

【天安】牙山郡金融組合總會開催に付忠南金融組合聯合會理事長出席午後五時より招待宴の宴を張れり

世界一周旅行團 一行米國人九名

【釜山】米國の世界一周旅行團一行九名は六日午後八時五十分著釜直に連絡船にて內地に向ふ

仁川秋季野球大會

期日 十月九日午前八時半
場所 山根町公設運動場

注意 京城日報仁川支局寄贈の優勝旗爭奪戰を行ふ

主催 仁川體育協會

祝五千號

東洋拓殖株式會社京城支店

祝五千號

南滿洲鐵道株式會社京城管理局

祝五千號

三井物產株式會社京城支店

婦人講壇

現代婦人の覺悟

下田女史講演概要

今日の現代婦人の覺悟について私の卑見を申ますと手近な例として陣容新な朝鮮愛婦が、昨今のいはゆるこの花の時期から恥かしからぬ實を結ばせる爲めに從來より以上、少からぬ努力をなすべきと同樣に

現在の日本 が世界交通の便を得て彼我の接觸が頻繁になつてからは、或る意味に於ては世界が縮められたともいへましようが、それに依つた文化の進展といふものは實に非常なもので、私共日常生活の上には電氣、水道其他と文化の光りは滿ち、實に科學の進歩しない

幾世記かの 昔であつたら全く奇蹟とでも云ふべき現象ばかりであります、これからして私共は其の地方により、生活程度に從つて或は衣服或は食物、或は住宅にと、時勢に順應して改善する事は當然な事であり又現在に於ては時勢の致す處として誰でも是非やらねばならぬ事であります、扨て

此の改善は 何から手を着けて行くかと申ますと、改善のすべては先づ家庭生活の有形無形の改善を以て立脚すべきでありまして極力、時を短縮して、便利に經濟に、有用に生活して行く事でありまして、先づ家庭婦人の精神が此の改善の意識に異に觸れる事が第一義だろうと思ひます處が

現在の婦人 は從來の習慣に甘じ多くの改善が他働的である爲め改善といへば餘程事異つた、所謂新しい事をするもの、樣に思はれて往々にして改革に陷つてる向があります、此の點は最も改善上、注意すべき事であつて、元來研究的ですべて自發的である歐米人に比しては大いに劣るものであります、茲に於て

生活の改善 といふものは、いつも自發的に研究の結果沈思に行ふべき性質のものであつて又家庭の主婦が一つの趣味を感じて絶えず樂しみとして行ひ其の餘裕を得て婦人の美德である同情、仁慈の心を廣く社會の上につくすべきであります衝突を豫防緩和し破れを繕ふものは實に婦人の手にまつものが多いのであります、近頃歐米でも徒らに社交界の花を競ふなどの風が減少して其に

各目の天職 の充實につくすといふ傾向にある有樣で實に現代の婦人は殊に在鮮內地婦人は世界を通じての標語である議斷機といふ婦人の美德によつて、同化融和して終局の勝を得る事に努力しなければなりません

下田女史の講演會

過日來當地婦人間の期待であつた愛國婦人會主催の下田女史大講演會は既報の通り六日午後二時より長谷川町公會堂に於て開かれ、水野總監夫人初め聽衆は實に在城智識階級婦人約一千五百名、開會前會場は既に立錐の餘地もないといふ盛況を呈した、定刻水野總監の紹介を兼ねた一場の講演あり次いで、當日の演題である「現代婦人の覺悟」といふ下田女史の講演に入つたが、女史は此の本題に入る前程として、先づ記錄破りといふ盛會を極めた五日の總會に對し愛婦本會長としての立場から、その賛、尙、又、感謝の辭とを述べて、現下盛花の時季に等しい愛婦を本講演の階段として約一時間半に亙り既報別項の如き講演を試みられた、

下田女史動靜

七日下田女史の一行は午前九時より赤池夫人、工藤夫人の隨伴にて京城高等女學校及び庚子記念幼稚園、女子技藝學校を參觀正午は李王妃殿下の午餐會に臨席午後フランス敎會參觀、總督官邸における茶會に臨み午後六時半よりは下田本會長の主催にて朝鮮愛婦本部幹部婦人及び朝鮮貴婦人數十名を朝鮮ホテルに招待晩餐會を張られた

男子禁制

本社後援の全鮮女學生庭球大會

來る九日午前十時から三井物産コートにて開催

豫て報道せし我が社後援の全鮮女學生庭球大會の一度發表さるゝや各方面に多大の感興を與へた此の曾て試みざる全鮮女學生庭球大會が奈何に好果を齎すであらうか體育上並に各校との

意志の疏通 にも此の上もない宜い機會であるといふ見地から各校共此のレコード破りの庭球大會に非常な贊意を表されて出場を承諾したのは偶然でない只釜山木浦元山等が餘りに遠隔であるので出場されないのは遺憾であるが平壤仁川等の出場あり總數二十九組といふ素破らしい盛況である六日

是が打合せ の爲め各校の代表者と本社樓上に於て協議決定したのは左の通であつた時日は九日午前十時より競技場は長谷川町三井物産の新設コートにて各校の練習試合は抽籤の結果一番女子高等普通學校は午前八時二十分より同四十分迄二番が

平壤女學校 の同四十分より九時迄三番が京城女學校の九時より同二十分迄四番が□學校の同二十分より三十分迄五番が仁川女學校の同三十分より五十分迄各五回ゲームで同志打は成るべく避ける方法を講ずる

其他脫衣場 の設備等あり夫れから競技參觀者は婦人に限り男子は絶對に禁制であること應援は拍手に限り高聲其他を發せざること等であつたが應援は平壤の八十名仁川の七十名夫れに府內各學校のを合すれば少くも五百以上の應募があり當日の盛況は察するに餘りがある

期日＝十月九日（午前十時開始）
會場＝長谷川町三井物産コート

全鮮女學生庭球大會

主催　朝鮮體育協會
後援　京城日報社

處女の誘を擁護せよ

今議會へ請願の計畫

處女を誘惑して醜業させた事から五ヶ年間の久しきに亙つて法廷に爭ひ結局大審院に於て罪狀微の理由の下に遂に敗訴となつた婦風會では此國家の第二の妻第二の母たるべき處女の貞操保護の爲昨年の議會に辯護士四村勘助氏に依賴し處女保護法案を造り之を提出する豫定であつたが未だ其運びに至らざる中に閉會となり空しく其事も無くして止んだが今年は國際聯盟の條項中なる

一、何人に拘らず他人の情慾を滿足せしむる意志にて未成年の婦女を雇入れ誘引若くは誘惑したるものは假令本人の承諾あるも處罰せらるべし又犯罪構成の要素たる各種の行爲が他國に於て遂行せられたる場合と雖も處罰せらるべし

を提げ日本全國一百萬の處女を糾合して來る四十五議會に請願せんと畫策して居る

交換局の參觀者殖ゆ

京城郵便局が通信事務を公衆に諒解せしむるため本年四月『局內參觀の勸め』の宣傳ビラを市內に撒布してより漸次參觀者增加し九月中の如き學生團體三百五十名を筆頭に軍人百二十名、教員、發行所百七名其他官公吏、會社員、商人及び家族等の參觀者六百八十八名ありたるが同局にては斯く技的通信事業に對する理解を普及せんため壁へ一人の參觀者にても喜んで歡迎し各課主任者が懇切に案內說明し居れり

第二回野外撮影會

本社印畫展覽會

來る八日より本社來靑閣で

本社主催第二回野外撮影會は去る二十五日京元沿線東豆川郊外で盛大に行はれた事は當時の紙上に報道したが印畫締切の十月二日までに出品一百四十四點に達し引續き

本社來靑閣 で今回の審查員京城伊藤秋畝、仁川長野茂樹本社武井天洋三氏が立會ひ嚴密なる審查を行ひ五日愈審查終了した今回は撮影當日曇天で陽の光線が得られなかつた割合に其作品は比較的優秀なものがあつた前回の大會に比して會員諸氏の技術の進步した痕が歷然として窺はれる

審查は公平 を保つ必要上番號に依り審查したが結果は十等賞及佳作品五點とした其作品氏名は左の諸氏で月桂冠は

一等（七〇）曇り日　京城旭町　杉山富
二等（五六）秋の逍遙山　京城郵便局　阪山桂太郎
三等（二四）東豆川　京城三井　三木郁二郎
四等　暮近し　京城　松村玉仙
五等　秋の隈逡　同　松村玉仙
六等　山寺　仁川　無名氏
七等　東豆川　京城三井　三木郁二郎
八等　秋の東豆川　京城　松村玉仙
九等　農家　三木郁二郎
十等　樋　仁川子
佳作　五品　田舍家の庭、野菊、寺の庭、瀞流、かざしの白菊

で右入選印畫及出品一百五十點は本社來靑閣に飾附け八日午前十時より

本社規定の 賞狀賞品及各寫眞材料店よりの副賞品の授與式を盛大に擧行し引續き八日から十日迄本社來靑閣に於て作品展覽會を開催する事にしたが開館時間は午前八時から午後五時まで一般に公開し寫眞趣味の普及を計る事にした尙仁川方面よりの參加者諸氏の爲めには特に十、十一の兩日

仁川府內に 於て展覽會を開く事にし目下會場交涉中であるから決定の上は發表致します八日の賞品授與式には入選者は勿論參加諸氏の御參列を希望致します

新職業

陸地測量部で募集した婦人製圖師

裁縫よりも有望な仕事

參謀本部陸地測量部製圖科では今度新に婦人の製圖家を採用する事になつたのは既報の通りであるが女人禁制の陸軍に婦人の職業が出來たのは、時代思潮の然らしめた所とは云へ珍談たるを失はない、是に就き大村科長は語る『外國では夙に大戰中から婦人にして軍務に服する者が澤山出來て相當な成績を示して居る、此點に關し私達も色々考へて居つたが、直ちに日本の陸軍に移すわけには行かず、で今度試みに女子の製圖家だけを募集して見たやうな次第である、製圖は手仕事で坐つて居て出來るし、又た女子に適する仕事である、それに從來採用して居た男子製圖家は、大概夜學に通つて居るやうな人達で、其方を卒業すると多くは製圖を捨て他の職業に就いてしまふ、製圖は技術の修練を積んで始めて巧なものとなるのに漸く巧になりかけた所を去られると、通學が結構でも私達の方では迷惑する、勿論女子には結婚問題が生ずるが裁縫をするつもりで製圖を續けて見れないとも限らぬ左うなれば好都合である』今回の志願者は十一名で中途で三名の不參者を生じ五位野泰子、今村ミヤ子他六名都合八名であつた

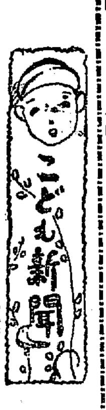
龍山市場寂れ行く理由

對策考究中

昨今龍山公設市場が寂れ行くので市場商人を始め京城府當局に於ても之が善後策を鋭意研究中であるが其原因に就ては一、地の利が不利であると云ふ關係を認めてるらしいが、買客たる市民の誤認に依ること、商品が粗惡で廉價でない、市內商店と同價格であると云ふ噂が高い、差に二三の實例を示すと、魚商が對人本位で客次第で値段を上下する買方である、日用雜貨商が既ね下等品で店曝しの古物の感がある、野菜類は鮮支行商人から値段をネギつて買ふと二三割安價に買得ること等の關係だらうとのことだ、尤も一面町商人が公設市場に促されて勢ひ勉強して來たので相場が一般に水平線になつたことも原因の一端であらう此點は公設市場設立の趣旨に近づき物價の調節てふ功果の實現したもので甚だ喜ぶべき現象であらう何れにしても設立一年にして經營困難の理由は何處に原因するか研究を要する問題である。

今日の惣菜

△鰯つくし揚　鰯の頭を除き三枚に卸し水で洗ひ鹽を強くしばらくおいて水で洗ひ目ざるに並べよく水氣を切り別に鍋にヘツトかラードを入れて火にかけ油が十分熱したら右の魚を鍋のふちからしして入れ揚げ新聞紙に取り油を切り皿にもりゆずの搾り汁をかけ溫かい中にすゝめる



オトギバナシ

二人衣女

（怪奇傳說）【上】　石井露月

聖武天皇の御代に、世にも不思議な事が起つた。場所は四國の讃岐である。

讃岐の山田郡に衣女といふ娘があつた。豪農の家に生れて何に不自由なく育つてゐたが、不圖した風邪から病が重くなつて醫者も匙を投げてしまつた。兩親はすつかり途方に暮れた。もう此上は神頼みの外はないといふことになつて、土地の風習に從ひ、門の左右に壇を築き、海のもの山のものを供へて、衣女の病氣全快を神に祈つた。

その日の夕方である。一人の痩せ衰へた鬼がやつて來て、

『俺に供物を食さしてくれ。』

と言つた。家のものは鬼の乞ひを容れて供物を食さしてやつた鬼は供物を食終ると、家のものに向つて、

『實は俺はあの世から來たものぢや。此家の衣女を迎へて來いと閻魔大王の仰せによつてあの世から來たものぢや。』

と言つた。驚いたのは衣女の兩親であつた。

『それは情ないことでございます。たつた一人の娘を亡くしましては、私共は生きてる樂みがございません。衣女を連れておいでになることだけはお許し下さいませ。』

と、鬼の前に手をついて頼みこんだ。鬼はうなづいて、

『よろしい。お供物を御馳走になつたお禮に衣女の命は助けて上げよう。』

『それではお助け下さいますか、どうも難有うございます。』

兩親はじめ親戚一同のものは躍上つて喜んだ。鬼はちよいと考へて、

『併し俺は素手で歸るわけにはいかない。衣女を連れて來いといふ閻魔大王の御命令であるから、どうしても衣女といふ名のつく女を連れて歸らなければならぬ。この國に衣女と名のつく女は外にはゐないであらうか。』

と尋ねた。同じ讃岐國の鵜垂郡に衣女と名のつく女がゐた。親戚の中にそれを知つてゐたものがあつたので、鬼に知らしてやると、

『それでよろしい。それではその衣女を連れて行くとしよう。』

と言つて其處から立ち去つた。すると衣女の病氣は立ちどころに全快した。兩親一同大喜びで酒宴を開いて踊つたり舞つたりした。

一方山田郡の衣女の家を立ち去つた鬼は、早速鵜垂郡の衣女の家へ行つて衣女の額に鑿を打ちこんで殺してしまつた。そしてあの世に連れて行つて、

『仰せの衣女を連れてまゐつてございます。』

と閻魔大王に申し上げた。

『御苦勞だつた。その女をこれへ連れて來い。』

衣女は鬼の案內によつて閻魔大王の前に連れて行かれた。閻魔大王は一目その衣女の顏を見て、

『これは違つてゐる、全く人違ひぢや。そゝつかしいにも程がある。俺が連れて來いと言ひつけたのは山田郡の衣女であつた。この女は鵜垂郡の衣女でないか。』

『はい、左樣でございます。』

と鬼は冷や汗を流しながら答へた。

『とんでもない人違ひぢや。早く行つて山田郡の衣女を連れて來い。それまで女は俺が預つて置かう。』

鬼は閻魔大王の命令を受けて再び山田郡へ行くことになつた（つゞく）

長崎と關係ある　臨時海港檢疫

祝五千號
京城府南大門通一丁目
印刷製本 和洋紙販賣
土佐紙株式會社京城支店
電話長三一五番 長四〇五番 振替口座京城八五九番 電略（トサ）
釜山理立新町
同　荷捌所　電話長四一八番

祝五千號
京城東四軒町（獎忠壇）
會席御料理　甘泉亭
電話一九八六番

祝五千號
巴城館　京城本町二丁目　電話長三一番五〇七番
京城ホテル　京城南山町三丁目　電話長四九一番 一二三 三九四番
天眞樓　京城南山町二丁目　電話長六四九 七三番
山本旅館　京城本町二丁目　電話長三五 三六番
浦尾旅館　京城本町二丁目　室內電話あり　電話長一〇三 二七番
清光館　京城本町一丁目　電話一三五〇番

品質良好　官鹽　量目正確
專賣局廣梁灣鹽田

祝五千號
和洋雜貨　玉植商店京城支店
電話一五 四二 一二 五二番

祝五千號
京城本町一の四八番地
電氣機械製造販賣 電話電燈工事請負 電氣諸材料販賣
コシダ電氣商會
電話一四三〇番 振替貯金京城六五六七番

祝五千號
京城
三越呉服店

朝鮮總督府營林廠
木材 各種

祝五千號
東亞商工株式會社
京城府古市町
電話長一九七六 四二九一七

祝五千號
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
株式會社朝鮮實業銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行
株式會社漢城銀行

祝五千號
蛇目萬次郎
京城南米倉町　電話長九三〇番

海港に戒嚴令
長崎に眞正虎疫

聖上御容態
徒らに心痛申上げ 取沙汰する程度でない
永田侍從武官謹話

【門司電報】肥前平野にて擧行せらるゝ工兵演習に聖旨を奉じて西下せる侍從武官永田工兵大佐は六日午前關門通過久留米に向へるが同大佐は謹みて曰く「聖上陛下の御容態は國民の齊しく心痛し奉る次第なるが今回宮内省の御容態發表は別に變つた事があらせられた譯ではない今春御容態を發表して最早半年に及んだので一般に御近狀を周知せしむるため發表したもので徒らに心痛申上げ又取沙汰する程の事で

はない尤も陛下には平素御健勝に渡らせられず季節が氣候の變化期特に昨今の天候が悪いので御健康を害はせられて居るのは事實で一日も早く平常に復せられん事を祈り奉る次第である東宮殿下御外遊中の聖上陛下は常に殿下の事を案じさせ給ひ其の御有様は我々臣下の者も感じ入つた程であるが從つて御歸朝と共に御安心遊ばしたので御健康に多少御障りはなかつたかと恐察し奉る次第である」と

聖上御平癒祈願
秋雨も意に介せず

【東京電報】聖上陛下の御容態に就き此程一般に公表されてから宮城二重橋前及び代々木なる明治神宮に御平癒を祈禱する者多く折柄の秋雨を意ともせず神前に跪み捧ぐる赤子が増々加はりつゝあるを見受けらる

王孫殿下初めて
御參内あらせらる

【東京發電】李王世子第一王子晉殿下には六日午前十時三十分初めての參内を遊ばされたり李王職高事務官は正裝して殿下に陪乘し宮城正門より參内賢所前にて御休憩高事務官御扉を開き殿下には賢所、皇靈殿、神殿に恭しく參拜あり李王世子妃方子女王殿下には之と同時に御參内御同伴にて内侍に上らせられ皇后陛下に初めて御對顏あらせられたるが此處にて茶菓の饗應を受けさせられ十一時御退出遊ばされたり尚高事務官は此旨を演習のため御出張中の李王世子殿下並に京城の李王殿下に電報にて言上せり

大飛行最後の幕
長春より奉天へ……曾根大佐は
奉天市街上空にて鮮な高等飛行

【七日午前七時五十分奉天發電】樋口今田兩中尉の各搭乘操縱せる飛行機は愈々七日長春奉天間の飛行を以て今回の大飛行を終了する豫定なり其豫定によれば該二機は七日午前九時翼を連らねて長春出發十一時頃來奉着陸すべし之れに依り在鄕軍人分會は先づ二機の長春出發の電話を受くれば一般市民に其の周知の方法として煙花第一發を打上げ近に鐵嶺通過と共に第二第三發を打上ぐる筈なり

奉天の歡迎宴
記念メダル贈呈

【七日午前七時五十分奉天發電】奉天市民は今回の擧に對し飛行將校其他選來の人々の勞を謝し且記念せんが爲飛行機到着の夜六時より公會堂に於て盛大なる歡迎會をなし記念メダルを贈るべしと又七日朝來奉せる有川航空學校長は九日午後二時より總領事館に於て官民有志多數支那側張巡閱使外官民を招宴すべしと六日長春に着陸せる樋口今田兩飛行中尉等は六日正午支那側より招宴されたり尚午後三時より飛行機に關する講演及高等飛行ありたり

奉天上空にて高等飛行

二機到着の上は來奉中の航空學校長有川大佐は正午頃より試みに搭乘し我が附屬地市街の上空に於て高等飛行術なる宙返り、垂直、旋廻等其の最も得意とする技術を振ひ以て今回の大飛行最後の幕を閉づべし

兩機飛び來る

【奉天發電】七日早朝長春を出發したる兩機は十二時十分二機共無事來奉着陸せり

小澤機は何處へ
行つたか？
依然杳として五里霧中

小澤機の行方不明につき壹岐鄕ノ浦よりの情報に依れば一村長の談に曰く去る四日壹岐の上空を通過したる數は確かに四機である其中の一機は壹岐の南端附近で二三回旋回後フラく～と直下した、之れが恐らく小澤機であるまいか、又四日午前十一時七分對馬通過の一機があつたが消息遂に不明である右に對し龍山飛行部長瀨戸大尉は語る

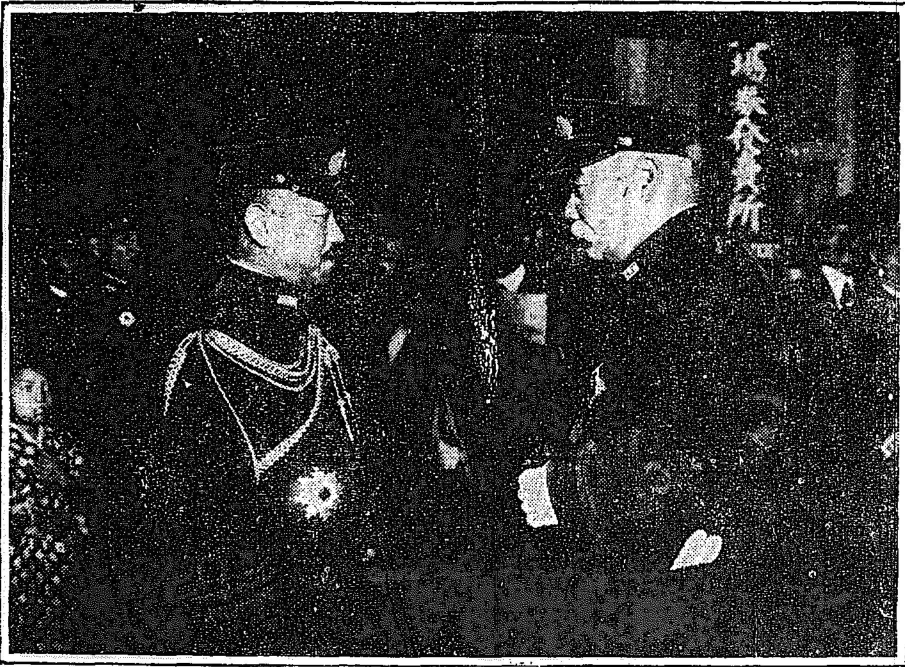
「果して何れが小澤機であつたか判斷に苦るしむ點がある、推察するに『フラ～～直下した』と云ふは時間から思ひ合せて依田機の不時着陸を想像したのであらう、又『十一時七分對馬を通過した』と云ふのは藤岡機であるまいか然し若し前記村長の談が小澤機であつたとすれば該機は海峽に墜落したか或は人跡到らざる山岳險阻に落下したかである、目下朝鮮沿海及新潟縣北海道沿海に亘り調査中であるが現在の所では全く五里霧中である」云々

驅逐艦空しく
歸る

釜山鎭海要港の通報に依れば小澤機搜査の爲め出動したる驅逐艦は六日午後十時搜査何等の手案を得ず空しく歸り更に八日京城より來た松井少佐と打合せの上再び驅逐艦の出動を要求することなり居れりと

藤岡機解體
所澤へ輸送

【大邱】工兵特務曹長……



太平洋會議へ

強盜犯人か
擧動不審の男

青葉梭新築に絡
る怪しき風說

鈴木文治氏喚問
勞働爭議の犧牲者に謝狀

警視廳にては五日來大活動をはじめ勞働總同盟鈴木文治氏以下幹部一同を召喚取調中なるが右は過日總同盟會に於て爭議犧牲者に對し感謝狀を送るの件を事は公安秩序を紊するものとして治安警察法に照し

公平嚴正とのみ
多くは他を言はず
阿片事件で鬼檢事の異名を取つた安岡氏語る

天下の耳目を聳動せしめたる阿片事件の大立物坂闘檢察官安岡鉐四郎氏は本月二十二日より開會の司法官會議列席のため上京の途次六日午後四時郵船バイカル丸にて門司寄港神戸に向へり氏を船中に訪へば鬼檢事の異名ある溫厚謙讓の態度で先づ今回の事件で新聞社の方から嚴正なる判斷を下す時を待つて下さい第二回の公判は一週間ばかりから開延され論告判決もありますから……

リンコルンの會
孫総東訪問

慈城郡で不
逞漢を殪す

十月六日午前四時三十分平安北道中江鎭警察署搜査班は慈城郡閭延面晩興洞の山中にて不逞漢八、三名と衝突し交戰の上一名を……收せるが二名は逃走せり

淺野造船爭
議解決

【東京發電】紛騷中なりし淺野造船所勞働爭議は六日……側に於て要求全部を容るゝ事となり無事解決を告げたり

南大門小學校で
お伽講演會
下關お伽俱樂部の師藤井八島兩氏入城
八日午前十時から

創作や出版

下關お伽俱

健全なる國民

前記三氏は

期米亂調に大郎
市場混亂す

犯罪の申告を早くせよ
強盜の逮捕と申告の遲速

八人組強盜團は東大門署の大活動に依り一味は逮捕せられ府民の不安は一掃されたが右逮捕に就て警察官の一人は語つた「犯罪とその申告の時間の遲延に依つて犯人の逮捕には絶大な關係がある。最近の強盜事件にては……

法廷便り

運動會

九日	開城開城座
九日	平壤中座
十一日	鎭南浦港座
十一日	新義州劇場
十二日	安東劇場
十三日	兼二浦劇場
十四日	鐵原小學校
十五日	元山小學校
十六日	咸興劇場
十七日	京城歸着

五千號記念寫眞 各地巡回日割

今日開 城 （開城座）

秩父銘仙夜具地 京城本町 ちゝぶや

男女若返り法 生殖器の隱れたる働らき 生殖機能が弱り老衰する

土木科 測量科 製圖科 講習生大募集

法律の心得 國民法律

やせる

職業拾參圓

ちんぞう集

日本簿記學校

高級外務社員募集

朝鮮勸農株式會社

寛永御前試合

小金井芦洲 講演

第一〇八席

作『若旦那へ其やア餘計のお世話だ。ご云ふ事は知つて居るが、貴所にやア世話を燒かずに居られねゑ、モウごうも奉公人も呆れ返つて皆身仕度を附て家の物を廠著して逃げるこいふ始末、こは心が付きさうなものだ、大如何に年が往かねいこ云つて些旦那樣が立派なお働きをなすつた廉に、親の光りは七光、八百石の相續仰せ附られて、大人しくさへして居れば何不自由もないものが、著のみ著の儘で家は此の通りの茅屋同樣、マア何たる始末でございます 直『五月蠅五月蠅こいふに作藏、身寄親類の者に懇々意見をされても肯かぬ者が、貴樣達の意見が肯かれるものか、七面倒な事を愚図〱いふなら暇を呉れろから出て行け、寧そ一人の方が氣が揃つて宜い 作『ごうも逃げたねゑ物に凝れば斯んなになるものか……『頼む〱』直『コレ〱、恐闘〱云つて居らぬで、玄關に訪れる者があるではないか、取次をしろ 作『ハイ畏まりました、ドーレ……』バタ〱〱ご飛出て來て作藏が障子をサラリご開いて 作『アレマア何誰だご思ひましたら中村樣でございますか 中『作藏や、今日は立戻つて來られた樣子だが、お在でになるか 作『ハイお在でになります 中『一寸お目に掛りたい』作『何うぞ此方へお上り下さいまし……アヽモーシごうぞ履物を穿いてお上りを 中『然んな無禮な事が出來るか 作『イエ夫が旦那樣のお居間までズーツご疊が敷いてございません、此の通りで履物を脱いだら一足でも前へ出られません』見るご成程、玄關から疊が敷いてない 中『ごうしたのだ 作『兼て噂に聞いてお在でもございませうが、良くねゑ碁を覺えて其方へ浮身を窶してお在でなすつて遂々疊まで賣拂つて使ふやうな譯でございます 中『ウム夫はごうも困つたものだな 作『へエごうも誠に恐れ入りましたけれごも、貴所樣は何の御用で御來なすつたかごうか、マア話の序に旦那樣へ能く御意見をなすつて戴きたうございます……へエ旦那樣 直『何だ作藏何誰だ 作『へエ中村樣がごさらつしやいました 直『イヤ夫れはサアごうぞ此方へ、能くお出でだ、只今立戻つた處で、イヤモウ手前も今は此の始末、其處までは履物を穿いてお出でなすつても宜いが其處でごうぞお脱ぎ下さい 中『イヤ御免』ズッご入つて來ましたのは同藩で日頃直人ご合口の中村貞三郎ご云ふ人物、席が定まつて 貞『扨て今日上つたのは餘の儀ではない、此間中からチョイ〱門前を通行して何ふこ、何日も御不在のやうだから夫れゆゑマア話が遲れて居つたが、兼々ごうだね家内を持ちなすつては 直『何だね唐突に家内を持てなご 貞『イヤ貴公もモウコレ廿一歲、身を固める時だらう、他ぢやアないが御身に無駄を穿いて背ッ丈是非貴公ご夫婦にならなければ生て居られない淵川へ身を投げて死なうこまで云つて戀煩ひをして居る者がある 直『コレ〱來る早々揶揄つてはイ可ん 貞『イヤ揶揄のではない全くだよ 直『家中一番爪弾きをして何處へ行つても話相手にならん直人を大ほご思ふて呉れるこいふ婦人があるこ云ふは不思議だ、城下の大町人の娘かな、持参金は幾らだウム金子に依つては相談をせん事もない 貞『ナニ町人の娘ではない 直『町人の娘ではない誰だ 貞『同じ此の武者小路に居る伊佐子三十郎殿の娘、家中上下共に伊佐子小町辨天娘なごゝ云ふ評判を取つて居るおさだ殿が、御身に思ひを掛けて此間中からブラ〱病 直『ナニ馬鹿な事をいふな、伊佐子の娘が拙者に懸想ひなご、そんな釣合ない話しはない 貞『イヤ全くだよ。實は此間三十郎殿から急の使ひ、何であるかご思つて行つて見るこ其の話、人を以て直人の話を申込みたいが、誰も直人ご交際をしない、話をすれば額を皺めて直意見して迚も相手にならない、ソコで御自分は豫て直人ご宜い仲であるから願ひ申すが、ごうか緣の纏まるやうにして呉れろこいふ賴みだ 直『ウーム』

仁川宮町二ノ二 荒川醫院 眼科耳鼻咽喉科 電話一〇二二番

京城明治町二丁目 寫眞材料商 島田誠昌堂 電話壹九壹九番

將棋新手合(二)

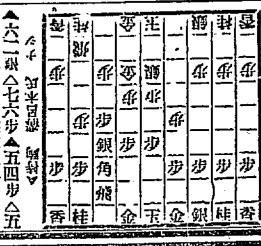
於京城旭町三ノ一 溝呂木特設所

▲七段 溝呂木光治(東京)
△三段 熊谷順太郎(京城)

角落

圖は六三金迄の局面

▲持駒 熊谷氏 ナシ



溝呂木氏 持駒

▲六二銀△七六歩▲五四歩△五六歩▲五三銀△七八銀▲四四銀△六六歩▲四五歩△六七銀▲八四歩△七五歩(イ)▲八五歩△七七角▲五二金△七八飛(ロ)▲六四歩△七六銀▲六三金△四八玉▲五二玉△三八玉▲四二銀△五八金▲四三銀△二八玉▲四四銀スグ

(以下次號)

溝呂木六段講評

△(イ)七五歩突き策戰ならんも面白からず末に至りて手づまりさなる事多し

△(ロ)七八飛は此場合八八飛さ廻り極力八筋より攻勢を探る方優れり

十月九日 (舊暦九月九日)

日曜日 ▲乙巳 ▲一白 ▲房宿 ▲除 劍北方 ▲赤口

▼一白▲油斷なく周圍に氣を配るべく退嬰的却つて利を得る日

▼二黑▲浮腰にして諸事徒勞に歸し易し約束事亦手違ひ多き日

▼三碧▲慕はしく目出度き日開店就職等は素より旅行結婚亦吉

▼四綠▲物事すら〱と捗り利益多き日常業新計畫何れも大吉

▼五黃▲一寸調和のこれ難き日辛抱して時節の到るを待つべし

▼六白▲待てば甘露の日和の擧急がずごても吉運の廻り來る日

▼七赤▲細やかな日起り開店旅行披露結婚其他水物商賣上首尾

▼八白▲兎角反對に行き易く存外の損失を招く日新しき企凶

▼九紫▲自棄議論の事あり外交稼ぎに利益の多き日

明治町 ハキモノ ヨツメ號

京城岡崎町 石崎商店 京城支店 電話一八五五番

京城漢江通一二 有馬組出張所 電話三二七番

京城大和町一丁目 株式會社淺野セメント 京城出張所 電話長六六二番

京城吉野町一の六九 高山幸行 電話一六五一番

龍山漢江通 陳内茂吉 電話長一四七番

京城本町四丁目 履物類傘足袋 てんぐ屋履物店 中尾金次郎

京城漢江通一三 石原磯次郎 電話八〇〇番

京城明治町二丁目 小川旅館 電話長一五五一番

京城本町一丁目 秩父織元 出張店 おゝぬや 電話八九〇番

京城府黃金町七丁目一番地 朝鮮窯業貿易株式會社 電話二三八八番 振替口座京城四〇七四番

京城南大門通五丁目 堀井謄寫版及文具石版活版インキ材料並ニ一般輸出入業 堀井謄寫堂 京城出張所 電話四〇二番 本店東京 分店上海、漢口、天津

京城旭町一丁目 御料理 白水 電話長一三九一番 三三六九番

京城府漢江通拾壹番地(龍山停車場前) 專賣特許宮崎式ペーチカ 新案特許宮崎式園ペーチカ 各種燃料販賣 宮崎組 電話龍山長八四二番 支店 奉天千代田通 電話長七三二番 大連三河町 電話長二一四〇番 出張所 平壤、鎮南、安東、本溪湖、鞍山、長春、四平街、大石橋

京城南山町二丁目四拾三番地 株式會社中村組農林部 電話長一九六〇番 振替京城五六六八番

京城明治町一丁目 金銀白金指輪 印章彫刻專門 八谷西海 振替四三三三番 御急ぎの時は一時間餘にて彫刻差上候

祝五千號

龍山元町 植西呉服店 電話長四二八番

京城府岡崎町 朝日石鹼株式會社 電話一五六四番 振替京城四〇〇番 電略(ア)又ハ(アサヒ)

京城本町二丁目 向井鞄店 電話一四八四番

京城北米倉町ファミリホテル内 京城煉瓦共同販賣所 朝鮮窯業株式會社 京城窯業株式會社 電話二一六一番

京城本町一丁目 製菓博士 本城屋 電話二四三番

龍山醫師組合

京城運送業組合

龍山質屋組合

釘本藤次郎

京城土木建築業 間組 西本組 北陸土木會社 堀内組 鹿島組 松本組 荒井組 阿川組 志岐組 合資會社清水組 盛陽社 宮川組 秋山組 服部組

京城明治町一 胃腸病院 院長佐々木香造 電話一六五九番

不二興業株式會社 京城黃金町一丁目 電話長八八九番

京城電氣株式會社

大型高級車ハドソン號 小型高級車エセツクス號 堅牢實用車ダツヂ號 世界最長壽車フイアツト號 總代理店 創立明治卅七年本店東京 日本自動車株式會社京城出張所 京城府黃金町四丁目

株式會社 京城株式現物取引市場

移民部落代表 大田に集まる

株式金融緊縮
殖銀其の他態度一變す

絕對金融……能度一變し……

重役非難

京取紛擾に對し……

京信難聲

……すの態度に出でしのみなれば紛議は幾日を費すも解決せず徒らに機關を休止し一般客筋に多大の迷惑を及ぼしめしは無能も甚だしく而も遂に談合不調に終らしめ將に週末に至らんとし受渡決濟上多大の支障を釀せし責務は充分負擔せざるべからずとし非難の聲頗る高し

賣方を庇護する點あり

道般の京取市場紛擾の發生に關聯して吾聞京城證券信託株式會社當事者に於て賣方を庇護する點ありて偏頗の處置少からずとの言說に對しては俄に信を措き難きも少くとも道般紛議を醞し激成せしめたる責任の大半は信託當事者之を回避し難きものあるべし即ち信託當事者に於て市場に於ける賣買關係等の忌むべき私情によりて賣方を庇護せりなどの風說を

輕信して

云爲するにあらずとも信託會社當事者の事業經營其物の逕川宜からざる點ありしこと之れなり從來信託會社は代引一萬株位を限度とし常て漸減の傾向にありしを以て常に之を目標し代引一萬株限度を分水嶺と強弱分岐の……

鮮內會社

本月中朝鮮内に於て新に設立せられたる會社は、羅南酒造合名會社外十九社にして、其公稱資本金額二百二十萬五百圓なり合資會社淡盛商會(資本金百萬圓)造株式會社(減資額五十萬圓)朝鮮製紙株式會社(減資額三百萬圓)の兩社は減資を爲したるに依り、結局會社數に於ては十九社の增加を見たれども資本金額に於ては反つて二百二十九萬九千五百圓の減退

聯合會貸付利子 一分引下ぐ

殖産銀行の金融組合聯合會に對する貸付利子は九月二十五日以降年一割を九分に引下げたるを以て各金融組合に於ける貸付利子も亦年九分五厘に引下げられたり

米資金動く

米價の騰騰に伴ひ鮮内各地註文殺に增加せる模樣にて仁川方面の荷爲替を著しく增加し最近に於ては主要地在庫品は殆ご出盡しの狀態にありて米資金の異動も多く在米買出に對しては地方商入混戰の狀態にて米資金需要起り金融界は繁忙を告げ地方農村の景況も米價高に伴ひて景氣漸く引立ち諸商品の荷動きも漸次活氣を呈するに至れり就中綿布類は季節柄取引盛況を呈し各銀行の手形出入頗に增加せり

○日銀帳尻	五日現在左の如し
發行高	一、一九四、二七二
正貨準備	一、二二〇、〇二〇
保證準備	一、一二七、六二〇
○京阪金利	六日東京大阪
コール	二二、〇〇〇
無條件	二二、〇〇〇
翌日物	一九、〇〇〇　一九、五〇〇
六十日物	二二、〇〇〇
通期引歩合	二四、〇〇〇　二三、〇〇〇
○朝鮮銀行券	六日現在左の如し
發行高	一〇七、八四七、九五七
正貨準備	五八、二七九、一九〇

京取決濟
遂に痛み分か

京取市場の京取株總決濟談は暖昧の如く去五日より進行中なりしが何分賣買雙方の主張に懸隔甚だしく遂に釘本天日兩氏も手を引き談合は昨夜に至りて不調に終りたり而して京取市場にては賣買雙方より七日午後三時迄に追證として二十五圓宛を徵收し若不納のものは斷然たる處分をなすことこし明土曜日前場より京取株の上場をなすことゝしたるが前途局面は如何に展開すべきか頗る疑問にして銀行の京取株に對する金融引締を開始せる爲賣買雙方共多大の打擊を蒙り決濟不能の爲め結局は痛み分けに終るにあらざるか

會社數……公稱資本金……(京城商業會議所調査)

株式
現株市場出來値

[illegible]

東京現株

[illegible]

大阪株式

[illegible]

安東株式

	寄付	大引
○六日後場 安取當	三三・〇〇	三三・五〇
安取先	三三・六〇	三三・二〇
○七日前場 安取當	三三・二〇	三三・四〇
安取先	三三・〇〇	三三・九〇

前場は不變

今朝も依然京取を除外して立會つたが客筋も仲買も舉つて京取株の紛擾に捲き込まれて居るだけに他株に手を染むる氣にもなれぬと見え單に事務的に値を付けるのみにて活氣更になく相場も殆ご釘付の狀態であつた

後場も閑散

後場も依然閑散で概れ保合つたが東拓は一部の賣物に折角擡頭の氣先を挫かれて新株三十八圓ソ寄りに六割ロ十錢の新安値を見せ七圓と引け新株十七圓七十錢と寄り八十錢と引けて再び不勞に陷つた

一日破裂
善後策協議

京取の解合談は各重役の熱心なる斡旋も効なく双方の主張點に甚だしき懸隔ありて昨夜遂に破裂し各々引上げたる由なるが斯くては益々事件が紛糾せしむる恐れありとし本日も引續き市場樓上に重役會を開き善後策に就いて協議を凝らしつゝあり

會社嚴戒
增證廿五圓

解合談は遂に纏らざりし結果制停止たる釘本天日兩氏も一旦手を引くこことなつたが此儘立會を開始せば如何なる事態相生ずるやも知らざるより豫め之れに備ふる爲め信託會社は別項記事の如く賣買株數制限を縮少し且つ新たに十五圓宛二頭金を增徵して一株四十圓と爲し一方市場は週間取引の京取證據金を更に一株二十五圓宛增額し七日午後三時迄に納入せしむることゝなつたが果して完全に納入さるゝや否やは尙ほ疑問とせられつゝあり若し制規の時間に納入を怠つた者に對しては相當の處分を爲すは當然なるが優柔不斷の市場理事者の事とて此の英斷も到底期待し難しとする向觀測多し

假拂停止
證據金の兩建
體の好い新規賣買禁止

……

賣買制限と頭金の引上

信託會社は短期京取の賣買制限數及び頭金を左記の如く改正し八日後場より實行する旨七日附にて仲買人組合に通牒を發した

一、賣買數制限　京取株賣買株數は從來參千株の處二千株に變更減額し此の制限を超過する場合は超過株に對し豫納金として當會社に於て相當と認むる金額を增徵致し可申候

一、京取株頭金　從來頭金八圓の外に臨時增徵致來り候處臨時增徵金を廢し頭金として一株に付金四拾圓也宛を申受くることに改定致候

京取上場は
八日前場より

週間共に增證據金を徵する事となり週間は七日午後三時迄納入せしむることゝなつたが右增證が完納されれば八日前場より京取を上場せしむる豫定であるが相場次第にては殺氣立つた双方の客筋が何なる暴舉を敢てせんとも限らずとて今より人心兢々たるものあり

增證不納

京取週間取引の增證一株二十五圓は午後三時に至るも未だ完納されず八日立會は又も不能に了らんか

[福 ロゴ] 仁川 期米

仁川米豆取引所仲買人 布井仲買店 電話二六四番 三三五番

客の迷惑
責任者は誰

・小賣本の客筋は殆んど京取の新規賣買を禁止された形となる

京取市場休會に依つて客筋の蒙る迷惑は甚大なるものであるが一部法理論者中には若し之れに依つて損害を蒙つた場合客は其の賣に任ずる義務無しと唱へられゝ居る其の理由は客は日曜を除く外連續して場が立つものと確信して思惑を建てたるに拘はらず不可抗力に依るとか或は官憲の命に依つて休場の止むなき場合はイザ知らず一部仲買の都合を以て勝手に休會したる結果に依つて生ずる損害に對しては義務なしといふに在り此の場合市場理事者は京取の賣買を不穩と認むれば其の賣買者のみに停止を命ずれば足る之を以て全部の仲買をして休業せざるべからざる處置に出でしは會社の失態なりと敦圍き居れり

株主の憤慨
社長に質問

京取の紛擾に付き市場當事者は徹頭の解決を爲し能はず無意味の休場を續けたるは勿論延いては一般株主の迷惑一方ならずとて今回株主有志相圖りて總代を選み釘本社長に對し左の質問書を發することゝなつた

質問書

一、大正拾年拾月五日市場休會及同月六日七日の兩日京取株の賣買を中止したる理由如何

二、京取株相場の機關を中絕するは今週もの受渡に支障を來たし從つて京取株賣買關係者に損害を來たすこと無きや

三、今回の京取株紛擾問題に關し賣下は解合調訂の勞を執られたるは假令個人の資格と雖も將來に惡例を遺すことゝ思惟せらるるや右質問候條文書を以て御回答相成度候也

米況 (七日)
仁川期米
前場盛返す

前日阪地の安移りに高値掴まり軟派の追撃を受け三十八圓臺より脆ろくも三十七十錢と激落し前場時に……

七十錢と激落し……三十錢と跳返して打止め引……地の氣配安を受け幾分買氣あり……反動にて人氣強く當三十四圓……中三十五圓〇五錢と頭重き……

先限三十六圓……

錢と前日止め同事に寄付きたり

▲第二節　大阪寄四十三圓……の安移りにも拘はらず當中限……

一躍七圓……
錢と噂き上……
八圓丁度と沸騰
七圓ドタ……
叩き込まれ
六圓九十錢より
ご暴落して

弱氣の觀測

……

賣過ぎ嫌ひ

……

薄敷は危險

……

京城正米

……

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

後場採合

仁川米豆取引所仲買人 那須仲買店

東京期米

大阪期米

兵庫期米

下關期米

各地期米

大阪三品

十錢高……米棉一圓……

仁川米豆取引所仲買人 吉金仲買店 電話長八三番 八五番 七六四番

群山正米

東京正米小安

東京正米二十錢安

釜山正米

錢安 一圓五十

小麥

白米移出手控

白米は大阪神着四十三圓……

てんかん　佐藤ライト商會　定價五十錢 壹圓 貳圓　大阪市江戶堀下通一丁目

かつけ患者も 精糠 せいこう 如何な重症の のめばキツトきく

鮮滿一手發賣元 タオル ハンカチーフ 御商 鹿印タオル エムテー印 上月商店 京城若草町 電話一〇三五番

丸裸體の美人寫眞 マルハダカ ビジンシヤシン 小供騙しの僞物に非ず全くの本物

山田流琴曲教授 園田松葉

栗問屋 甘栗入荷 南大門驛前 池田商會 平壤府新倉里 池田商會出張所

(はれあ運幅) 八十一回 第三千圓當り 一通十圓 小尾兩替店 大阪市

苹果 栗 買入 朝鮮龍山驛前 東亞物產商會

東京三金の靴 ボックス革特製長靴 三金高等靴店 東京市芝區

石碑は平清 大阪唯一の美術石匠

最上醬油 朝鮮仁川港 髙杉醬油釀造場

父 兵太郎 儀療養中之處不相叶六日午後二時五分死去致候に付此段謹告仕候
大正十年十月七日
仁川府仲町三丁目
男 草刈久太
親族 片岡善太郎
古賀福太郎
友人 鬼頭兼治郎
代 春武謙助

浮草（73）

入江新八 作
守田早苗 畫

波の音（二）

行車が爾本際に著くまで、兩女はいろ〳〵なことを話した。水戸土浦などで道代は手をたゝいてよろこんだ。

「此所から少し歩かなければなりません。俥に乗りますかそれとも此の日中を歩いて行く？」秋子は訊いた。手荷物があるのでとても歩いてなど行けさうもなかつた。けれど、道代は大きな波鞄を提て、

「先生、先生さへお疲勞で無ければ、歩いて參りませうよ。道の風景が面白うございませう……」

そう云つて輕々と、その重い手荷物を持つて進んだ。體格が人並はづれて立派だから、斯うした大きな重いものを持つても、ちつとも道代は苦しさうでなかつた。よち〳〵して可笑な格好にもならないばかりか、眞黒の皮の色の立派な旅行鞄を提て、しやんとして歩いてゐるところは素敵だつた。秋子は擽笑しさうな氣持になつてこの姿を見てゐた。

『あなたは全く丈夫だわね。』さう云つて、秋子は歩く。道代はたのもしい氣持が秋子をおもしろがらせた。道傍の稲田に稲子がピン〳〵と飛んだり、溝渠川に小鮒や目高が游いだりしてゐた。夏草の句ひがして如何にも夏らしかつた。其處からは何處に海があるのか一寸こ分らなかつた。緩く丘陵がうね〳〵と遮つてゐて、若木の雜木が濃く、照りつける日光の下に輝いた。黄にチラ〳〵とその光りは強く兩人を射たけれども、風がそよ〳〵と吹くので涼しかつた。二つ色のパラソルが稲葉の上を泳いで行つて、うね〳〵丘陵の麓を廻り〳〵した。

物の半町も、それ以上も歩いて行く中に、道代は流石に持ち重りのする手荷物が應へて來た。右から左へ、左から右へと持ち更へた。秋子は心配して、自分が預代らうと幾度も云つたけれども決して道代はこれに應じなかつた。勇氣を振つてはづん〳〵前に進んだ。汗が髮の根からポト〳〵と落ちた。

『俥に乗ればよかつたのね。本當に無謀なことをしたわ。』と秋子は云つた。人通りがポツ〳〵あつたが、こゝさ、と町端に取り附いた。兩人は、まあよかつたと、そこからは宿屋まで俥にして見たりはしなかつた。其所から宿屋まで俥にしても除りに短距離なので、道代は此所迄持つて來たのを我慢した。

『あなたは隨分剛情だわね』と云つて、兩方の手が拔けるやうな氣がした。

『でも、先生、折角此所まで持つて參りましたのですから。』

兩側の宿は古ぼけて變な容子な店屋があつた。旅籠とも遊女屋ともつかぬ家が立ち並んでゐた。邊の町らしい磯臭い匂ひがして來ると、次第に海の感じがして來た……と思ふと、青々とした海が見ゑて來た。白帆が、帆檣が。モーター船の胴が。漁子が見ゑて來た。長い橋が町から町へ一筋に海水の上に架けられてあつた。それを渡り切ると森山を後にした素朴な構への松屋といふ旅館があつた。

秋子は先に立つて其宿屋へ這入つた。主人も主婦も思ひがけ無かつた顔をして秋子を歡待した。兩人は二階の涼しい立派な部屋に案内された。其所から目の行く限り海が見晴らされた。道代は手をたゝいてうれしがつた。

兩人は直に海水帽を冠つて海へ出た、斷崖の細道から裏手へ拔けると其所は珠のやうな砂の敷かれた海岸だつた。兩人は暫らく波打ち際に立つて波の打ち寄せるのを見てゐた。何だかこれを見てゐる中に道代は涙が出て來た。

『先生……』と云つて涙の眼で秋子を見上げた。

森病院 内科 小兒科 醫學士 森定吉 町二ノ七〇（電二六三）

小間物 化粧品 糸物類 卸 杵屋號 京城本町一 電話二三四四 （地方ハ御申越次第カタログ進呈）

流寒風熱ニ一番ヨクキク複方ピラミドン 京城各地藥店ニアリ 本舖 龍山元町二ノ八八 林藥房

川柳　劍花坊選

宮・天　大田春日町　壺英坊
宮參り盜人になる子と知れず
評、宮の題の中で三才を選んでこの句を推選することにした、理窟もかうこめば、人生の或物に觸れて、ヤハリ川柳として見ることが出來る

地　京城　水蓮
向き合ふて考へてゐる宮の鳩
評、斯ういふ句を寫生の上乘とする、しかし、下手にやるといやなものになる

人　仁川　右大臣
悪だくみお宮の椽に腰をかけ
評、芝居がゝりだが、面白い。

鴨・綠・江・　大田春日町　赤膊坊
○鴨綠江豆滿江こ夫婦なり
評、鴨綠江の題は雜題中の難題だ、投吟のすくないのも無理は無い、川柳に十八年も苦しんでゐる僕も、さア作れ、といはれればヤハリこの句のやうなお伽噺的の材料を見つける位なものだらう
鴨綠に流す筏を歌にする
評、手をたゝいてパーで鴨綠江節をうたつてゐるをはたで聞いてゐて出たらめを十七字にまとめたやうな句だ

名菓 松の葉 發賣元 明治屋

短歌（矢稲小葩選）

衣川 幽子
おん胸の王國に來て眠る日の夏に始まりひさ歲を經ぬ
逝れ來て山の祉前にたゝずめば啼けさいひて秋の風吹く
いちじろく歿へ見ゆさ人のいふかなしき歌をのらすもの哉

明野れいか
鈍色の鋏のひまよりみづからに翔ぶるが如く臨ひ光り見ゆ
幼な兒が母の乳ぶに眠る如君の呼吸に包れて寐る
その昔おぼろしに見てあくがれし天國にわれ君と語りぬ
そのかみの契はいづこ吾もまた世の人妻の館翳に咲く
又してもあらぬ疑ひかけられて僻くすべなきなみだ涙する
たらちねもはらからも棄て一筋に君に蹈び來し吾にやはあらぬ
おん瞳孔疑の色になやむ夕身も世もあらぬ嘆かひに居り
一りをばすゝり泣きして赤らめし瞳孔かなしく夕化粧する
ふさしたるはづみに解けしおん心拈華微笑はおのづからなり

中稲伊都子
何よりもかしこき事と極みぞさ人あなわりなこの寂寥の故何さ甦ひ
思ふ前に一つの辭す
たる人に答へ持たずも
傷つきし心いさしみかい抱けば外の一つの何なうつたふ
ひたすらにおのれを守ることにこそ我の命に今日も別條なく
天地に歎ひつくされ古されしこゝ思へば物足らぬかな
虫よりもかの露の子の虫よりも果敢なき命なりけり

涙川 君路
病みぬれば白き寢床に横はり聞くさへわびし庭の秋風
病みやせし身にも泌むらむ心地して仰ぐにたへぬ秋の夜の月
別れゆく君を見送るわが袖と門の柳を吹きぬ秋風
別れ來て柱に倚れば秋の雨咲けさばかり降り出でしかな

川本 郎
物思ふ夕の部屋に紅のダリヤの花はくづれけるかな
黑髮にダリヤかざして戯れし昔恋し友の文來ぬ

小 芯
月にたまる机の上の詠草を借わつゝ見る借債の如し

△盲腸炎で苦しんで居ます醫師は手術せすば治らんさ申されますが手術せず良藥ないものでせうか御存じの御方しらしてください（盲腸炎患者）△私は彼を絶對に讃美して居るのではありませんけれ共御言葉があんまり彈次的でしたのであんな失言を申上げた次第です一度御目もじ致して御考への程伺ひたいさは思ひますけれ共ここまでも日本人さ云ふ立場を忘れずに彼について〳〵究めて行きたいさ思ひます貴方には外ながら御目にかゝつた事のある者ですの（美登里）

訴へは便宜上直接本欄投書者宛にて受付け住所氏名明記の事、字體不明のもの採らず

第十回 聯珠検勝案 成績發表
落選案（第一圖）

例に依り參考の爲め落選案を先づ示さん

十三にて甲乙の兩勝の如くなるも十四を『い』に打てば一時に止まる

演藝案内

大正館
非町 電話八七三
當る七日より新寫眞取替へ
△新派悲劇 迷の果 全五卷
敷島生命保險會社古川は同僚圖に父の聖信子に懸想し心ならず靜くも然るに酷木は藝妓秋次に深く馴染居るより古川は之れを奇貨に葉木を陥入れ信子を手に入れんと企て一家に破風を捲き起こす
△滑稽 飛んだお客 長尺
△實寫 高架若狹廻り 長尺
日活東京派山本一派出演
◎舞臺劇 流砂 全五卷
パラマウント映畫ドロシー、タルント嬢主演
放蕩兒の惡策は善良な人を罪人とし牢獄に送りたれど彼れ妻は良心の赤誠に夫の罪白み死地に臨んで彼の非を世間に示す事を得たり
日活京都派尾上松之助中村扇太郎
◎新劇 尾張三郎丸 五卷
三郎丸君は伴蔵を連れて故郷名古屋城に歸り共々より武術修業のため西國に向ふ
毎月一日十五日曜日晝夜二回

京龍館
龍山練兵場電車通 電話三一一番
十月八日より新寫眞取替
一、實寫 伊太利の風景 一卷
一、滑稽 當て違い 長尺
泰西人情悲劇
△女武者 全五卷
伊太利の名門の花と謳はれたヤンは世に此の女で愛の權威を歌ひつれた公爵の愛から離れた彼は、是非とも逝つて此の手は、彼の女を告げようとしたが運命の神の許に、其の初戀の人ベルトーに見出されるまで、新しき閉ちた目の悲劇であつた

京城劇場
新派悲劇
△質屋の娘 全四卷
果敢なきものよ、戀、二人は各他家に育つた實の兄妹であつた義理故に殺しあつて斷刀を許しした程罪深い者は此の短刀で果てた事を知れたなら
松之助扇太郎合同劇
△關口彌太郎 全五卷
關口彌太郎が生立ちより小野治郎右衛門に師事して一刀流の奥儀を極め久保彦右衛門の助力で柳川屬の仇、荒木又右衛門の武太刀に設て觀父の仇を討ち取る
本町一丁目 電話七八五 壽館
當る十月二日午後六時より
中村連秋季舞踊大會
餘興 浪花節 落語

京城本町 電話五七八番 京城劇場
當る十月八日より
斯界に於て關西隨一の現代連續劇ミッキー一行來る初日番組
大倉桃郎氏の作 うらみのかね 全十八場
二番目 車夫の夢 全三場
入場料大勉強 特等一圓五十錢 一等一圓二十錢 二等九十錢 三等七十錢 四等五十錢 小人二十錢

日活活動 特約常設 京龍館

黄金館
黄金町 電話一六三七
當る十月六日より特選新寫眞上場
△喜劇 オヤ〳〵
△實寫 ホルトガールの風景
△新派大悲劇 大阪樂天地勝田健一郎 慈母の眞心 全五卷
生ぬ仲の母親は慈愛心が薄いと恨む子供は世の中に最も多くある内に良婦の貞操慈母のなやみ眞心も知らず家に大悲劇を起し義理の弟と採るの哀心慈悲涙の人情家庭劇
△連續大活劇 星の魂 四卷上場 第五六篇
チヤアレス、ハッチソン氏主演
世界的冒險家テルスダーフは經育へ馳送の途中進行中の汽車中より激浪へ飛び込み逃走す是より汽車海上飛行機等あらゆる大冒險は愈々今週上場より
澤村四郎五郎一座

喜樂館
黄金町二丁目 電話三七一 有樂
日活京都派尾上松之助 (大正) 當る十月七日より革新興行
第九十一篇四卷上場
△喜劇 文部省選定映畫 都にあこがれて 全五卷
新派劇 女優女史之誠 第三の眼 全五卷
... 山中鹿之助 六卷
泰西 怪力虎王丸 全七卷

浪花館
明治町 電話二六〇
十月九日より浪界大立物
鷹甲齋虎丸一行
外數拾名

浪花座
本町九丁目 電車終點 電話二三三八番
秋季 大温習會
山村運
午後五時開演

東京 高崎製ベントン式金庫
本店 東京市芝區 出張所 大阪京都神戸 特約店 京城本町 三越呉服店

【修繕】高崎製は特に大勉強にて修理仕るべく候

大島紬 見本進呈 若松屋

貴金屬 時計

京城本町二丁目 電話 三一四・二〇七一 御木村時計店

店員募集
一地方人ニシテ簿記ニ經驗アル内地人保證人ヲ要ス
ナ元町川ヒル
河野本店

結核專門 古賀病院

京日案内

讀者にて…（每に一四字一五行一回…）

人用 時計職人一名 店員一名 京城本町一丁目 高木金時計店 電話九九

買家 當金町一丁目 在上で新築二階の家 希望の方は 電話一八四〇 京城…

募集 小店員十名 但シ内地人小學校卒業程度 希望者ハ本人來談アレ 京城本町 德…

易斷 高嶋伯龍子來京 七日ヨリ十五日 吉武旅館内 南大門驛前

招聘 外交に經驗ある品販賣員 步合の外手當… 本人來談あれ 南大門通三ノ二六東洋…

小店員入用 年齡十五歳位 業程度二名、市内に保… 京城南大門外 要す

夜學 英語數學を求む 七時より九時迄 教授下さる方希望者は店の… 京城南大門通二 堀井…

看護婦 及附添婦 京城旭町二丁目 電話取次 京城看護婦…

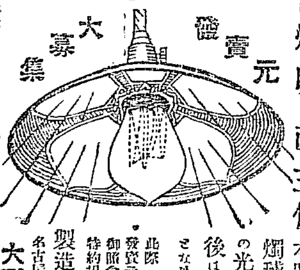
貴女の髪を氣持よく 思ひのまゝの黒髪に染める

五大特長
一、タッタ三十分で染まる
二、天然の色に染る
三、毛髪に沁みず、洗つても剝げず
四、用法至極簡易
五、毛染ならず

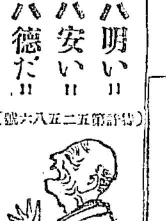
あかがみ毛染 ナイス

發賣 大阪 東京 丹平商會

特許反射鏡 大募集 賣元



電燈の料金永久節減



宣傳
コレハ明い！
コレハ安い！
コレハ徳だ！
（特許第三五六八號）

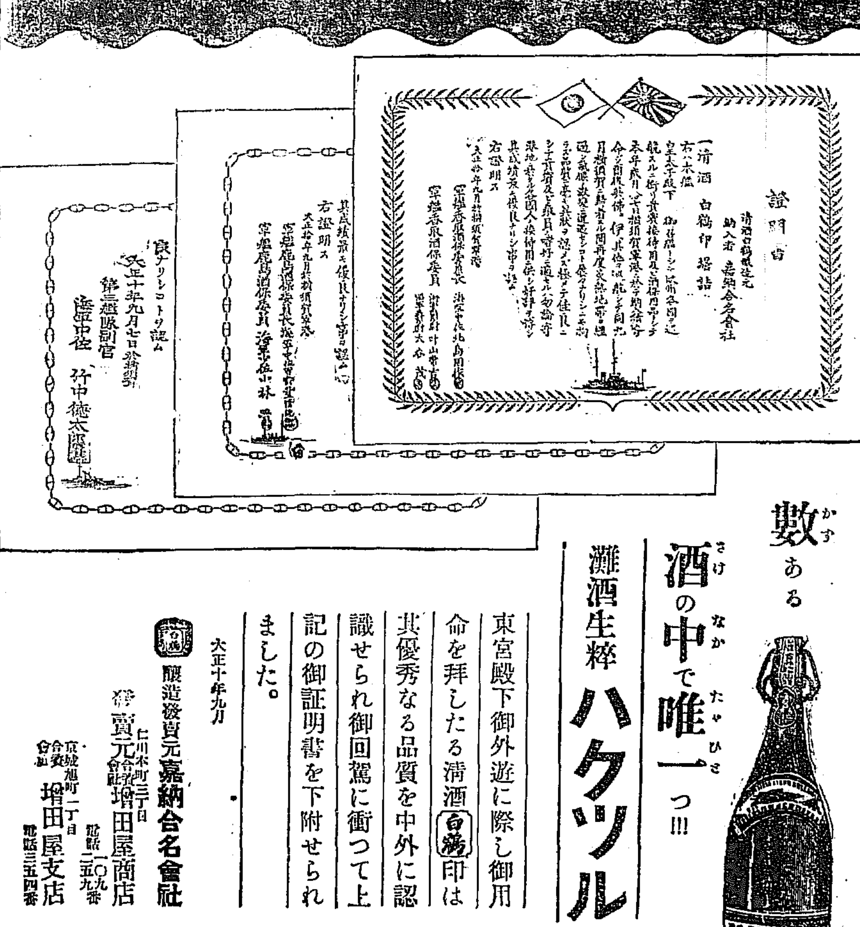
電燈の明るさ直に三倍
本器を使用せば十燭の光を發し二十燭の光を發し五十燭の光を發す
後は反射鏡代は一ヶ月で料金で減る
發賣元は地方へ一個にても御送り致します
製造發賣元
大形商店 名古屋市… 電話…

京城南大門外 白神洋行支店 平壤本町
洋鐵鋼 諸機械 工具附屬品一切
金物商
月刊物價表 御申越次第進呈
仁川本町 白神洋行

資本金參千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並に預金業務を取扱中候
株式會社 朝鮮殖産銀行
京城府南大門通二丁目
電話長 六〇一一四 營業振替貯金口座四一〇九番 道金庫振替貯金口座特一三番
頭取 有賀光豊

支店及派出所
（京畿道）仁川、水原、開城、公州、鳥致院、大田、論山、江景（忠淸北道）淸州、忠州、堤川、（忠淸南道）
（全羅北道）群山、井邑、金堤、全州、裡里、（全羅南道）光州、木浦、松汀里、順天、麗水
（慶尙北道）大邱、浦項、金泉、（慶尙南道）馬山、晋州、統營、新馬山、（黄海道）海州、沙里院、（平安南道）平壤、鎭南浦、（平安北道）新義州、（江原道）春川、江陵、（咸鏡南道）元山、（咸鏡北道）羅南、城津、雄基、會寧、元山里、咸興、北靑、鐵原
右の外内地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候

傳染病科（結核、梅毒、麻病、其他）
小兒科
中谷醫院
（咯痰、糞便、血液、細菌）檢査需に應ず
京城大和町三丁目 電話一三〇三番



數ある酒の中で唯一つ!!
灘酒生粋 ハクツル

東宮殿下御外遊に際し御用命を拝したる清酒白鶴印は其優秀なる品質を中外に認識せられ御回駕に當つて上記の御証明書を下附せられました。

大正十年九月

釀造發賣元 嘉納合名會社
京城代理店 增田屋商店 京城本町一丁目 電話一九九番
平壤賣捌所 增田屋支店 電話三五四番

蒼山碧水倶已化光風霽月自傳神
祝京城日報五千号　蘇峯外史

德富猪一郎氏筆

回顧十有六年

我社は斯くの如くして今日の隆盛を招致した

我社が半島の一角に呱々の聲を擧げたるは明治三十九年九月で、爾來歳を閲することゝ十有六年來る十月十日を以て紙齢正に五千に達するのである。顧れば此の永き過程は幾多の消長風雨を經來りたるもので、今にして之を追想すれば洵に今昔の感に堪へないものがある。

二代社長 故大岡力氏

一代の偉人故伊藤博文公が第一世統監として半島啓發の大使命を帶びて此地に莅むや、權威ある有力なる一新聞の必要を認めて其の創立に盡力せられたのである。當時京城には漢城新報及大東日報の二邦字新聞があつたが共に大事を許するに足らずと認めて之を買收し、新に一新聞社を興したのである。之れ即ち我社の發現で公は特に自ら命名して京城日報と稱し伊東祐侃氏を社長として經營の衝に當らしめたのである。而して同時に英字新聞セウルプレスを發刊せしめ、兩者相呼應して新政の徹底を圖り日鮮融和の大鼓吹に努めたものである。

前監督 德富猪一郎氏

三代社長 故吉野太左衛門氏

當時京城の新聞界は群雄割據の狀態で何れも經營困難を來した我社も御多分に洩れず其の經營上の苦心は非常なるものであつたが、常に公正穩健の立場を失はなかつたために、社會上下の信用は日と共に增加し漸次基礎を固むる事が出來たのである。明治四十一年六月伊東祐侃氏病を以て去り、大岡力氏新に社長となり、更に贋頽方針を以て新經營に努力し、社運大に更張を見たるが、明治四十三年朝鮮總督府を置かるゝ事となりしを以て、我が京城日報も亦組織陣容の變更を必要とするに至り、大岡氏社長を辭し、國民新聞社長德富猪一郎氏一切の經營を引受くる事となつた、然るに同氏は一身上の都合により常時京城に居住し得ざるを以て吉野太左衛門氏を社長兼主筆として常任せしめ德富氏は監督として社業振興に努力されたのである。

四代社長 阿部充家氏

五代社長 加藤房藏氏

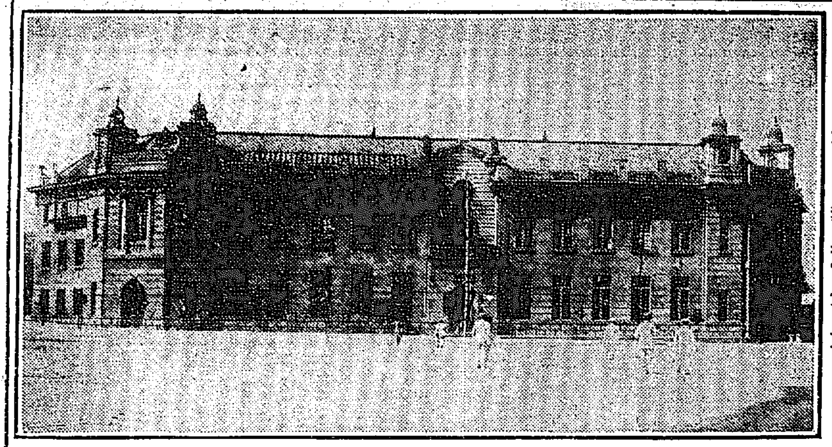
現社長 秋月左都夫氏

德富氏經營の任に膺る事となるや我社の內容外觀共に一段の生彩を放ち悠然として斯界に濶歩するに至つた。明治四十四年七月には從來の六頁を八頁に改め時世の進運に伴ふの擧措に出で四十五年二月には理事を以て幹部を組織するの制を定め復雜する業務處理の機關として着々社業進展に備ふる所があつた更に大正二年一月には朝夕二回發刊に改め、同十月社礎を定め合資會社となし、支配人を置いて社業を管理せしむる事とした。

創立以來の我社は本社を大和町一丁目に置きたるが、社運の進展と共に社屋の狹隘を告ぐるに至りたるを以て、地を大漢門外の元警衛院跡にトし一大社屋建設の事となつて大正二年十一月工を起し、翌三年十月竣工、十一月初旬移轉を了したが、不其の翌四年十一月火を失して其の大半を燒失し直に再築の計畫を立て翌五年十月竣工を見たのである。此間三年七月吉野社長病氣を以て歸東し國民新聞副社長阿部充家氏社長に就任せり然るに大正七年六月、德富猪一郎氏我社の經營を辭する事となり、同時に阿部社長も辭任し、加藤房藏氏入りて之に代り鋭意社業の振興發展に努めて先づ其の內容の充實を圖り、支局の陣形、通信系統の整備を試み、社屋の增築、支局々舍の建設を敢行し、或は社則の大更定をなし、又は朝刊を發する等積極的經營方針を執り、業蹟大いに見るべきものがあつたが、大正十年二月都合により辭任し、同六月現社長秋月左都夫氏來任後更に陣容を更新し本社創立の大精神に則とり、其進展興隆を企圖する事となり、社員亦一致協力して猛進の途に上つた。

以上は京城日報社の沿革の大要を略叙したるに止まるも、我社は亦本業の傍、社會奉仕、半島啓發、公共事業に貢獻せん事を期し、或は兩班儒生を中心とする內地視察團を組織し、又は見學團を組織し、或は名士に請ひて講演會を催し、又は遊覽請興に、或は各種運動競技會を催す等殆ど年中行事の如き觀を呈したるが茲には枚擧採錄の煩を厭ひて之を省略する。

十有六歳五千の紙齢之を大局より觀れば實に蒼海の一粟に過ぎずと雖も、亦此の道程を顧みれば其の一張一弛浙沂たる經營の跡に對し今昔の感に堪へぬものがある。


京城日報社全景

祝電

忠北知事 米田甚太郎
五千號の發刊を祝す

忠南知事 金寛鉉
貴社記念號の發刊を祝し將來の隆運を祈る

全北知事 亥角仲藏
五千號の發刊を祝し一層の隆運を祈る

全南知事 元應常
五千號發刊を祝し將來の發展を祈る

黃海知事 朴重陽
五千號を祝すると共に貴社の發展を祈る

平南知事 篠田治策
貴社の發展と五千號の發刊を祝す

平北知事 飯尾藤次郎
貴社記念號發刊を祝す

江原知事 申錫麟
貴社五千號の發刊を祝し併せて社運の隆盛の祈る

咸南知事 李圭完
記念號發刊を祝し益々隆盛ならんことを祈る

咸北知事 齋藤禮三
五千號の發刊を祝す

祝五千號

奉天 東洋拓殖株式會社奉天支店 支配人 堀諫

奉天 滿洲商業銀行奉天支店 支店長 富永是保

奉天 滿蒙毛織株式會社

奉天取引所 所長 木村誠次郎

木材業並原木賣買 南滿洲安東縣 採公棧 電話一四一番

土木建築請負業 平壤若松町 中平工業所 長電話五四九番

海產物貿易商 伊佐奈商會安東支店 安東縣江岸通 電話二一〇番

平壤壽町 好生堂醫院 院主 金子重寛 長電話一四六番

北陸土木株式會社平壤大同江架橋工事出張所

土木建築請負業 大同社 平壤泉町 松尾宗一 電話五二九番 平壤幸町 中川鶴三郎 電話五二八番 平壤巡町 古下藤一 電話六四三番 平壤南門町 山崎龜一 電話六八一番

平北定州 同江水利組合 組合長 安炳憲 理事 小山英亮

フォード自動車並ニ部分品販賣 セール・フレザー株式會社副代理店 山中商會 主 山中德太郎 釜山榮町一丁目

貿易商 白山貿易株式會社 釜山府本町三丁目 電話長一〇七番 一〇六番

動力及點燈共充分の餘力有之候につき何時にても御用命に應じ可申候 鎭南浦 鎭南浦電氣株式會社 長電話一〇番

正隆洋行 南滿洲安東縣五番通五丁目 電話長六三五番

南滿洲安東縣 東亞煙草株式會社 電話一四五番 本店東京 支店奉天

醬油釀造業 宮川商店 平壤府鏡齋里 長電話五五番

奉天 大倉組出張所 川本靜夫

奉天 高等旅館 瀋陽館

奉天 和洋兩式高等御料理 都ホテル

奉天 三井物產株式會社奉天支店 支店長 母袋鹽雄

營業科目 金融信託 倉庫事業 奉天 日支合辦 東省實業株式會社 專務取締役 高橋貞一

奉天 東亞煙草株式會社

奉天 滿蒙證券株式會社

奉天松島町 中原工務所 中原文太郎

奉天小西關 貿易商 原茂洋行 原田丑一

奉天浪速通 滿蒙毛織株式會社製品特約販賣店 滿蒙商會

奉天 奉天取引所信託株式會社

奉天 奉天信託株式會社 專務取締役 鈴木源之助

安東輸出貿易商組合（イロハ順）
育田商店 日陞公司 日東洋行 朝鮮肥料株式會社安東縣出張所 貝原商店 柿本商店 竹本商會 遼瀾商會 村木洋行 滿洲商工株式會社 丸一商會安東縣支店 興東公司 三有公司 三省洋行 三巴商店 紀陽商會 三井物產株式會社安東縣出張所 芝玉洋行 合資會社西堀洋行 合名會社鈴木商店安東縣出張所 株式會社安東縣出張所 三信洋行出張所

（京城酒商組合）
京城永樂町二丁目 一鶴發賣元 本莊酒店 電話六五〇四番 振替京城六五〇四番
京城太平通一丁目 龜甲萬 百合正宗發賣元 千鳥正宗 千鳥正宗出張所 電話一五一五番
京城明治町二丁目 金露 長春 醸造發賣元 合名會社大塚京城支店 電話四〇一番 振替京城五七〇一番
京城本町三丁目 菊正宗、白鶴、澤の鶴 二引鶴、大日本麥酒株式會社特約店 田中支店 電話七四六番
京城明治町二丁目 櫻正宗 玖發賣元 株式會社山邑京城支店 電話八四九・一四五四番 振替京城七五番
京城本町二丁目 菊正宗 白鶴發賣元 サツポロビール特約店 前田合名會社 電話一三七番 振替京城四五番
京城若草町 金鵄、銀鵄 大鵬發賣元 三巴京城支店 電話二〇三番
京城本町二丁目 大和心、澤之鶴 都菊、金 麥酒特約店 佐藤牧酒店 電話一九・二四八番 振替京城一九番
京城黃金町二丁目 有樂何發賣元 首藤京城支店 電話一七七番 振替京城三七一番

元山水曜會
朝鮮郵船株式會社元山出張所
內國通運株式會社元山出張所
元山水力電氣株式會社
吉田運輸株式會社
吉田倉庫株式會社
元山倉庫株式會社
元山酒造株式會社
輸出食品會社元山支店

祝五千號

京城府壽松洞八二番地 三十本山聯合事務所 電話一二九六番

辯護士 小川勝平 京城府明治町二丁目 電話四一番

大島紬織元出張所 勝久京城支店 京城本町一丁目 電話一九〇一番

小瀧元司

藥品及醫療理化學器械商 藥劑師 坂井峰太郎 京城明治町二丁目六三番地 電話長一四四四番

朝鮮藝妓 京和券番 京城府三角町三五 電話一九六八

宮林泰次

朝鮮藝妓 大正券番 京城府茶屋町一七七 電話一九九番

龍山水產株式會社 龍山元町一

京城黃金町三 御料理 清華亭 電話二五番 八二三番

京城府若草町 ゲンノシヨウコエキス 本舖 東洋藥房 電話三二一八番

都染特約店 みのや京染店 京城府櫻井町一丁目 長電話一四六二番 振替京城六三三八番

京城府黃金町三丁目角 京城自動車講習所 電話長一二六〇番 振替七一八八番

福田屋壽司店 京城明治町一ノ七七 電話一三一〇番

藤田米二郎 京城本町二丁目八四 電話三二九番

京城府淸進洞百二十番地 朝鮮藝妓 株式會社 大同券番 電話一三七番

京城府黃金町シンガーミシン會社 主任 足立盛太郎 電話一五四二番

朝鮮龍山元町二丁目 和洋衣服商 金子商店 電話百〇五番 振替京城三八一三番

藥種貿易商 合資會社 山岸天佑堂 電話三七二番 二〇一四番 振替京城二〇三番 京城本町一丁目

佐々木聚古堂 京城南山町三丁目

巴州亭

京城黃金町二 大陸通信社 電話三二二〇番

龍山倉庫金融會社 電話一四八番

和洋紙卸印刷製本 近澤茂平 京城長谷川町七四 電話二三七五番

京城本町二丁目 御料理 清香園 北村清太郎 電話三六 二七七番

京城府黃金町一丁目 山岡時計店 電話一三四八番 振替京城三一番

石川物產商會 電話一八八四番 振替京城一六二〇番

京城旭町三丁目 鮎貝房之進 電話一三五番

東亞牧場 電話五二一番

綿糸布商 青見洋行 京城出張所 京城長谷川町一八一四 電話五二四番 一八八八

京城南大門通三丁目 東京火災保險株式會社 京城出張所 電話一〇六〇番

朝鮮土木建築協會員 石田建築材料店 京城黃金町貳丁目 電話一一六一番

京城本町壹丁目 和洋金物 橋口金物店 電話百四拾貳番 振替京城四七九三番

京城 大和軒

カバン製造卸 小賣修理 卸ノ元祖 天野百藏 京城黃金町三丁目 三四

時計眼鏡貴金屬商 中村時計店 京城本町一丁目 電話一一一七番 振替京城三四六番

京城府南大門通一丁目 中山洋紙店 電話二三四一番

京城黃金町三丁目 金銀ニツケル メツキ エナメル塗 三輪自轉車商店 電話長一八七五 振替一三〇四

京城黃金町二丁目 木材各種卸小賣 [illegible]材木店 電話一一四八番

內外興業株式會社京城出張所 主任 內田滲 京城長谷川町百十六番地 電話長一八九番

京城府黃金町一丁目一九九 日本建具株式會社 京城支店 電話一七〇五番 振替京城三七二八番

京城明治町一丁目四十番地 和洋諸紙販賣 活版石版印刷 和洋諸帳簿 紙器卸小賣 瀨川中央堂 電話長二三八九番 振替二〇四五番

內外洋紙◈各國西紙 販賣商 合資會社 渡邊商店 京城支店 京城南大門通三丁目 電話二九〇六番 本社 金澤市安江町

京城長谷川町 貿易商 河野本店 京城出張所 電話一〇七九

京城本町二丁目 印舖 千代田號 電話九八七番

辯護士 法學士 武智弘方 京城明治町二丁目百五番地 電話一七九五番

貸家業 大坪文吉 京城明治町二ノ一七

京城南大門通三丁目 ゴム足袋 雜貨商 吉岡商店 電話三一二九番

京城本町一丁目 印洋紙 諸帳簿 文房具 諸印刷 北內商店 電話一一五二番 振替京城一五九番

京城本町二丁目 和洋家具類 室內裝飾品 製造販賣 一式 增田本店 電話百〇九番 振替口座七六番

京城本町二丁目 村上寫眞館 電話四二番

各種時計 貴金屬類 寶石類 製作販賣 直輸入 京城本町二丁目 富士屋 長電話八七六番 振替京城三九〇六番

梶原末太郎

北海道材、鴨綠江材、家具用材、廻用材、ベニヤ板、曲家具木取、椅子、卓子 朝鮮京城林町二七五番地 雜木各種 [illegible]本明雜木店 本明卯平 長電話三二七三二 振替京城五七三番 電信略號ホ又ハホン

寫眞材料 米國イーストマンコダツク會社特約店 島田誠昌堂 京城明治町二丁目 電話一九一九番

和田常市 京城府南米倉町二〇二番地

林田金次郎 京城本町二丁目 電話六五番

京城本町一丁目 洋品商 塚谷出張店 電二三六番

人蔘精 人蔘エキス 人蔘カルシユーム錠 本舖 高麗人蔘製劑所 京城府黃金町三丁目 佐野營平次 電話六七六番 振替京城四一三六番

土木建築請負業 今岡熊之助 京城府林町三十四番地 電話三〇六九番

京城明治町二丁目 パン 木村屋京城支店 電話二八七〇番

京城本町三丁目 橋詰吳服店 電話一八〇二番 振替一五六番

諸雜貨卸商 瀨戶勝兵衛商店 メリヤス卸部 化粧品卸部 電話一二七番 振替京城二四〇番 電信略號セ又ハセト

建築金物商 京城本町二丁目 井原京城支店 電話八三六番 本店 支那安東縣（電話三三番） 支店 奉天（電話七一一番）

內外菓子卸問屋 岡本福山堂本店 京城府本町三丁目 電話取次五六四番 振替京城四六〇一番

京城南大門通三丁目 和洋諸紙 文房具 卸商 大家馬吉 電話二三九九番 振替口座京城八四六〇番

齒科醫學士 齋藤齒科醫院 京城旭町一丁目 電話一四一四番

綿布 雜貨卸商 ㊇鬼頭支店 長電話一七一二 振替京城四八五番

陸軍諸官衙 學校 御用 パン製造元 神戶屋 京城府永樂町二丁目 電話二一〇五番

森久商店 京城本町二丁目 電三五〇番

京城本町一丁目十七番地 貴金屬品製作販賣 高木金細工店 電話九九一番

京城府永樂町二丁目 龜屋染工場 電話一五八五番

京城旭町一丁目 中島印刷所 電話二〇一八番

京城本町二丁目三十八番地 松金 電話六八六番

京城本町三丁目 時計商 三浦天龍堂 電話一〇〇二番 振替京城三〇四番

京城明治町二丁目 日の丸旅館 電話長一九八四番

何首烏精製造元 富木兄弟商會 京城旭町一丁目 電話三五六二番 振替四二七番

京城本町二丁目二九番地 太平堂印刷所 電話三七二番 振替三六七番

京城女髮結組合

自轉車及附屬品卸 高居瀧三郎商店 京城黃金町二丁目 長電話一九六二番

朝鮮藝妓 漢城券番 京城府武橋町九二番地 電話一〇〇四番

和洋建築金物 ストーブ各種 佐野彥藏商店 京城本町一丁目 電話一二六三番 振替一二〇番

朝鮮軍司令部 大庭大將筆

吾が半島の開發と新聞紙の力

朝鮮殖産銀行頭取 有賀光豊

京城日報が去る明治三十九年創刊以來十有六年の歳月を閲し紙齢五千を重ねて茲に記念號を發行せらるゝに臨み祝意を表し併せて一言申し述べたいと思ふ。

十六年の星霜は新聞紙として必ずしも非常に長いものとは申されないかも知れぬが、此の十六年の歳月は我が日本帝國の爲め又朝鮮の爲め頗る重要なる期間であつて、國運と至大の關係ある幾多の劃時代的事實を以て歴史上特殊の地位を占むる所の時代である。日露の干戈戰より、列强の間に於ける我邦の地位は漸に高まり、國民の責務は頗る重大となつた。朝鮮に於ける新政の施行と共に我國の大陸經營は益多事となつた。明治大帝の御登遐あらせられて大正の時代となり、幾ばくもなく曠古の世界大戰が勃發し、我國も亦交戰國の一として之に參加するに至つた。指を屈すれば僅か十六年に過ぎない此の期間に於て日本の國家及國民は非常なる難局に遭遇し來つたのである。

顧つて我が朝鮮の此の期間に於ける政治經濟並に社會の推移を見るに、總ての方面に於ける改善進歩の跡は顯著なるは改めて言ふ迄もなく。明治三十九年頃の往時と今日とを比較すれば眞に隔世の感がある。殊に經濟上の發達に至りては殆ど根本より面目を革めたと申して宜しいと思ふ。斯の如きは實に官民協力の賜に外ならないのであるが併し作ら之を大局より見る時は朝鮮は尚ほ未だ諸事改新の時期に在りて、文化的事業は最も今後の施設に俟つものが多い。就中一千七百萬民衆の生活を高め其の安定を期するに最も緊要なる殖産興業の振作といふ事は、朝鮮開發の一大眼目であつて、之が爲には官民の努力を要すること益多大であらねばならぬ。從つて吾人の責務は愈一層加重し來つた次第である。我等は今日重大なる時期に際し、須らく氣魂を一新して實質剛健の氣風を振作し、朝鮮開發の爲に負はされたる責任の完遂を期する所あらねばならぬ。

京城日報が半島に於ける言論機關の一として過去十有六年間朝鮮の開發進歩に貢献して克く社會の木鐸たる任務を竭したる功績は頗る多とし、吾人は茲に改心敬意を表する者である。朝鮮の文化的事業は新聞の協力に俟つもの多く、從つて新聞紙の健全なる發達は朝鮮開發の前途に最も望ましい事である。京城日報五千號の發行に當り予は切に其隆運を希ひ社中各位の清福を祈る次第である。

祝辭

滿鐵社長 早川千吉郎

武は一時の權にして文は百代の法なり。武以て天下を定むべきも以て天下を治すべからず。事に文に從ふもの其の責任や重且大なりと謂ふべし。京城日報創刊せられてより號を重ぬること已に五千、亦盛なりと云ふべし。其の初號より五千號の今日に至る迄、經營の艱難たる當に想見すべし。凡そ新聞の業たる富貴に淫せず、權勢に阿らず、正義に立脚し、以て世道人心の歸趨を準し、人道に規す、以て闡明せんとするに在り。蓋し容易の業に非ず。而も京城日報が、其の光榮ある歷史を辿れるに見て、余輩深く之を慶せざる可らず。然れ共前途は混沌として邃遠なり。世界の趨勢は測るべからず邦家の爲め我が京城日報の一層雄健ならんことを祈る。一言蕪辭を陳べ以つて祝詞と爲す。

寧古塔 (上)

大藏省勅參 三土忠造氏筆

私は或る事情の爲八九ヶ月の間此所に滯留して居りましたから多少此の地の様を見たり聞いたりしました然し見聞に誤りが有るかも知れない其の邊はよろしく御掛酌を願ひたい(渡邊生)

▲寧古塔は御承知の通り寧安縣の所在地で東清鐵道の海林車站より六七里南の曠野の中にある都會で昔清朝時代より有名の都會で卽ち滿洲旗人の七分迄占めて居る都會である海林と寧古塔の間は立派な道路があつて自動車の往來には少しも故障ない間島内の惡道路とは迚て較べ者にはならぬ

▲寧古塔は縣治の有る所であるから政治機關としては縣廳と之に附屬する官衙は勿論裁判所、師範、中學、小學、女學校等もあり郵便局、電信局もあり商務會もありて先づ諸機關が備へて居る其他に電話公司もあり郵務公司もある

▲寧古塔は關分遙僻の様に思はれるが七里北に出れば鐵道の便がある故浦鹽ハルビン奉天北京上海には先づ土産まずして行かれ上部と手紙の取りやりには十日もあれば樂々できる誠に便な態であるから時ならぬ時に南洋の果實が口に入る事もあり東海の鮮魚が安價で膳に上るともある又物價は交通の便利のため紙布を除くの外は間島よりは安價で品物が上等である

▲寧古塔の人口は正確な事は知れないが巡警の言ふ所によると城内外を合て二萬の上少し出て居る中其内旗人が六七割を占め殘りの三四割が漢人卽ち支那人であつて此の人々の中で商權を握られて居る漢人といふても中央支那の人でなく山東山西の東三省生の者で山東系の者は商業山西の者は金貸といふ風に夫々得意の業に從事し回々教の者は馬と牛の商買をなして各生業に從ふ區域が定めてある

▲寧古塔に居る外國人としては支那婦人の看護婦を妻とする米人の賣藥と殷業を營む者日本人として通信員の横地と藥屋一宿屋一日支組合の貸金業の日本人一と女郎屋一軒があるのみ七八…が迫々と減じて來た前には此所にも日本人は居つた所に居る者は十軒ある商人地主醫者であつて地主の大なる者は千日耕を有し其次の者は數百日耕を以て樂に生活して居る

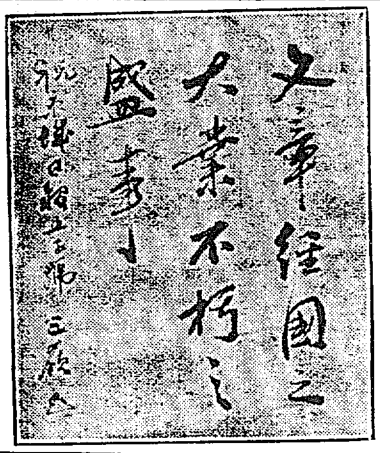
▲寧安縣内に散在して居る鮮人の戸數は正確に知る事は難いが約千戸位の者と思はる一ヶ所に百と有る所はない五十戸程集まつた所は黄旗屯と牡丹江車站位の者で二三十戸位の所では海林都廳世である寧古塔より西南に當りて東京城といふ所もあるこれは昔の古城で有名であるが此所に十戸位の鮮人が住んで居る此外に此所に三戸彼所に四戸といふ風に農業に從事して居る者がある

▲既に申せし通り千戸の内には地主もあり商店もあり農夫もありて其生業は各異なるも貧富を以て區別する時は中流以下の者が多く農業が多く南より來る者は水田を營み蔬菜と李菜は千日耕とか數萬日耕を有し私の兄の如きも荒地五萬畝を持つて居る間島より再轉し來れる從も數百日耕を持つて生活して居る

▲小作人は間島のソレとは大に趣きを異にし小作人は一面家僕の如く地主は小作人には家族の數に應じて一年中の食糧と食塩を給し且費を與へる此如く小作人に對し地主より貸をふる風習は此の地方を除いて他には多く見られぬ例である又一面には純然たる小作人である敗醸の牛は之を地主に納め他の牛は之を己の所得とする

方形の半ペンニ一貨

濠太利では方形の貨幣を造つて使用してゐる、久しからずして從來行はれてゐた圓形の半ペンニ一貨は廢止せられて全部この方形のものばかりになるであらう、この方形の貨幣には二つの有利な點がある。第一には之を箱に詰める時、圓形のものよりもおちつきがよく始末し易い、第二には原料から方形貨として切出すと原料の無駄が省ける。之に反して圓形のものは切出す時に屑が多く出るから製造費が前者より多くを要することになる。



京東府知事 宇佐美勝夫氏筆

五千號發刊を祝して

京畿道知事 工藤英一

京城日報の紙齢五千に達して本日之が記念號の發行を見るに會す。寔に慶賀に禁へず。由來京城日報社は、京城の日報社にあらずして每に鷄林八道の日報社なる責務を有し、規模宏大、設備完全、刊行新聞紙の質量俱に他に冠絶して克く其範を示すに足る。貴社の存立は大京城の誇りにして亦實に半島操觚界の權威たり。

輓近世界思潮の變遷期に際して、國民の思想動もすれば、輕佻浮薄に流れむとするの傾向を呈し、延いて產業經濟の發達を阻碍せむとす、洵に憂ふべき現象と謂ふべし。此秋に當りて、社會敎化の責任者たる貴社が隆々たる社運に際ち、爰に記念號の刊行を企畫せらる。將來の活躍期して待つべきものあるを疑はず。冀はくば益々筆硯を礪きて國民思想の善導に勵め、之が健全なる發達に寄與されむ事を。謹んで祝意を表す

京城府漢江通六番地 朝鮮蠶絲株式會社 電話龍山長五五番 製種製造所 大島町工場 一五五番

京城精米組合 今村精米所 京城南米倉町一九 電話一四〇六 / 常盤精米部 京城本町一丁目 電話龍山七四三 / 朝鮮精米所 京城和泉町一 電話三四三 / 朝日精米會社 京城南米倉町二五 電話八三二

アイゼル 高麗人蔘本舗 宜壽堂 井上藥品部 朝鮮京城 電話八番八八〇番

住友合資會社 京城出張所 電話一七八四番

手打 きそば 旭庵 京城旭町一丁目 電話一四〇三番

三阪通 齋藤久太郎支店 假事務所 電話長一九〇番

和洋金物諸機械商 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話長一四二番

京城食堂 京城長谷川町二 電話長二一六番

京城鐘路青年會館 青年洋靴店 電話二三七九番 振替七七九〇番

金物商 京城本町三丁目 近藤安吉商店 電話一五六二番

京城太平町二丁目 西崎源太郎 電話長七二七番

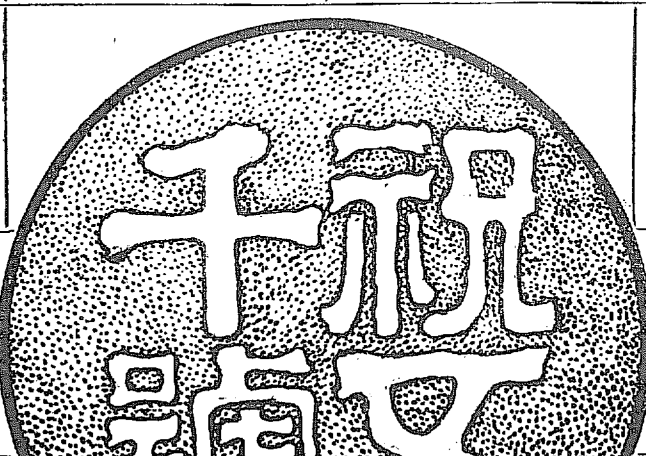
京城南大門通一ノ一四 朝鮮自轉車株式會社 電話一二三二番 支店所在 全州 出張所 大邱、平壤、清州、金堤、春川、通川、咸興

京城南大門外 大原商店 電話一二九番 振替京城二三三番

早川利正 京城南大門通五丁目 電話一七六四番

諸機械輸入 京城府太平通二丁目 會我商店京城出張所 電話二一六八番

安川松本商店 京城支店 京城府南大門通五ノ一 電話一六六七



組龍山支店 京城府漢江通十一番地 電話一五七番・六三七番

京城本町二丁目 近藤貴生堂藥房 電話一三八番

京城本町二(明治町通り) シャツ各種 洋服附屬品 舶來雜貨 富屋 電話六九番 振替一九七一番

浪花館 電話二六〇番

土木建築請負 小寺組 京城竹添町二ノ一六五 電話長二七一九番

京城印刷組合

京城本町三丁目 藤富商會 藤富國太郎 電話長二〇八・二九〇二番

東京建物株式會社 京城支店 京城黃金町二丁目 電話一三八・六二一番

時計類 自轉車 寫眞機 野田時計店 京城本町二丁目 電話八七四番

中村再造

土井一義

美術品 人形 小間物 有名石鹼 化粧品 卸問屋 月本政次郎商店 京城明治町二丁目 電話貳八番 振替京城七四二番

京城太平通貳丁目 德國顏料廠

京城南大門通五丁目 朝鮮土地經營株式會社 電話二三九番

京城材木組合

丸江運送組 陸運部 京城水標町 電話長一四五九番 水運部 龍山元町四丁目 電話長五二八番

辻本商店 電話六四〇・七一五番

京龍佐官組合

時計卸商 貴金屬製作卸 喜多金光堂 京城黃金町二丁目 電話七〇一番 振替七八二五番

活版石版各種印刷 洋式帳簿製本 和洋諸紙販賣 株式會社 大海堂 京城府太平通一丁目 電話長二一〇番

京城本町二丁目 壽館 電話七八五番

特許セメント瓦製造株式會社 本社 京城明治町一丁目五十四番地 電話長九三七番

京城明治町 京城魚市場 電話一四七八番

ゴム製品一式 汽機汽罐 在庫豐富 ナショナル精米麥機 特約代理店 角一ゴム合資會社朝鮮總代理店 角一商店 京城南大門通二丁目 電話六〇九番 振替京城三三四二番

文房具 紙 帖簿 測量器械 運動具 シノサキ商店 京城本町一丁目 電話長四八番

御料理 京喜久 京城旭町二丁目 電話一三一五・一九六七番

京城南大門通三丁目 農具 工具 金物 肥料 種苗 戶田農具株式會社

穀物問屋 齋藤又吉商店 京城南大門通五丁目 電話長二八一・六〇番

實用新案特許 帶天幕代理店 秋山組シイト製作部 京城龍山榮町 電話一二三番

東洋捕鯨株式會社 電話四〇四番

用達商 馬糧 林菅吉 京城古市町四二 電話三〇六番

通川石炭ハ油煙少ナク熱力熾烈ニシテ家庭用ニモ適ス 通川炭鑛本部 京城南米倉町二〇五 電話二五三貳番

祝五千號

砂糖麥粉卸商 釜山府 内藤八藏商店 電話六九七番

賣藥藥種商 釜山寶水町一丁目 松村博愛堂 電話長一二四四番

乾物罐詰食料品雜貨 卸商 釜山大廳町 山西合名會社 電話長七〇四番

釜山府本町二丁目 五島合名會社

釜山高島町 大阪商船株式會社 釜山支店 電話長一一四番 同五一四番 同八七四番

釜山穀物信託株式會社

綿糸布商 釜山本町 ㊄高瀨合名會社 支店 京城 平壤 群山 麗水

釜山水產株式會社

釜山 朝鮮瓦斯電氣株式會社

釜山窯業株式會社

釜山富平町 西條鐵工所 所主 西條利人

内外雜貨卸商 釜山本町二丁目 近藤商店 電話七六八

釜山府絕影島洲岬 田中造船所 電話九番

釜山府絕影島洲岬 中村造船所 電話二九番

釜山 朝鮮海藻株式會社

サクラ麥酒 釜山販賣組合

大日本麥酒 釜山販賣組合

釜山旅館組合 （いろは順）

泉旅館 濱屋旅館 方魚旅館 大市旅館 大池旅館 尾張屋旅館 岡野旅館 岡本旅館 脇旅館 花月旅館 ツルヤ旅館 中上旅館 長崎屋旅館 鳴戸旅館 山本旅館 松井旅館 松屋旅館 松本旅館 荒井旅館 ㋖旅館 秋田屋旅館 榮屋旅館 佐賀旅館 九州旅館 廣島屋旅館 備前屋旅館 森山旅館

釜山府高島町 釜山埋築會社 電話長二八一番

東洋燐寸株式會社 マッチ 覇王票 双鹿票 羽鹿票 釜山出張店 電話二〇八番

活牛問屋 移出 釜山鎭 上杉古太郎 本店 事務所 電話長五五五番 電話長六五番

釜山驛前 荒井旅館 電話七六三番 東萊溫泉 荒井支店 電話八番

煙草 洋酒 罐詰 卸商 釜山辨天町（長手通） あづまや商店

營業品目 糊粉、洋酒、食料品 化粧品、諸雜貨、雜貨 肥料、油類、セメント 酒精、燒酎、飲料水

大正生命保險會社 東洋海上火災保險會社 福壽火災保險會社 代理店 大邱本町一丁目 福榮商會大邱支店 電話六四九番

釜山埋立新町十一番地 福榮商會卸部 電話一〇八一番 九〇六番 九四一番

船舶 雜貨 釜山辨天町二丁目二十一番地 福榮商會小賣部 電話二三五番 一一三番

米穀 貿易商 釜山府本町四丁目 福島合資會社 電話長五〇三番

釜山 ホームリンガー商會 電話長五四五番

營業科目 石油 輕油 機械油 揮發油 パイプ カーバイト 植物油 蠟燭 製燭 綿縄 空寸 性物

ライジングサン石油株式會社 日本石油株式會社特約店

立石良雄商店 釜山埋立新町 電話四三九番 振替京城五八五番

同 蠟燭工場 釜山富平町二丁目 電話一二四五番

貿易商 釜山埋立新町 協信洋行 釜山出張所 主任 畑伊三郎 電話長六三一番

米雜穀 貿易商 釜山埋立新町 後藤卯三郎商店 電話四九三番

朝鮮銀行釜山支店 朝鮮殖産銀行釜山支店 第一銀行釜山支店 第百三十銀行釜山支店 十八銀行釜山支店 釜山商業銀行 漢城銀行釜山支店 慶南銀行

海產物問屋 釜山南濱町一丁目 伊藤庄之助 電話三三番

釜山本町一丁目 小宮萬次郎 電話二〇番

㊈ 釜山大廳町三丁目 山下洗布所 電話五一八番

釜山辨天町 大池忠助

釜山辨天町 大池本店

釜山埋立新町 大池營業所

土木建築請負業 釜山大倉町 木下元次郎 電話長六三七番

釜山精米組合 （イロハ順）

石川精米所 礒谷精米所 橋本精米所 豊田精米所 大池精米所 草梁精米所 中俊精米所 中野精米所 那須精米所 上田精米所 山二精米所 釜山精米所 深見精米所 淺谷精米所 坂田精米所 榊精米所 三共精米所 木村精米所 品川精米所 鈴木商店精米所

釜山富平町三丁目 横江川鐵工所 電話六三三番

釜山商業會議所會頭 香椎源太郎

釜山漁港内 香椎漁業事務所

内外雜貨卸商 釜山本町二丁目 近江屋商店 戸所他吉

京釜線大田本町 日本生命保險株式會社 大田出張所 電話一一九番

土地金融 倉庫業 大田榮町 大正起業株式會社 大田支店 電話長一〇七番

鴨緑江材各種 淺野セメント 石灰煉瓦土管 青竹左官材料 内地豐後石炭 京釜線大田春日町 ㊤上田材木店 長電話一一六番 電略（ウ）又は（ウエ）

朝鮮京釜線大田本町 福水正宗 中尾酒造場 長電話五四番

朝鮮京釜線大田 大田皮革株式會社 長電話一三四番

朝鮮京釜線大田春日町 小橋自轉車店 電話二五番

京釜線大田 大田電氣株式會社 電話長一四二番 鳥致院支店 電話長四八番 清州支店 電話五六番

京釜線大田春日町 須々木權次郎 電話一二六番

京釜線大田本町 東洋拓殖株式會社 大田支店 電話長一二五番

京釜線大田本町 株式會社漢城銀行 大田支店 電話長一二番

京釜線大田本町 ㊖富士材木店 電話長六十三番

新義州本町一番地 富士材木店出張所

大田市外鉢岩里 大田石灰製造所

朝鮮京釜線大田榮町 朝鮮興業株式會社 大田管理所 電話長四八番

祝五千號

東亞煙草株式會社

朝鮮銀行

朝鮮殖産銀行

京城蓬萊町四丁目
中村與資平
電話一九七七番

土木建築請負業
鎭南浦
長門組
代表者五島榮藏
長電話五番

大日本麥酒株式會社

京城出張所

祝五千號

大連市長　村井啓太郎

大連商業會議所會頭、福昌公司主　相生由太郎

前大連市長、市會議員、和盛公司主　石本鏆太郎

株式會社大連銀行頭取　[illegible]

大連市會議員、日華證券信託株式會社專務取締役　[illegible]

大連株式信託株式會社取締役社長　[illegible]

衆議院議員、大連商品取引所理事　[illegible]

大連市會議員、辯護士、大連新聞社長　[illegible]

衆議院議員、辯護士　[illegible]

衆議院議員、辯護士　[illegible]

朝鮮銀行理事　[illegible]

特產物輸出商、加藤直輔商店主　加藤直輔

鈴木商店大連出張所長滿洲總支配人　[illegible]

大連市會議員、[illegible]所長　[illegible]

大連汽船株式會社取締役社長　[illegible]

大連市會議員、辯護士　値賀連

大連市會議員、東洋拓殖株式會社大連支店長　[illegible]

朝鮮銀行大連支店長　[illegible]

株式會社正隆銀行常務取締役　[illegible]

大連民政署長　[illegible]

關東廳遞信局長　[illegible]

三井物產株式會社大連支店長　[illegible]

株式會社[illegible]銀行常務取締役　[illegible]

株式會社[illegible]銀行常務取締役　[illegible]

大連取引所信託株式會社常務取締役　[illegible]

大連商業會議所副會頭、佐藤組主　佐藤至誠

大連商業會議所副會頭、呉水子土地株式會社專務取締役　[illegible]

大連市會議員、大連郊外土地株式會社專務取締役　古財治八

東亞土木企業株式會社專務取締役、菅原工務所主　[illegible]

大連株式商品取引所理事　[illegible]

滿洲土木建築業組合長、大倉土木組出張所　[illegible]

滿洲水產株式會社取締役社長　[illegible]

大連市會議員、山葉洋行主　[illegible]

大連市會議員、大連株式商品取引所理事　[illegible]

株式會社三泰油房專務取締役　[illegible]

東洋スレート工業株式會社專務取締役　[illegible]

三菱商事株式會社大連支店長　[illegible]

日清公司大連出張所　[illegible]

大連取引所及錢鈔取引人　登喜和商會主　[illegible]

南滿洲鐵道株式會社

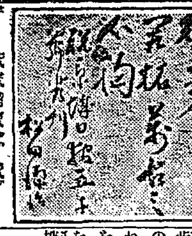
大連市敷島町四號地
滿洲土木建築業組合
電話長六二三番
振替口座大連八二五番

大連觀と京城論

政事的にも經濟的にも兩地の運絡を要とする

‖京城から大連を訪うた一旅客の談片‖

▲頃日京城からお客があつた。記者は案内役たるべき約束があるので停車場にお迎へし一先づ遼東ホテルに落付いて一浴後朝飯を濟まして直に市内外の見物に出掛けた。第一番に埠頭事務所に行つてその屋上から大連を大觀した重なる町々を東西南北してヤマトホテルに行き屋上から市街を展望して同所で晝餐を擽り自動車で星ヶ浦から老虎灘に迂回して歸宿し少頃後大連一流の貸席で會合して此日に見聞した大連觀から京城論に渉つた ▲大連の美は豫々聞い居る驛の輪奐美は怎うだらうと考へて往いて見てその貧弱に驚いた。支那馬車の便利と賃金の低廉なるも驚いた。京城の人力車賃以下で三人も四人も手荷物と同乘が出來ることは便利過ぎて勿體ない氣がする。それとしても京城人力車賃値下げを警察や府廳へお願ひしたい。▲遼東ホテルは設備萬端申分がない。京城一流の旅店と比較して優ることも劣る處がないのだが食品は道具許りで内容は京城の二流以下であると此點は確かに同感である。山田三平君株式賣買にのみ憂身を窶さずに改善して欲しい。▲埠頭事務所建物の宏大壯美も現在は半成なりと聞いては驚かざるを得ぬ。更に同構内の廣く物置の錯多なる岩壁の完備は到底釜山の比でない。京城も港があればと思はず歎聲が洩れた



[illegible] 松田源治氏筆

切めて仁川麗山間の運河でも出來ればなぞ夢物語りも出た。道路の完備と建物が不燃物で、構造の擴大と美觀は日本領土内に比すべき處がない。京城でも建築規則で建物を制限してはとの説も出たがこれは事情が違ふから考へものである ▲道路は放射状に整然として且つ平坦に手入の行屆きたる點は京城の比でない京城では南大門通りを誇りとして居るが街路は舊道路を基本として姑息の改修を加へたのであるから不規則で連絡と利便が缺けて居る。十數年前から整理の案は出來て居るが金の關係で一向に埒が明かぬ

切めても本町黄金町鐘路を縱斷する道路位は早く完成したい。黄金町で行止まつたり商品陳列所前で腰を折つたりするなぞは京城の體面にかゝる經濟の都合はあらうが道路の改修丈けは何を置いても早く願ひたい、主要道路を自動車の通行が出來ぬやうでは沙汰の限りである。支那馬車を京城に輸入せんとの計畫

内務次官 小橋一太氏筆

音があつたが道路が狹いので利用が出來ぬ關係から中止したそうである。▲ヤマトホテルの設備は風致こそわるいが朝鮮ホテルに優つて居る。料理も甘いお氣に召したのは女ボーイが氣がきいて居ることであつた。ホテルから小崗子沙河口を縱尾ケ浦への沿道に支那馬車と殆ど同數の自動車が盛に來往し小崗子支那部落の殷盛に驚異の目を瞠り沙河口に滿鐵工場の壯大なる施設に今更ながら感服し星ヶ浦迄約三里の自動車道の完全なると同所公園内に於ける滿鐵の思ひ切つたる設備と其の雄大なる景色とは京城で見られぬものであると感服された ▲評判か惡口かは知らぬが總督府が朝鮮鐵道に對し小姑的な闊歩をするといふことである事實のないことは保證するが更に之れを現實に證明するために滿鐵をして朝鮮内に滿洲同様な施設を爲さめてはどうか。進んで頓挫して居る各所の鐵道の面倒をも見て貰つたら朝鮮開發に速度を進めることゝなる。手足の備きが十分出來ると春畿の鮮鐵本線が生きてくる。今日迄の損失はなくなる譯である之れを小にしては漢江沿岸に納涼水泳の場所牛耳洞に於る觀花上の便宜、南山登攀の便宜など更に温陽、儒城、東萊の温泉場を湯崗子、熊岳城、五龍背同様に滿鐵をして後援せしめたらどうであらう ▲朝鮮は餘りに干渉主義で失敗した觀があるが最近大いに開放主義となつた。之に反して開放で失敗した滿洲は最近稍干渉主義となつて來た感がするとの評判がある。餘事は擱き滿洲に於ける施設は略濟んだとも云へるから今後滿鐵に朝鮮中の御世話を願みたいのである。▲自動車は我等を老虎灘の海岸通に卸した。此處は星ヶ浦が大陸式なるに反して函庭式日本的である。若し電車が南山を貫いて寺洞溝と連絡すれば申分がない。滿鐵王國の力でそれ位の事は茶飯事であるのに何故實現せぬか。そうすれば沿線には申分のない住宅地も出來る譯である敢て滿鐵の猛斷を希望して置く ▲京城には貸席即ち待合がない料理屋の四疊半が兼業をして居るが大連では堂々とまでは行かぬが落付のよい待合が廿軒許ある。大きな宴會後の二次會は必ず此種の居方で行はれる必ず肉を漁る客のみでない。興が盡きぬで更に席を變へて遊ぶ風を醸して居る。京城と比較して一種の趣きはあるが勢い濫費を餘儀なくする。藝者の比較論もあつたが之に省略する ▲之を要するに京城と大連とは政事と商業の中心の差と土地柄に於て相違があるから事々物々優劣が生ずるのは自然の數であるが京城は大連より學ぶべき多くのものがあるに拘らず何故か全然沒交渉である。是非大連と京城は密接に經濟的は云ふまでもなく繋がるレールを緣として政事的にも個人間も連絡することにしたい。とは會談の結論であつた。

株式相場と仕手

田山生

▲相場界に於ける仕手は大體に於て目先師と大勢思惑師に區別する事が出來る目先師は其日の氣味ちに重きを置いて最も機敏な行動を取り大勢師は財界の傾向に目標を定めて思惑を樹てる隨つて目先師は小波瀾の保合相場に於て其の強味を發揮し大勢師は大相場に際會して其の特色を現す ▲而も相場の保合ふに於て大勢師も自然目先師と見ゆる場合もあるが保合相場が何時如何なる機に喰はして破れるかも分らぬのであるから目先と大勢の對策を選び分ける事は頗る困難と謂はねばならぬ從つて相場師には自ら目先戰に得意な者と大勢戰に得意な者とに分れる ▲小波瀾の保合相場には目先的對策で遣り大きく動く相場には大勢的對策を講ずるのが上乘なものであるが此兩方策を巧に併用する事は頗る困難で之が併用を企つる者は結局目先戰にも大勢戰にも終局の目的を達する能はずして往々虻蜂取らずに終る事がある ▲假へば同じ漁師にしても内地で小魚釣るものと外洋で大魚を獲るものとは其の道具立や其の意氣込みの頗る異なつて居る如く相場界に於ても小相場を拾ふものと大相場を獲得するものとは最初から其の陣立や意氣込みが違つて居らねばなるまい、小魚も釣つて尚ほ大魚をも併せ獲んとするのは慾が深過ぎる ▲而して目先師は取分の多からざると共に損失も大體に於て少いが大勢師は大相場に際會して獲る處が多いと共に一つ間違へば生命迄も奪はれる事もある大阪に於ける石井や野村や鈴木の張り方は將に相場師の大なるもので現物屋の多くは概して目先の小相場師と言はれて居る京城に於ては内地と比較にはならぬが現在の處先づ川崎新田を以て大勢師に推さねばならぬ ▲過般京取の緊騰時に於て一般人が齊しく百五十圓拔きを信じ二百圓目標に買はれつゝある時早くも大勢を察して賣方針を一貫し遂に買方をして其の軍門に降らしたのは川崎新田であつた、當時百四十圓臺の京取が期近に百圓以下にならうとは目先師ならざるも一人として之を信ずるものは無かつた獨り川崎一派は野線を指して九十圓割れを主張して居たが遂にそれは實現した ▲即ち目先で行くものは何處迄も目先で通り大勢で行くものは其道で徹底せなければ物になるまいと思はれる而して其の何れが危險率多くして何れが安全なるやは不明で人各其の好む處に據るの外はないが多く得んとするものは最初多く損する考へで居らねばならぬのは言ふ迄もない

日本人は大持て

染谷領事書翰の一節

(鎮南浦)ハバナ領事染谷成章氏が鎮南浦府尹有本顯太郎氏に宛てた消息の一節に曰く

(前略)昨冬又々外務省に戻り只今『シガー』の名産地ハバナ市に居住致居候緯度は熱帶中部と同一に有之候得共氣候温和天産豐富にして特に煙草に砂糖は世界的名物に有之又北米合衆國とは一葦帶水にて水上飛行機にて一時間と十五分客船にて八時間の航程に候然も米國とは離るべからざる關係國に有之候現在黒人すら對等の待遇を享有することとて排日ドコロか日本人は大待遇の姿に候さりとて在留同胞の數はまだ四百に滿たざる少數に御座候但し四五年後には二三千人に增加せしむる考に候在留同胞中數名の邦人有之候が能く小生の[illegible]に馴染み居候尚琉球人も相當の人數出稼ぎ致居申候不思議なものと被存候(八月二十一日ハバナ發)

カイゼルはおめかし屋

前獨逸皇帝のカイゼルも皇居を失はれてからは、さらでだに淋しいであらうが、カイゼルが獨逸皇帝として時めいた頃は、あんな荒武者のやうに見えて中々のおめかし屋で、平生でも時價三千圓以下の服は着けてゐたことはなかつた相である。それが少くとも毎日七度か八度は必ず着換へるのが習慣となつてゐたと傳へられてゐる。今ではそれほどでないにしても不相變侘しいながらも昔の豪奢な生活の匂ひを漂はせてゐることであらう。

祝五千號

釜山大和町 内外雜貨卸商 野老山商會 電話長八八一番

滿鐵撫順炭特約販賣 官營平壤無煙炭特約販賣 滿鐵鞍山銑鐵特約販賣 鑄物用コークス各種販賣 ㋙近藤謙助商店 京城義州通一丁目 電話長八二五番 振替口座京城九六八三番

大田春日町一丁目 北村寫眞館 電話架設中

釜山府西町 銘酒向陽釀造元 福田商店 電話本店三五五 本町支店三〇六 振替京城七五四番

朝鮮製菓株式會社 京城府岡崎町三番地 電話長二三二番 振替京城五九七三番

京城府青葉町二丁目九七 朝鮮製綿株式會社 電話長一六五番 振替口座四〇六五番 電略(テメ)又ハ(テ)

京城府太平通一ノ二 人力車製造 堀商店 電話二一九〇番

京城永樂町一 關繁太郎 電話四七六番

瀧川銃砲自轉車商店主 瀧川靜江 本店 京城明治町一丁目 電話三〇二番 振替口座京城六二八番

京城旭町一ノ三〇 日之丸水産株式會社 電話長一〇八番

京城府黄金町四丁目四二 古物商 吉村松藏

京城府貫鐵洞一四八 朝鮮紙株式會社 代表取締役 白瀅洙

朝鮮京城府茶屋町一番地 内外國物産輸出入貿易及委託賣買業 大同貿易株式會社 電話一九九三、二九九三番

合資會社 南方商店 京城南大門通二丁目一七 南方牛次郎 電話長一六八九・一七五五番

京城黄金町三ノ一六七 東洋製藥株式會社 電話七二四番

京城長谷川町九七 中華料理 金谷園 電話一五二五番

京城黄金町三丁目一九一 鴨綠江木材株式會社京城出張所 本社 安東縣江岸通り一丁目 電話三〇二八番

京城府南山町三丁目一九 藤野富次郎 電話長一二五二番

京城南大門通一丁目 株式會社 海東銀行 電話三〇〇番 振替京城七九一六番

京城黄金町二の二三番地 鮮一株式店 李永珪 電話一五八六番 電略(センイチ)

京城南大門通四丁目 土木建築 小杉謹八 電話長一二一八番

吳服物一式 あらいはり、ゆのし、しみぬき、京染悉皆、御紋上繪、印 京屋吳服京染店 電話七五二番

合資會社 福壽洋行 朝鮮龍山漢江通十三番地 電話龍山長四六番 出張所 京城府太平通り二丁目 電話京城一三四六番

京城府岡崎町八番地 スターサイダー、チャンピオンシドロン 製造元 京城清涼社 各種果實蜜 電話一四一 振替京城一九二〇番

食料雜貨並精米業 ㊦下川益一商店 京城本町三丁目 電話一四七〇・長四九七番 振替京城一五〇一番

人力車帳場 金川組 京城太平通二丁目 電話一一八四番

旅行用大鞄及手提鞄各種製造販賣 高木鞄店 京城本町一丁目三六番地 電話一五四番・一三四番 振替京城三四番

朝鮮龍山驛前 東亞蠶製株式會社 京城支店 電話一三一番 振替五二九九番

小林靴店 京城明治町二丁目 電話本局二五五一番

京城旭町二の六 犬養帳簿製造所 電話二二七九番

ホテル並西洋料理 ファミリーホテル 京城南大門通三丁目 電話一二一八番

鴨綠江製紙株式會社 南滿洲安東縣 財神廟街 出張所事務所 電話二五二番 江岸通二丁目 安東縣倉庫 電話一九〇番 新義州 新義州倉庫 電話二五七番

合資會社 釜山丸魚運送部 釜山府一條町一丁目 電話長六一八番

製函製材 釜山丸魚製函部 釜山府佐藤町 電話七二番

京城南大門通一丁目 共同貿易株式會社 委託販賣部

平壤府港町 大橋恒藏

大連汽船株式會社 安東縣出張所

釜山府琴平町 弘中電氣商會 電話九三九番

釜山府辨天町三丁目 メリヤス雜貨糸物類 卸商 島田商店 電話五七八番

平壤慈惠醫院 職員一同

京城明治町二丁目 京染吳服 たまや出張店 電話一一九六番

京城府公平洞六五 藝妓券番 漢南券番 電話二一二九

平壤 八洲國屋 電話一五一番

圖書出版と販賣 原稿買入御相談に應じ申候 ウツボヤ書籍店 京城本町二丁目 各種萬年筆卸小賣(修理及附屬品取揃あり) 電話三五二番 振替三七三番

朝鮮新義州 朝鮮材木株式會社

釜山長手通 檜材直輸入 寺田安太郎商店 電話五〇六番 振替京城五二二番

釜山本町 貿易商 中馬合名會社 中馬嘉助

滿鐵荷役運搬請負業 各種石炭煉炭販賣業 コークス 鞍山銑鐵 硫酸安母尼亞 田代商會 平壤府壽町九八番地 長電話八三九番

京城府公平通八十七番地 大昌貿易株式會社

原金旅館

辯護士 特許辨理士 高橋章之助 京城府仁寺洞百卅六番地 電話二五六番

釜山草梁 釜山商工株式會社

製函製材 原木販賣 滿鮮製函木材株式會社 本店工場 新義州府鴨川町 電話一三六番 支店工場 安東縣江岸通 電話三五二番

釜山大廳町一丁目 株式會社 明治屋 電話三四八番

京城太平町二丁目 羅紗 洋服 被服 富田屋合資會社 電話長三四九四番 電話長七二二番

此の機會に此の眞價を見よ

京城日報五千號記念

篤と御吟味

秋風と保健の關係從つて石鹼の選擇は心ある方の最も御注意を要する問題であります

品質本位

花王石鹼

けごの問題を解決する安全にして且つ最も有効な逸品として多大の御信頼を博してゐることを光榮に存じてをります

花王石鹼製造元　東京馬喰町　長瀬商會

大阪安土町　大崎組

用ゐたら一家和合よ中將湯

秋は直ぐきく中將湯

恐ろしい婦人病に用ひて血色はよく氣持はよく美を保つ

主効　こしけ、血の道、腰足冷込、子宮病、月經不順、ヒステリイ、つはり。

本舗　東京　大阪　津村順天堂

生活の改善は臺所から

特許　富貴竈

御飯の出來が早くて美味

焚物は僅かに三分の一

類似粗悪品に御注意を

◈發熱量の比較◈

普通竈の薪一瓦の發熱量は二千四百二十カロリー

完全なる富貴竈は八千百四十カロリー

全國到る處有名金物店にあり

摸造品續出す御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素の利用に依る治療器にして使用技術に依る

脈搏の整調强壯を感じ疾病の根元を絶滅せしむるに有效なる

效力永久にして器械代用以外に何等の費用を要せず子供にも容易にして一人で用ゐることを得

腸病、心臟病、神經衰弱、肺病、人諸病に效あり

定價金參拾八圓

東京麴町有樂町一ノ三

大日本オキシパサー商會

販賣所

朝鮮總代理店　龍山驛前　居森松次郎　電話九〇五

京城日報社代理部

京城府黃金町一ノ六〇　松本商店　電話三〇六一

自動車學術教化主義の

自動車講義錄

自動車は最新文明の利器にして之れが發達は國家の急務なるが同時に青年立身の捷徑なり本會は自動車知識の傳播の爲め左記の名士により組織せられ斯界最高の評し今や知識大普及の目的を以て講義錄を發行す有爲の青年諸君は勿論邦家文運の進歩に志ある士は直ちに入會せられよ詳細見本附五十頁の美麗なる會則（一口八錢切手葉附）は直に贈呈す

役員　大倉喜三郎氏　石澤日本自動車會社々長　藤原內外興行會社々長　梁瀨自動車會社々長　山本モータ雜誌社主幹　其他

講師　上田　村上　木下　三技師及其他

十八頁他の三千頁餘に當る充實無比

六ヶ月卒業　會費入會金五十錢

東京赤坂溜池　中央自動車學會　振替東京二五三九五

試しに一さじ

キキメの即座に卿る殺菌力の強烈な代表的懷中藥は

寶丹

家庭に、旅行に今が御常備時

主効　霍亂、中暑、日射病、食傷、水當り、吐瀉、腹痛、下痢、眩暈、暈車、船暈

定價　金廿錢、金卅錢、金五十錢、金壹圓、金貳圓

金五十錢以上に寶丹匙添

守田治兵衛　東京下谷區池之端仲町

全國各有名藥店にあり

酸素療器　特約店

▽邦文　支那文　第十六號實驗例贈呈△

オキシヘーラー

▽オキシヘーラーの效力顯著なる事は使用僅か五分間にして三乃至五百目血壓を亢め一時間を經過せば實に十乃至卅百目の活力を增進す試に血壓計、脈波計を以て驗せば其の調節の狀を明にし各自は脈搏、呼吸、體溫の整調に依て自證せらる

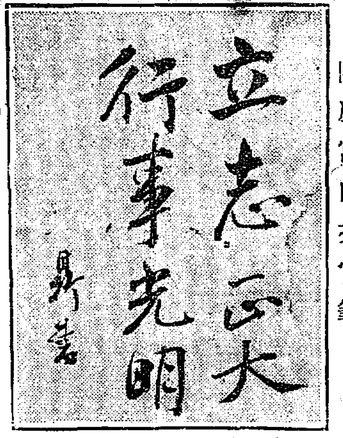
▽靈妙なる磁氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎮痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也

特色　使用法簡易效力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永久に何等費用を不要

正價金參拾五圓　送料　內地金參拾六錢　支・朝・臺・樺金六拾五錢

東京牛込區神樂町二丁目一番地　オキシヘーラー獎勵會　電話番町特長三〇七・四六八九番　振替東京二七七一二番

京城府北米倉町八十四番地　筒井淸彥



關屋宮內次官筆

俳諧寺一茶

生方敏郎

多くの詩人の中で、一茶ほど誤解された詩人は、世間にはあるまいと思はれる。德川時代は俳句は國民文學となつて一般階級に廣く普及せられたにも係はらず、一茶は遂に正當に解せられることなく、其門下生にさへも誤解せられるやうな運命に遭遇した。

全體、詩人を了解するには、その作品に依るのが、一番正當で且つ捷徑であるが、然らば一茶とはどんな人物であつたらうかと云ふに、その俳句を通じて見たる一茶の性格は、大體から觀て滑稽趣味の人であつたやうである。然し時代には不遇で、容易に人に下ることが出來ず、それでゐて、人情には非常に深かつた人であると思はれる。

滑稽無頓着であつた例としては、馬沓を履いて人を驚かしたと云ふやうな事も傳はつてゐる。嘗て藏前の札差であつた人と肝膽相照す仲であつたが、初めて藏前に其人を訪ねた日に、風采の惡いので輕蔑を受け、一茶は憤然として信州から持つて來た蕎麥粉を懷から取出し、それで地上に一句を書いて立去らうとした。その句を見た主人は『これは唯人に非ず』と、再び呼び戻して、相互に相許すやうな厚情になつたと云ひ傳へられてゐる。

貴族院議員　前田利定氏筆
幾千々の露か垂れて萩ゆらん　花も何もある露の力に　利定

更に彼性格を語る例としては友達などの訪問を受けた場合などに金の持ち合せがある時は種々の馳走もするけれども懷中が乏しい時には近所の小料理屋などへ客を連れて行き、散々飲食した後で自分は今持ち合せがないから貴所拂つて置け』と云ふやうな調子で却て客に金を拂はせた等と云ふ逸話が今日に傳はつてゐる。有名な話としては例の加賀越の大守前田侯が參勤交代の途次信州に差懸り一茶のことを耳にして一夜のその本陣の旅宿に呼び寄せられやうとした時に、一茶は一應それを謝絶したが、懇意な者が再三勸めに、一茶も斷りかねて、澁々承知はしたが、友人が一茶に『百萬石の大名に謁見したら、少しは愛想も云ひ、お世辭も並べてくれ』と云はれ、漸々前田侯の前に出て、暫くして時服を賜つて退出したが、

東京市助役　貴族院議員　永田秀次郎氏筆
秋の日の紙背に熱し丙子錄。青嵐

何を思つたか一茶は『忘れものをして來た』と云ふので、何かと傍の人が訊ねると『お世辭を云ふと約束して來たに、そのお世辭を云ふのを忘れて來た』と答へた。その時に詠んだ有名な句が『何のその百萬石も笹の露』と云ふのである。

一茶は斯様に一面には淡泊であつたにも係はらず他の一面には非常な強慾の人間のやうに見える矛盾性を持つてゐた。父の死後、異母弟と財産爭ひをして、十三年の長日月間、兄弟相互に怨みを結んで解けなかつた。一茶は江戸に居り、弟は郷里信州に居て、實家の農業に從事して居るので、財産管理の全權を握つてゐて、亡父の遺言狀通りを實行しやうとはせぬ、一茶はまた父の遺言狀を楯にして一歩も讓歩せぬので、十三年の間、兄弟が血で血を洗ふやうな爭ひを續けたのであつた。斯く一茶ばかりの遺産を、こんな見苦しい爭ひまでして、自分のものとしなくとも、却て前田侯にでも取入るならば、千石位の格にとり立てられるのは雜作もない話なのに、其れをせずに、僅かの遺産を兄弟で、相爭ふなどゝは甚だ理窟に合ぬことであるが、茲に一茶の性格が窺はれるのではないかと思ふ。一茶の不正不義を惡む心情は、物の大小に係はらず、正しいものは何處までも正しいとして徹底させずには居られないからであつたらうと思ふ。繼母が今少し穩かに出たならば、一茶は何の執着もなく財産全部を弟に讓つたであらうが、繼母が彼を困らせたばかりに、一茶は窮地になつて財産爭ひをするやうになつたのではなからうか、斯う考へて來ると、矛盾らしく見ゐるものも、決して矛盾ではないことが知られる。若し一茶にして聖人であつたなら假にも母と名のつく者と爭はれぬであらう若しまた政治家であつたなら、斯樣な蝸牛角上の爭ひを避けて、大な計劃を立てたであらう。然し彼は詩人であつた。詩人であるからこそ、事の成敗を眼中に置かずに、只一途に彼自身が正義と思ふ眞理に向つて邁進したのである。そして痛快を叫んで胸中の鬱勃を吐き散じたのである。

一茶は眞の詩人であつた（完）

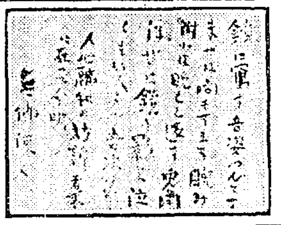
・泥棒仲間の御幣かつぎ

我國では賭博師、相撲師或は花柳界などには御幣かつぎが殆ど普通となつてゐる。外國でも矢張り之に類した習慣がある英國には泥棒の御幣かつぎか大流行、明日は一稼ぎさいふ其の前夜厭な夢でも見ようものなら如何に惡い仕事があつても決して手をつけない。之に反して虹の夢は泥棒にとつては此上もない吉兆とされてゐる、また愈々仕事に取りかゝるべく家を出る時驢馬の靴を押込んで置くと危險が少いものとされてゐる

演劇の觀衆

島村民藏

演劇の觀衆は詩歌小說の讀者、繪畫彫刻の觀覽者、乃至音樂の聽衆などゝ一樣に、藝術を味はふ人、即ち藝術の鑑賞者、玩味者といふ風に簡單なる說明は下され得ぬものである。第一に、他の藝術に於ける作家と鑑賞者の關係は、單に『働き掛けるもの』と『受け入れるもの』の關係に過ぎないに反して、時に『受け入れるもの』の立場を離れて『働き掛けるもの』の助成者ともなる。云ひ換れば鑑賞者の立場を去つて藝術の中心生命に喰ひ入り、その成立條件の一ともなる點に於いて、第二に、讀者なき文學、觀覽者なき美術といふとが考へられるに反して、到底觀衆なき演劇といふことが考へられない程、それほど藝術の存立條件として缺くべからざる者である點に於て、第三に、他の藝術の鑑賞者が必ずしも複數なるを要しないに反して、必ず多數なることを要する點に於て、演劇の觀衆は餘程複雜な多義な本質を有するものである。


國民新聞副社長　阿部充家氏筆
鏡に寫す吾姿つんとすませば向ふもすます睨み附れば睨んで返す兎角浮世は鏡の影よ泣くも笑ふも吾次第
人心融和の妙諦者爽にあつて分明　無佛陳人

むかしバワリアのルウドヰッヒ二世といふ王は、狂的な藝術耽溺癖に囃せられて宮廷附屬の劇場で劇を演じさせて自分一人見物席に坐つて見物したといふことであるが、この王などは演劇の觀衆をばあやまつて、小說の讀者や美術の觀覽者とひとしなみに見たものと云つてよい。したがつて觀衆の本質乃至意義に就いてはこれまでいろくの見方があつたが、その中で一番有力なのは三通りある。

（一）鑑賞者としての觀衆
（二）伴奏者としての觀衆
（三）製作者兼鑑賞者としての觀衆

この裡で（一）は最も普通なもつとも有りふれた見方である。（二）この伴奏者といふ言葉は、獨逸新古典派の戯曲家ヰルヘルム・フォン、ショルツの使つた『隨伴的な感情の管絃樂』といふ言葉の意を採つたのである。（三）は群集狀態に於ける觀衆の心理作用を標準とした見方で、何萬何千といふ多數の公衆が同時に集まつてゐることによつて起る感動を眼目とする多數本位の劇、すなはち希臘劇などの場合、舞臺と見物席を不即不離ならしめる底の俳優と觀衆の親炙を生命とする親炙本位の劇、すなはち歌舞伎劇などの場合、公衆が協力して劇を演出することを基本とする共演本位の劇、すなはち米國の市民劇公衆劇、獨逸の[illegible]受難劇等の場合、などに當て嵌まる。（完）

祝辭

慶尙北道知事　藤川利三郎

京城日報は我か朝鮮首都の大新聞にして其記事及所論は常に世の重きを措く所なり而して創刊以來拾數年の久しきを閲して終始一貫報道の敏速正確なると社說の穩健なるとは世既に定評あり此間外に對しては能く本土を紹介し内に在りては文化の促進に貢獻せるの功大なりと謂つ可し今や紙齡五千號に達するの故を以て茲に紀念號を發刊せらる、は洵に慶賀に堪へさるなり將來益社運の隆盛にして社會を裨益するの愈大ならんことを祈るや切なり一言以て祝辭と爲す

慶尙南道知事　佐々木藤太郎

貴社新聞五千號の發行を祝し併せて將來の發展を祈る

慶尙南道廳　高等官一同

貴社五千號發刊を祝し尙ほ將來の隆昌を祈る

祝五千號

池田材木店　鎭南浦三和町　電話長三三七番
鎭南浦　齋藤精米所　長電話一四五番
西鮮料理　武藏野　平壤櫻町　電話四三四番
平壤府營內　三根旅館　長電話二五六番　長電四三〇番
朝鮮鎭南浦府三和町　石川熊三商店　電話三一八　電略（イシ）又ハ（イ）　振替口座京城六〇六五番
平壤府外牡丹臺　お牧の茶屋　電話六一七番
鎭南浦　上野直記
平壤府櫻町　㊄五味幸四郎　西鮮硝子製造所　硝器類、染壜及種化學用器、硝子製品一切　電話四三八番　電略（五）又ハ（五三）
鎭南浦三和町　合資會社　富浦商店　長電話三三三番　長電話二二二番
平壤賞商組合
平壤大和町　ハイカラ床
鎭南浦公立商工學校長　佐藤松治郎
朝鮮平壤府櫻井町九拾四番地　朝鮮燒酎株式會社　長電話七七九番　電話八四六番　電略（テセ）又ハ（テウセ）　振替口座京城七二八一番
鎭南浦水產株式會社
鎭南浦汽船合資會社
鎭南浦稅關　釜瀨富太
平壤旭町道廳通　平壤組車帳場　電話一五四番
平壤泉町　塗料販賣　ペンキ塗請負　村中正一　電話長七二九番
片倉組殖產
株式會社營業部　平壤大和町電長二一四五番　平壤製材所　平壤南町電長八五八番
平南自動車商會　平壤大和町　電長六〇六番　長五五五番
平壤寺町　安東理髮館
滿洲製粉株式會社　鎭南浦工場
鎭南浦府明殿町　南浦材木商會　電話一五七番
會席御料理　大翠亭　平壤櫻町　電話一二一番
步兵第七十七聯隊御用商　小野田榮敬　平壤府本町二九番地　電話六六九番
平壤大和町十一番地角　製靴販賣　岩野朝次郎靴店　電話二百十三番　振替京城八八七番
鎭南浦三和町　米雜穀貿易並ニ原鹽販賣　南藤馬商店　電話四三〇番　電略ミ又ハミナミ
平壤府櫻町七拾壹番地　驛前通リヨリ本町ヘ突當リ　野瀨寫眞館
鎭南浦　加藤精米所　電話二二一番
警察署長　田代安太郎
株式會社　平壤魚市場
京城線平壤驛前　朝鮮運輸聯合會加盟店　滿鐵承認貨物取扱並運搬業　㊊永盛運送部　電話七五〇番　主任　李迎泓
齒科醫院　竹下正雄　平壤新町一四四　電話八百二十一番
平壤黃金町　會席御料理　玉屋　電話一四一番
平壤府櫻町五十二番地　東鄕寫眞館　電話三〇六番　振替口座八九二一番
平壤府廳　楠野俊成
津村樂器店　主　津村　平壤新町一三九番地　電話一三四番　電略ツ又ハツキ
平壤旭町　花屋葬具部　電話三五七番
平壤本町　山崎製麵所
釀造元　齋藤酒造合名會社　平壤黃金町　電話二二二番
丸榮運送店　店主　荒金貞夫　平壤府黃金町六番地　電話一五番
平壤府南門町　野路增吉商店　電話百四十七番　振替口座京城一〇二十番
平壤寺町瑞氣通り角　煉光寫眞館
平壤府泉町　平壤醬油釀造株式會社　電話長一七三番　振替口座京城七四七九番
大日本生命保險會社　平壤出張所　電話長三五六番
平壤幸町　運送業南浦組　電話長五六番
林田一郎
谷村定規
平壤府若松町一番地　安川松本商店
海運業　合資會社　青木組　鎭南浦　電話長五四番
平壤警察署長　齋藤金祐
平壤　春山清彌
平壤大和町　㊈丸京吳服店　お客様の爲に善い品を賣る　振替口座京城八八九番
平壤炭鑛線勝湖里驛前　今泉運送店　振替口座京城五六五八　電略號〇イ
平壤高等普通學校　田中玄黃
野本榮太郎　營業所　平壤旭町一番地　電話四七七番　鎭南浦本町　電話二四〇番　京城元町二丁目　電話三二一番
鎭南浦　西崎鑛業所
眼科、内服科、婦人科、肛門科　中村正路　平壤港町　信託會社隣
平壤　一柳村五郎
鎭南浦府外龍井里果樹園　龍岡郡池雲面玉坡里　眞子國太郎　前野元一郎
營業科目　電燈、電力、電氣工事設計請負監督、電氣機械材料輸入販賣、電熱器、電動機、變壓器、各種電氣計器、避雷針修繕及試驗　川北扇風機西鮮一手販賣　東洋電氣商事合資會社　平壤櫻町二番地　電話長六一九番　振替口座京城四三二一番　電略（ト）又ハ（トキ）　工作所專用電話七八九番　倉庫部專用電話八七六番
地方諸官衙御用達　西洋家具類、ストーブ石炭、毛織物、室內装飾品、金庫、諸紙類、活版印刷　平壤府南門町二丁目　柳沼市之助商店　振替口座京城七五〇八番　電信略號（ヤ）
平壤　黑川演藝部　京城元町二丁目　電話一二三番
平壤醫師會
平壤黃金町内　黃金バー　電話七六一番
龍岡金融組合理事　松山和太郎
毛皮入防寒靴製造元　海田製靴店　平壤大和町　電話四一三番
鎭南浦　橋本豐太郎
平壤旭町　高木葬儀舍　電話五四一番

祝五千號

朝鮮無煙炭鑛株式會社
江西支店

小田田セメント製造株式會社
平壤支社
平壤府外勝湖里

朝鮮銀行鎭南浦支店
株式會社朝鮮殖産銀行鎭南浦支店
株式會社三和銀行

平壤府本町
石炭 朝鮮 保險
平松商店
電話（商店）一六一番（貯炭場）七五三番

京城南大門通三丁目九七
朝鮮美術館
富田商會
京城本町二丁目八六
富田出張店

醤油醸造元 美やこ味噌製造元 諸漬物製造元
京城府岡崎町
鳴屋本店
電話一九〇三番 一三三〇番
販賣部 市內北米倉町
支店 奉天青葉町

龍山鐵道病院
京城漢江通十六番地（新龍山電車終點）
電話公衆四二二番
電 八三六番

京城太平通二丁目四〇ノ二
多田工務所
電話二一二九番

京城本町一丁目
株式會社大澤商會京城支店
時計部長 電話二六二番
寫眞部長 電話二三九番
自轉車部長 電話四八九番
振替貯金八四一番
社長 大澤德太郎
京城支店長 眞木仙次郎

本店 東京、大阪
支店出張所 京城、奉天、天津、上海
京城南大門通二丁目
株式會社大倉洋紙店
京城出張所
電話四九〇番

朝鮮運輸聯合會
大和與次郎

京城蓬萊町
三巴酒造株式會社
電話一〇六七番・振替京城六一八番
平壤壽町
三巴出張所（電話五二二番）
太田春日町
三巴出張所（電話一二五番）

南滿洲鐵道株式會社商事部
販賣課出張所
電話一一七七番 九七〇〇番
撫順炭
同 貯炭場
電話龍山一〇三番

京城南大門通二丁目
株式會社丁子屋商店
洋服部 電話一三三番
用達部 電話六九〇番
各地營業所 大阪、三重、和歌山・釜山、平壤、元山・大連、哈爾賓

鎭南浦土木建築組合

京城府本町五丁目五十二番地
Ⓐ愛知産業株式會社
京城支店
電話長二參七六番

京城醫師會

名艸源一郎
營業所 京城大平通一百廿九番地
電話五九一番

新玉
御料 金堂
新玉
京城元町二丁目 電話三八一番
支店
京城漢江通三 電話六二〇番

京城本町一丁目
株式會社和光堂京城支店
電話一九九番

活動常設館
京龍館
龍山練兵場
電話龍山三二番

京城櫻井町一ノ三二
活動寫眞
大正館
電話八七三番

活動常設毎日晝夜開館
日活直營
喜樂館
電話五九七番

京城黃金町
黃金館
電話光一六三七番

阿片論

大連　半白生

阿片事件は滿洲の一角、大連の醜怪問題として、今や公判進行中であるが本問題は一二醜吏の非行に胚胎して、十餘名の刑事被告人を生ぜる地方的小問題たるに拘らず尚ほ世人の耳目を聳動する所以のものは、問題そのものが大連の一地方に局限すべきものにあらずして、世界的大問題であるからである。故に吾人は大連に於ける本問題を骨子として之より生ぜし幾多の問題を研究し之に結論を與へて識者に問ひたいのである。

阿片の浸染は全世界に瀰漫し滔々として大河の決する勢ひを以て居る。其一度これに親しむや道義の觀念を以て抑制し難く教育の力に據つても改善し難く法律の武器も強壓が出來ぬことは近き支那人が適例である。更に眼を轉じて北米合衆國を見るに、阿片の侵害は國民を風靡して居る。その禁酒制度を敷きし以來、著しく阿片使用者を增加したことは爭ふべからざる事實である。此外波斯亞埃及印度南洋諸島の阿片常用者の多數なるは謂ふまでもない。即ち阿片の勢力は全世界の約半分に傳播して居ると謂ふも過言でない。

阿片に必ず隨伴するものはモルヒネである。國法により禁ぜられ、若くば財政窮乏の爲阿片に耽溺し能はぬもの又は業務の關係上阿片を隨時隨所に使用し能はぬものはモルヒネ注射によつて慾望を充たす風を生じた。併してこの驅除の一策が轉々誰用して、今日ではモルヒネ常用者の一派を生じ、其數決して侮るべからざる多數であるから、阿片を論ずるには同時にモルヒネをも併議せねばならぬ。

我國に於ては阿片は病として國法の禁ずる處で、且は先天的と云ふべきか將亦無意義に阿片の害毒に恐怖して之に溺るゝものがない。モルヒネの常用者もその實例に乏しいのは國家のため慶賀に堪へぬであるが、何時迄も今日の儘に打ちすぐべきものでない。吾人は相互に戒心して此の一大事に備へねばならぬ。現に支那人に密接する邦人、就中彼等の外妾たる日本婦人中には此の惡習に馴れて革むることのできぬものがある。支那に在留すること久しき者、若くば遼遠の地で居住して醫師醫藥に缺乏するものは阿片の力によりて病苦を忘れつゝある間に知らず識らずの中阿片常用者となりつゝある。現に大連の慈惠病院には絶へず阿片及モヒ中毒者が治療されて居るから吾人が杞憂するのは西伯利亞の野に駐屯して居る我が精鋭の軍隊が無聊とホームシックで阿片吸煙の洗禮を受けはせぬか、亦將來處世の困難がイヤが上に增し來り、人事の復雜は高じ業務に係る苦悶が加はり、性慾關係の懊惱が劇しくなり、若くは生存競爭の劣敗者は遂に變態の快味を貪ることゝなりはせぬか、忘れ草と稱せる煙草、憂いの玉箒と謂はれた酒などの輕度な興奮材料では物足らぬ。揚て加へて酒類煙草の騰貴なぞより遂に阿片の吸煙モルヒネ又はコカインの注射の風習が起りはせぬか懸念である。元來人間の自然的慾求は興奮を要する場合がある。麻醉を慾する時がある。催眠を求むる必用もあれば阿片の魔風は我が同胞にも波及せぬかと考ふる時は寒心に堪へぬのである。

朝鮮に於ては日清日露役前清國の勢力が隆盛である際から、支那の小賣商人は各道各郡各邑に入り込み商取引を爲すと共に、賣藥亦はチーハ卅六計？の如き支那特有の賭博によつて朝鮮人の巾着を絞り取りた、併し相手が貧弱な鮮人であるから阿片の吸煙は傳へなかつたが、モルヒネ注射は盛に實行した。其の餘弊は統監府時代まで連續して、時の韓國政府は統監府の忠言を實行してその絕滅に腐心し漸く昨今に至つてこの弊風は大に改善せられたのであるが、併し世人が心附かぬ一つの事實をこの機會に公表して注意を喚起したいのは鮮人で間島滿洲西伯利亞の奧地まで移住するは種々の事情の許に實現したのである。其の幾分は實にモルヒネ注射が痛烈となつて居るが警察取締の嚴重なため禁抑してこれを常用することが出來ぬから、遂に國外に移住するに至つたことである。これは記者が該中毒者で奉天に移住して居る鮮人から聞取つた事實であるから、局に牧民に當る人は鮮民の移住につき皮相の察のみせずと、裏面の實情をも搜る必要がある。此等の關係から朝鮮に於ても大連の阿片事件を對岸の火災視せずして事情を審査し、これに備ふる必要ありと信ずるのである。

林長官赴任後支那公使時代から頭を病めて居た阿片問題を、直接處理せねばならぬ立場となつた日本的几帳面な外交頭から剛出した考へから・上海の阿片問題を重視して漸禁主義を採つた年々阿片賣下額を減少して或る年限内には絕滅する制度を設けた。之れは一面より觀ると理想的であるが事實は裏切つて居る。此處に喰込んだのが今回の醜魁中野である。其の表向きの口實は關東廳の財政救濟である。夫れには阿片を拂下げねばならぬ。然るに歐洲戰役の熄みたる以來阿片の價格は下落する許りである勢ひ多量に（小賣人は僅少の賣下制限あり）特種の人物に賣下ねばならぬと提議した。一廳理窟のあることではあり、本問題に餘り關係したくない。長官は萬事好いやうに任せたのが今回の醜怪事件の發端らしいが、公判筆記の洩らす處によると、青島東京大連と三角的な豫備行爲があつたやうであるが、果してさうすることは恕すべからざるものである。それには將來の爲め何等かの改善をせねば内外人から疑惑せられ内部では是聞を再演することになる。茲に吾人が當局に進言したい管見がある。管見と謙遜したのは部外の意味ではない。吾人局外者は阿片問題の内情を熟知せぬが、蒐め得た材料を基礎として立說したものであるから、或は肯綮を逸して居る點もあらうからと思ふからである。去り作ら大小當局の參考となり、識者考究の資料とならうとの自信はある。

先づ第一に『關東州阿片制度の改正』である。現今の阿片制度は頗る曖昧模糊たるものである或說には事柄が事柄だけに是非がないと云ふも、他の臆測誤解を容れざるには規則は發布することにする收支も或る範圍まで公表するが公明正大である。即ち阿片モルヒネに對し一種の專賣制度を布くのである現在の宏濟善堂なるものゝ人格が不分明である從つて關東廳は事實上の監督をして居る其の證據は阿片事件に附帶し關東廳の名を以て私訴を提起したのだと評されて居る、吾人の知れる範圍に於ては表面關東廳は宏濟善堂を阿片販賣人と指定しながら事實宏濟善堂は關東廳の分身であるから公然と分課なりと銘を打つて專賣事務に當らせばよいのである併して醫藥料若干慈善救濟救恤に何を賣下げ其の利益は一部經費に當て一部は公共事業に充つるとする頗る簡單明瞭であるのに之を實施し能はざるは外界の覗知を許さゞる事情を第一とし外國に遠慮もあり經常收入となつて關東廳が自由勝手に此金を使用し能はぬと其の金額が勢ひ減少するためと想像する併し乍ら阿片收入を明治初期に於ける娼妓の稅金を賦金と稱して縣知事の自由經理に任した時代とは時代に相違があるのみか渉外關係がある問題であるから此點は諦めざるを得ない。況んや收入增加については別に方案があるから試みに記することにする。

『阿片を標榜とする專賣』現在では拂下阿片は原料原形の儘である拂下を受けた小賣人は一子相傳の秘法によつて煙膏を製錬して吸煙者に販賣する、故に甲店のものは明日の味がする、乙店のものは數段の香氣があるといふて。嗜好の甲乙によつて吸ひに行き又は買つて歸るのであるから、一兩の原料は十兩に殖ゆる、價格も隨つて四五倍となるからこれを宏濟善堂專賣部自身に調製して拂下げると收入は增加するのみか、他所へ轉婦出を防遏さることにもなる更に『密輸入の防遏である』

從來賞を懸けて密輸入を防止して居るが尚これが發見數量は年々數百貫になる、尚網の目を脫する密輸入は實に數千貫である此事に關しては種々の惡評がある勿論恐く信ずることは出來ぬが事件研究上逸すべからざるものと考へるから一片の風說でも公開して置く、第一・品物拂底其他の理由で相場の騰貴する際は、宏濟善堂拂下げの波斯物は上等品として飛ぶが如く賣行くから、僅少の數量だけ大連上流社會用として殘留して大部分は上海に密輸出せられたのである第二、此の不足を補ふために興地物と稱する吉林西伯利物が充當せらるゝことゝなる・夫れには警察取締の關門を通過する危險があるから種々の手段を講じたものだ

第三、然るに不都合にも密偵と稱する阿片密輸の取締の手先が警察の押力の許に取押さへた場合は文句なしに引揚げて貰ひ、その割前の賞與で滿足するが。警察の目や手が屆かぬ時は勝手に密偵權力を振り廻して自分が取調て處分する、更に甚だしいのは宏濟善堂の職員と稱するものが此の密輸入に後援をして居るといふことである。果して事實とせば此間に横たはる醜怪な事實は今回暴露した事件以上であると想像する密輸入防遏なぞは思ひもよらぬことである。若し煙膏として一定の證票を附し拂下することにすると此等の密輸入防止の一方法となり、同時に取締が正確に行はるれば拂下品の價格は品薄のため騰貴することになる。

『官設吸煙所設置』宏濟善堂の手で官設の吸煙所モルヒネ注射所を設ける一事は是非實行したい丁度臺灣で規那の施療所の例に倣ひたいのである。尚一歩進んで阿片モルヒネ患者治療院を設置したいのである。既に同患者を治療する新藥劑の發見もあり泰西醫學界にては阿片モルヒネ患者は治療し得るとの學說が一致したと云ふとである、阿片の利益のみ壟斷せずに、側面には之等不幸の徒の救護を企つるは義務にして亦當然の事と思はるゝのである。

要之　阿片問題は人道上より絶滅を期せねばならぬ。例令財政の遣り繰上辛い處があつても正義を標榜する吾邦は飽迄之と鬪はねばならぬ。況んや阿片の魔力は我邦まで波及し・惹いて國力の盛衰に影響すべき杞憂があるに於てをやである。偶々大連に於ける阿片事件の發作は我邦阿片に對する警鐘とし、上下擧つて之が對策を講じたい。從つて本件に對する態度は公明にし、世の疑惑を招くが如き行動を愼み、屑々たる一部局の利益の如きは顧みざることにしたいのである。

祝五千號

京城若草町四〇　田中半四郎　電話一一四一番

京城黄金町通二丁目　東洋畜産興業株式會社　電話五六七・六七番

銅鐵雜貨問屋　㊝福田又　京城支店　京城大門通一丁目　電話長三九五番

京城本町二丁目　三中井呉服店　電話三一七番

京城水標町五三番地　砂糖　醬油　德永商店　電話長二七三番　二四十番

京城府明治町　朝鮮料理　明月館　電話〇〇六四番

京城東新地　御料理　南山莊　電話一五一參番

京城本町通二丁目　高田商會　京城出張所　電話長二四二番

安東取引所　仲買人（次第不同）
原田市松商店　共成洋行　大島仲買店　滿洲證券株式會社　齋藤進商店　山吉仲買店　住錢仲買店　岸田仲買店
安東貿易會社　張仲買店　田中德商店　青木快三　鈴木商之進　王作霖　平保仲買店　井仲買店

龍山金物組合（イロハ順）
三並美一　高田忠作　柴田國市　毛利辰次郎　住友利右衛門

京城本町二丁目　町田新聞舖　電話一七五番

同水標町　町田新聞舖　水標町支店　電話一四一六番

龍山漢江通　町田新聞舖支店　電話五二二番

仁川本町　町田新聞舖支店　電話四五番

京城本町三丁目　學校器具製作販賣　橋本國松商店　工場　本町三丁目　電話二七一番　振替一八三番

京城鐘路　東洋物産株式會社

京城本町三丁目　洋家具、學校用器具、體操器械、各種運動用品　製造販賣元　松本製作所　電話一四八九番　振替口座京城六二三八番

京城府明治町一　金銀地金商　德力本店　京城出張所　電話一五七二番

平安北道廳
飯尾藤次郎　礒野千太郎　石黒英彦　中島覺之　野田宜　洪應觀　山内圭一郎　佐野高藏　本居貫一郎　前田善次　李聖根

京城黄金町一八一番地　朝鮮製絲株式會社　長電話一九〇一番

京城旭町二丁目　靜陽軒　電話三〇四三番　七〇番

京城府長谷川町（朝鮮銀行前）　大澤齒科醫院　電話一六七一番

朝鮮料理　海東館　京城瑞麟洞一三八　電話九八六　七三五番

永登浦　電話五六一二六番　朝鮮皮革株式會社
朝鮮皮革販賣店　京城南大門通二丁目　電話一〇八二番

平壤電氣株式會社

平壤府外船橋里　朝鮮電氣興業株式會社

京城本町一丁目　書籍　文房具　運動具　大阪屋號書店　電話一〇八六　二四二番　振替二九三番
本店（東京）支店　大連、旅順、奉天、釜山、龍山

祝五千號

大邱府
東洋杞柳株式會社

慶尚北道廳
友川利三郎
秦秀作

京仁
羅紗附屬品商組合

大邱專賣支局
大久保健藏
草場信次作
福西文次郎
前田潤吉

大邱土木建築組合

大邱穀物賣買組合

慶尚北道廳
常松泰
大崎莊作
谷幸次郎
圓田彥一
小島完一
橋本忠雄
戸田正
竹林規矩夫

慶尚北道畜産同業組合聯合會
慶尚北道果物業組合
慶尚北道農會

慶尚北道警察部長
新庄祐次郎

京城太平通二丁目
官報諸新聞取次販賣所 盛文堂
電話四二六番

龍山漢江通一五(龍山驛前)
盛文堂支店
電話四一四番

京城蓬萊町一ノ一五八(南大門驛横)
盛文堂支店

京畿道水原南大門外
綿布 穀粉 旅舘 雜貨 移出入 竹下平三郎商店
電話百拾六番 振替京城一四六七番 電略(タ又ハタケ) 私設函 水原局一號

京畿道水原
寺澤捨三郎
電話一一四番

京畿道水原南大門外
代書業 門前猶七
電話一六三番

京畿道水原
近藤虎之助
電話一五六番

京畿道水原
水原電氣株式會社
電話四九番

京畿道水原
株式會社 富國園
電話一三八番

京畿道水原
水原印刷株式會社
香山弘

水原洲産物食料品組合
(イロハ順)
磯崎商店
逸見商店
物産商會
平田本店

京畿道水原南大門外
雜貨商 今村商店
電話一二五番 振替京城一〇四一番

京畿道水原驛前
雜貨商 杉本太一郎
電話二二番

京畿道水原驛前
國武農場 北原種次郎
電話三六番

京畿道水原驛前
村田酒造場
電話一三三番 振替京城一六五八番

京畿道水原南大門内
ヤナダ自轉車商會
電話六四番

水原慈恵醫院 院長事務取扱警部
小野眞德
電話一八番

日本製糖株式會社
平壤支店
平壤府外船橋里

鮮南銀行
大邱銀行
慶一銀行
共立銀行
朝鮮銀行大邱支店
殖産銀行大邱支店
漢城銀行大邱支店
東拓大邱支店

朝鮮銀行平壤支店
東洋拓殖株式會社平壤支店
株式會社百三十銀行平壤支店
株式會社漢城銀行平壤支店
同 平壤支店大和町出張所
株式會社平壤銀行
株式會社朝鮮殖産銀行平壤支店

片倉製絲紡績株式會社 大邱製絲場
朝鮮生糸株式會社
今組大邱製絲場

大邱料理店組合